JAPAN GAMES

昭和100年

2026 AOMORI

青の煌(きら)めきあおもり国スポ



第80回国民スポーツ大会

ソフトボール競技会

開催日　2026年10月17日（土）～10月19日（月）

会　場
【成年男子】八戸市長根公園野球場、八戸市東運動公園野球場
【成年女子】弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
岩木山総合公園野球場
【少年男子】東北町南総合運動公園ソフトボール場
東北町南総合運動公園野球場
【少年女子】三沢市南山屋外運動場（A球場、B球場）

主　催
公益財団法人日本スポーツ協会
文部科学省・青森県
公益財団法人日本ソフトボール協会
八戸市・弘前市・東北町・三沢市

第80回国民スポーツ大会

The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体(※)以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



■ 大会愛称

青の煌めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

■ スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

■ イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T.Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、スターキングデリシャス、はつ恋ぐりん、金星）

■ ダンス「青の煌めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

■ 公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！

最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

あおもり国スポ　検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP　X　Instagram　YouTube

目　次

あいさつ
　公益財団法人日本スポーツ協会　会長　遠藤　利明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　文部科学大臣　松本　洋平・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　公益財団法人日本ソフトボール協会　会長　河合　満・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
歓迎のことば
　青森県知事　宮下　宗一郎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　八戸市長　熊谷　雄一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　弘前市長　谷川　政人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　東北町長　長久保　耕治・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　三沢市長　小檜山　吉紀・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　青森県ソフトボール協会　会長　沼澤　憲三・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
大会役員・・　１２
競技会役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
競技役員・・　２０
競技補助員・競技会係員・競技会補助員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
協力機関・団体等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
総則・・　３０
実施要項・・　３１
式典次第・・　３６
ソフトボール競技日程・組合せ表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
ソフトボール競技の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
都道府県別参加数一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４６
選手名簿（成年男子）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７
選手名簿（成年女子）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５
選手名簿（少年男子）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３
選手名簿（少年女子）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７１
競技成績採点方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７９
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８０
年次別成績一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８１
得点経過記入表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８４
会場配置図（成年男子・長根野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８６

目　次

会場配置図（成年男子・東運動公園野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７
会場配置図（成年女子・弘前市運動公園野球場【はるか夢球場】）・・・・・・・・・・・・・　８８
会場配置図（成年女子・岩木山総合公園野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９１
会場配置図（少年男子・東北町南総合運動公園ソフトボール場）・・・・・・・・・・・・・・　９２
会場配置図（少年男子・東北町南総合運動公園野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９３
会場配置図（少年女子・三沢市南山屋外運動場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９４
競技会場案内図（成年男子・長根野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９７
競技会場案内図（成年男子・東運動公園野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９８
競技会場案内図（成年女子・弘前市運動公園野球場【はるか夢球場】）・・・・・・・・・・　９９
競技会場案内図（成年女子・岩木山総合公園野球場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１００
競技会場案内図（少年男子・東北町南総合運動公園ソフトボール場、東北町南総合運動公園野球場 ）・　１０１
競技会場案内図（少年女子・三沢市南山屋外運動場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０２
関係機関連絡先一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０３

あ い さ つ



公益財団法人日本スポーツ協会

会 長　遠藤利明（えんどうとしあき）

はじめに、本年 7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年 12 月 8 日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第 80 回国民スポーツ大会は、本年 1 月から 2 月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第 71 回岩手大会以来、10 年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第２５回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFA ワールドカップ 2026、第２０回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和 7 年 7 月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環　～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました　青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あ い さ つ



文 部 科 学 大 臣
松 本 洋 平（まつもと ようへい）

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和１００年記念 第８０回国民スポーツ大会「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和５２年のあすなろ国体以来４９年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第２０回アジア競技大会、第５回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

（令和８年７月３１日現在）

あ い さ つ



公益財団法人日本ソフトボール協会
会 長　河合（かわい）　満（みつる）

青の煌めきあおもり国スポ・障スポが開催され、第８０回国民スポーツ大会ソフトボール競技を、ここ青森県八戸市・弘前市・東北町・三沢市におきまして盛大に実施できますこと、誠に喜ばしく、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

１９４６年より７８年にわたり親しまれた国民体育大会が、スポーツの価値を世界の人々と分かち合い、世界各国と協調していくことを背景に法改正が行われました。一昨年のＳＡＧＡ２０２４大会より「国民スポーツ大会」となり、「昭和１００年」を記念する今回の青の煌めきあおもり国スポ・障スポが３回目の大会となります。長い歴史を共に歩んだ「体育」が、更なる価値を創造することで「スポーツ」だからこそ生み出せる、様々な取組が行われていくことが期待されています。今年もこうして開催できることは、多くの方々のお力添えのおかげであり、改めまして厚く御礼申し上げます。

そして、各地区の厳しい予選を勝ち抜かれ、郷土の代表として出場された監督・選手の皆様、ご出場おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。国民スポーツ大会は、英語で「ＪＡＰＡＮ　ＧＡＭＥＳ」と表記しますが、まさに日本最高峰の大会として、全国のトップアスリートがここ青森県へ一堂に集う大会です。自らの限界に挑み、それをも楽しみ、更なる飛躍へとつなげていく事が、体育では辿りつけないスポーツの魅力かもしれません。これまで練習を重ねてこられた成果をいかんなく発揮されますことを願っております。加えて、全国から同じ思いを持つ者同士が集う場です。同志や地元の皆様方と交流の輪を広げていただけると嬉しいです。有意義で思い出に残る大会となりますよう祈念しております。

ソフトボールは全国各地に組織やチームがあり、年齢層も子どもから大人までと幅広く、まさに国民的スポーツです。世界で戦うアスリートから小さい子どもにまで愛されるスポーツとして、より一層競技の裾野を広げながら、ファンを増やしていきたいと思っておりますので、今後とも応援をお願いいたします。

チームの皆様方のみならず、ご来場される方々、大会運営をお手伝いくださる皆様におかれましても、水分補給や休息を十分に取り、体調管理やコンディショニングづくりには十分注意いただきながら、ソフトボールのプレーをお楽しみいただければと存じます。

結びに、日頃からご指導いただいております公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ、開催に向けて諸準備を進めてくださいました、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会、並びに八戸市・弘前市・東北町・三沢市の各実行委員会、多くの関係の皆様方に心より感謝の意を表しまして、ひとこと挨拶とさせていただきます。

歓 迎 の こ と ば



青森県知事　宮 下 宗 一 郎（みやした そういちろう）

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念青の煌（きら）めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ

八戸市実行委員会会長

八戸市長　熊谷雄一(くまがいゆういち)

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日々を取り戻されますことをお祈りいたします。

青の煌(きら)めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」ソフトボール競技会が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。全国各地から八戸市にお越しの選手、監督、関係者の皆様を、市民を代表して歓迎いたします。

「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へ名称変更後、冬季大会と本大会を同一都道府県で開催する、初の「完全国スポ」であります。本年１月末から２月初めにかけ、本市を中心に繰り広げられた冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会は、皆様の温かい御支援と御協力により成功裏に終えることができました。この熱い感動のバトンをつなぎ、本大会を更に盛り上げていくため、競技会場をはじめ、市内各所にちりばめられた歓迎装飾や47都道府県の応援のぼり旗、地元の特産品をふんだんに盛り込んだ「HACHINOHEおもてなし弁当」など、心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、市民一丸となって準備を進めてまいりました。

各都道府県代表の皆様によって繰り広げられる熱戦と、八戸を舞台にリレーされる感動の煌(きら)めきが、多くの人々の心を動かし、青森県はもとより国内全体のスポーツ振興につながることを大いに期待しております。

八戸市は、国宝を所蔵する櫛引八幡宮やウミネコが飛び交う蕪島、日本最大級の朝市・館鼻岸壁朝市や活気あふれる横丁など、豊かな自然と歴史・文化、そして独特な食文化を誇る「食のまち」でありますので、御滞在中に、是非八戸の魅力を存分に体感し、良い思い出をお持ち帰りください。

結びに、本大会の開催に多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓 迎 の こ と ば



青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ
弘前市実行委員会会長
弘前市長　谷川(たにかわ)　政人(まさと)

はじめに、本年７月に発生した令和８年熊本地震により亡くなられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災された地域の皆様の安全と、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」ソフトボール競技会が、「お城とさくらとりんごのまち」弘前市で盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。市民を代表して、全国各地からお越しの選手・監督、関係者の皆様に心から歓迎を申し上げます。

青森県での開催は、昭和５２年の第３２回国民体育大会「あすなろ国体」以来、４９年ぶり２回目であり、当市では、国スポ正式競技６競技、特別競技１競技、デモンストレーションスポーツ２競技、障スポ正式競技２競技が行われます。

全国からお越しになる皆様を心のこもったおもてなしでお迎えできますよう、市民一丸となって準備を進めてまいりました。出場される選手の皆様におかれましては、郷土の代表として日頃の練習の成果を存分に発揮され、優秀な成績を収められますとともに、全国の選手相互の親睦と交流の輪を大いに広げられますことをお祈り申し上げます。

本大会の会場地である弘前市は、世界自然遺産・白神山地の玄関口に位置し、「津軽富士」とも呼ばれる岩木山の麓には、日本一のりんご産地が広がっております。また、日本有数の桜の名所・弘前公園には現存天守を有する弘前城が構え、市内には明治・大正時代の洋風建築や、日本近代建築の巨匠・前川國男氏が手掛けた建築物が点在するなど、豊かな自然と歴史・文化が息づく城下町であります。さらには、特色ある物産や郷土料理など、ぜひこの機会に、本市ならではの魅力を肌で感じていただけましたら幸いであります。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに参加される皆様のご活躍と大会のご成功を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ
東北町実行委員会会長
東北町長　長久保(ながくぼ)　耕治(こうじ)

第８０回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」ソフトボール競技会（少年男子）が、全国各地から選手、監督並びに大会関係者の皆様をお迎えし、ここ東北町で開催できますことは誠に光栄であり、町民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本年、各地で地震や豪雨などの災害が相次ぐ中、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

東北町は、西に八甲田連峰を望み、東には県内最大の湖・小川原湖が広がる、水と緑に恵まれた町です。小川原湖は、しじみ、わかさぎ、しらうおなどを育む豊かな汽水湖であり、本町のシンボルです。また、ながいも、にんにく、だいこんなどの農産物や、牛乳、牛肉などの畜産物の生産も盛んです。町内には黒褐色の湯をたたえる温泉が点在し、古代の謎とロマンを伝える「日本中央の碑」もあります。この機会に、自然や食、温泉、歴史文化に触れ、東北町の魅力を感じていただければ幸いです。

出場される選手の皆様は、それぞれの地域を代表し、厳しい予選を勝ち抜いてこられた精鋭です。御家族や指導者、仲間への感謝を胸に、日頃の練習の成果を存分に発揮され、若さあふれる力強いプレーで、多くの皆様に夢と感動を届けてくださることを期待しております。

本町では、全国からお越しになる皆様を温かくお迎えするため、関係機関・団体、ボランティアをはじめ、町民が一丸となって準備を進めてまいりました。本大会が、地域を越えた交流と友情を育み、全ての皆様の心に残る大会となることを願っております。

結びに、本大会の開催に御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の御健闘を心から祈念し、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ
三沢市実行委員会　会長
三沢市長　小檜山(こひやま)　吉紀(よしのり)

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

このたび、第 80 回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」ソフトボール競技会の開催に際しまして、全国各地から多くの選手、監督及び大会関係者の皆様を三沢市にお迎えできますことは、誠に光栄であり、心から歓迎申し上げます。

三沢市は、青森県の南東部に位置し、東は太平洋、西には小川原湖と、広大な海と湖に囲まれた自然豊かなまちであるとともに、米軍基地や航空自衛隊基地などもあり、国際的な交流と活気に満ちた都市でもあります。皆様には、当市独自の国際色豊かな街並みをはじめ、特産品であるごぼう、にんにく、長芋などの農産物や、三沢昼いかなどの新鮮な海産物など、ぜひこの機会に当市の魅力に触れていただければ幸いに存じます。

さて、いよいよ、昭和 52 年に開催された第 32 回国民体育大会「あすなろ国体」以来、49 年ぶりとなる第 80 回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が青森県で開催されます。当市では、このソフトボール（少年女子）をはじめ、ホッケー（少年男女）、軟式野球（成年男子）、銃剣道（全種別）及びバスケットボール（少年女子）が行われます。本大会が各競技への関心を高めるとともに、当市におけるスポーツ振興を図る上でも大変有意義なものとなることをご期待申し上げます。また、選手の皆様におかれましては、日頃の鍛錬と努力の成果を遺憾なく発揮され、優れた成果を収められるとともに、お互いの親睦や交流を深められる素晴らしい大会になることを心から願っております。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力を賜りました大会関係者の皆様に深く敬意と感謝を申し上げますとともに、本大会の成功並びに選手の皆様のご健闘とご活躍を心より祈念申し上げまして、開催地からの歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青森県ソフトボール協会

会長　沼澤（ぬまさわ）　憲三（けんぞう）

青の煌（きら）めきあおもり国スポ第 80 回国民スポーツ大会ソフトボール競技会に、全国各地ブロック予選会を勝ち抜かれたチームの皆さまや関係の皆さま方を、青森県八戸市、弘前市、東北町、三沢市の４市町にお迎えできることは、この上ない喜びとともに、たいへん光栄なことと思っております。心より歓迎申し上げます。本県での国民スポーツ大会は 1977 年（昭和 52 年）開催の「あすなろ国体」以来の 49 年ぶりの開催となり、本県ソフトボール協会関係者をはじめ、青森県民が皆様とお会いし交流できることを楽しみにしてまいりました。

ソフトボールは老若男女がレクリエーションとして全国的に広まっているとともに、競技としてはプレーのスピード感が速く、プレーヤーだけでなく観ている人にとっても手に汗握る瞬間の場面が多いスポーツでもあります。近年の少子化等に伴い、ソフトボール競技人口は減少しています。しかし、選手の皆さん方の高い技術力や精神力が発揮されるすばらしい試合を間近に観ることによって、ソフトボール競技の魅力や楽しさを改めて感じ取っていただけると思っています。そして、その感動が今後の底辺拡大と普及の大きな機会になるものと確信しています。さらには、２年後のロサンゼルスオリンピックでの日本チーム優勝に向けてのステップにもなるはずです。

今大会のようなレベルの高い大会を主管するに当たり、本協会は今までの多くの全日本大会や諸大会の実績を踏まえつつ、競技役員の養成や技量向上に努めてまいりました。また、開催地の４市町国スポ実行委員会の皆さまの多大なご助言・ご協力をいただきました。併せて、公益財団法人日本ソフトボール協会、東北ソフトボール協会、北海道ソフトボール協会をはじめ、多くの方々からのご支援をいただきながらの運営となります。改めて深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功と参加される皆さま方のご健闘をご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定
平成 22 年３月 17 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし､第１条第２項の場合は､当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は､これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定

大 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	松本 洋平			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	河合 純一	宮下 宗一郎		
顧問	森 喜朗	安西 孝之	岡崎 助一	越川 均
	坂元 要	勝田 隆	飯塚 悟	池田 めぐみ
	石井 砂織	植田 実	浦 美奈子	笠師 久美子
	鹿島 丈博	木平 芳定	工藤 保子	久保 正美
	小寺 洋	櫻井 由香	中嶋 実	橋本 聖子
	村松 さやか	室伏 由佳	湯川 和之	吉岡 成子
	久保 直生	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之
	金子 日出澄	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久
	石丸 元国	多氣 洋平	井﨑 洋志	鬼頭 有紀子
	長谷川 洋子	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄
	安藤 淳	上治 丈太郎	湧永 寛仁	三宅 秀一郎
	佐藤 健司	馬場 美香	堺 充廣	南 和文
	宮永 美寿津	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章
	大野 淳	永谷 喜一郎	田村 恒彦	蒔田 実
	山﨑 勝洋	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周
	村田 利衛	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博
	中村 ゆり子	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美
	井上 弘	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成
	大澤 明美	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫
	中山 俊行	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之
	田邊 哲人	城門 政文	前川 恵	園田 義宜
	布村 幸彦	川原 元則	生島 典明	大沢 陽子
	谷藤 節雄	中村 伸彦	千葉 玲佳	奥山 雅信
	酒井 祐一	藤田 知巳	北條 俊明	田子 昌之
	新井 彰	山﨑 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄
	井出 仁	今西 博一	中村 宏平	新保 暢
	森山 喜博	横山 幹夫	花崎 武彦	髙橋 繁浩
	山本 健次	増田 和伯	藤堂 寛	山本 誠三
	松本 恭幸	東 直也	奥田 晃	横尾 英治
	小西 慎太郎	近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一

渡邊浩三　田中稔　高岡晃仁　青木章泰
城戸英敏　小柳勝彦　辛木秀子　宮成康蔵
若林繁幸　岩元幸成　平良朝治　藤原正樹
新宮領毅　川上隆弘　佐藤廣子　奈良隆
小菅司　宇津木妙子　菊幸一　小林久美
寺澤正孝　山口純子　中村裕之　小林茂樹
清水真人　福田かおる　増子宏　矢野和彦
柿田恭良　茂里毅　浅野敦行　津島淳
神田潤一　木村次郎　江渡聡徳　田名部匡代
福士珠美　山中泉　工藤慎康　風張知子
横町俊明　西秀記　濱舘豊光　尾﨑寿一
鈴木進　三本木温　有森裕子　鈴木大地
宮本恒靖　深澤祐二　坂田東一　三須和泰
川合俊一　藤田直志　島田慎二　富山英明
馬場益弘　砂岡良治　金丸恭文　安道光二
河田正也　豊田章男　後藤正幸　中村真一
河合満　村井満　真砂威　土田雅人
町田幸男　大野正次　世耕弘成　笹川善弘
納冨中　土居淳　久保素子　丹羽秀樹
津賀一宏　岩城光英　北村聡　荒川裕生
達増拓也　鶴田有司　吉村美栄子　北村清士
大井川和彦　福田富一　遠藤祐司　大野元裕
熊谷俊人　小谷実可子　岡田伸浩　花角英世
新田八朗　山野之義　石田嵩人　髙野剛
阿部守一　田口義隆　中谷多加二　大村秀章
伊藤歳恭　高橋祥二郎　西脇隆俊　髙橋知史
斎藤元彦　福谷健夫　宮﨑泉　林昭男
丸山達也　越宗孝昌　迫谷章　村岡嗣政
後藤田正純　綾田裕次郎　大塚岩男　今城純子
服部誠太郎　宮原耕史　平田研　木村敬
麻生益直　日隈俊郎　塩田康一　玉城デニー

参　　与	籾井　圭子	大杉　住子	中村　宇一	廣田　美香
	阿部　祐己	安藤　晴美	伊吹　信一	井本　貴之
	蛯沢　正勝	大崎　光明	大澤　祥宏	大澤　敏彦
	大平　陽子	小笠原大佑	川村　悟	菊池　勲
	北向　由樹	木明　和人	櫛引ユキ子	工藤　兼光
	工藤　悠平	後藤　清安	小比類巻正規	今　　博
	斉藤　孝昭	齊藤　爾	鹿内　博	清水　悦郎
	高橋　修一	高畑　紀子	田中　順造	田名部定男
	田端　深雪	鶴賀谷　貴	寺田　達也	夏坂　修
	夏堀　嘉一郎	夏堀　浩一	成田　陽光	花田　栄介
	福士　直治	丸井　裕	三橋　一三	森内之保留
	山田　知	山谷　清文	吉田ゆかり	吉俣　洋
	和田　寛司	奥田　忠雄	大田　圭	平間　恵美
	安田　博	松本　史晴	中野　博之	久慈　美穂
	三浦　猛史	千葉　雄文	後村　文子	細谷　健司
	舩木　久義	豊島　信幸	秋野　桂	上沢　謙一
	工藤　泰正	栗林　豊	新屋　孝文	簗田　潮
	佐藤　剛	安田　貴司	東山　国男	大山　力
	山本　恒太	津田　英一	米内　正明	小山内　修
	堤　静子	橋場　保人	目澤　伸一	山口　龍城
	高杉　勝彦	工藤　裕司	中居　敬子	川浪　泰浩
	宮野　孝晶	田村　琢哉	中川　伸吾	里村　智彦
	佐藤　忠全	倉橋　純造	一戸　善正	櫛引　利貞
	七尾　嘉信	佐藤　健一	岡島　裕史	工藤　智久
	三上　千春	高木　伸也	高杉金之助	小関　幸一
	外崎れい子			
委員長	山本　浩			
副委員長	岩田　史昭	石田　裕美	出﨑　和夫	
総務委員	松永　敬子	三宅　宏実	稲垣　公雄	笠野　英弘
	関口　直樹	菅原　哲朗	田﨑　博道	松田　基子
	三ヶ田礼一	山澤　文裕	福田　一稔	宇野　武
	二宮　智浩	小竹　喜也	田内　慎也	秋田　勝行
	中尾　慶一郎	下條　伸彦	江橋　千晴	宮本　忠
	小澤　大樹	小笠原忠儀	髙井　和紀	

委　員	平野　了	髙橋　聖一	永井　雅史	神山　康洋
	福士　幸洋	栗原　崇	竹ノ脇　智秋	鈴木　克宜
	葛西　玲広	濱野　勉	寺澤　淳	黒川　重男
	舟喜　信生	福島　亮一	中梶　秀則	堀越　浩
	加藤　憲二	宮川　良輔	鈴木　章広	川口　巖
	山口　俊昭	岡泉　茂	朝倉　康善	木塚　鉄也
	平井　宏治	濱﨑　滿	岸川　剛之	西原　斗司男
	山口　鉄正	菅原　正幸	伊東　毅嗣	長南　哲生
	衛藤　敬輔	上久保　僚	中段　亜由美	鈴木　信吾
	内田　淳二	関根　明子	中山　二三男	﨑村　尚人
	吉田　由美子	杉本　好二	國重　さゆり	髙梨　治紀
	川口　雅三	田邊　賢一	山口　剛	富澤　佑也
	政岡　航大	坊　百花	井澤　貫太	田口　雅紀
	寺垣　佑介	柿﨑　繁信	橋口　真夕	田中　遥太
	町屋　毅博	山本　高史	松橋　伸哉	長谷川　光昭
	白幡　博久	田畑　幸浩	加藤　雄樹	小林　健也
	幸田　和洋	大貫　大輔	小池　則之	今井　隆元
	三浦　理	舟木　雅美	阿部　哲也	片岡　英史
	福居　久志	三武　紀子	長坂　嘉久	井澤　克行
	林　剛史	稲葉　晴伸	森島　哲也	和田　吉史
	中野　真吾	佐々木　智也	木原　哲也	越智　敏文
	小林　悟	中嶋　純也	前田　康博	松本　守正
	松本　綾子	中田　健治	石津　雅之	加藤　泰
	高田　孝行	日野　剛	前田　義朗	笠井　康行
	尾鷲　一成	川端　利行	濱本　昌宏	吉野　賢一郎
	都甲　尚生	山元　尚史	黒田　裕史	髙野　瑞洋
	遠藤　信哉	角屋　憲正	千葉　雅也	菅間　裕晃
	岡崎　正彦	角田　真司	加藤木　紳克	柄澤　宏之
	杉田　聡	塩田　憲司	藤丸　伸和	河野　公紀
	碓井　稔	武田　知己	井上　哲	今後　元彦
	沼田　守弘	田部　長右衛門	松井　守	吉岡　直彦
	髙岡　晃仁	葛目　憲昭	寺崎　雅巳	田島　祥嗣
	荒木　健治	平江　公一	黒木　淳一郎	城間　敏生
	丹羽　浩彰			

競 技 会 役 員

2026年10月１日現在

（順不同・敬称略）

名誉会長	熊谷 雄一	谷川 政人	長久保 耕治	小檜山 吉紀
会長	河合 満			
副会長	伊藤 秀仁	宇津木 麗華	鈴木 俊一	沼澤 憲三
	米内 正明	工藤 俊憲	春藤 英徳	堀子 義人
	竹内 稔	乙供 信博	佐々木 仁	沼辺 慎也
顧問	山崎 拓	三宅 豊	牧島 かれん	長勢 甚遠
	藤森 友義	松山 正治	土江 和良	久保 源治
	尾崎 正則	笹田 嘉雄	髙橋 清生	竹島 正隆
	宇津木 妙子	木本 由孝	武田 平八	海上 寛
	今川 雄策	佐藤 清徳	手塚 英勝	和田 照男
	大島 英世	星名 建市	菅原 文仁	井之上 哲夫
	三井 きよみ	松山 玲子	塩島 虎一郎	田畑 裕明
	押野 稔	吉田 真士	湯浅 佐太郎	吉田 浩之
	杉山 盛雄	太田 正隆	西村 高司	前川 勝六
	中山 泰秀	藤本 百男	疋田 進一	長坂 隆司
	麹谷 昭久	福代 秀洋	原 憲一	岸田 文雄
	友田 有	井川 龍二	大野 敬太郎	穐岡 謙治
	久保 博道	鬼木 誠	大坪 泰	藤山 正昭
	倉重 徹	三浦 正臣	押川 尚生	中原 重信
	中村 正人	藤川 優里	齋藤 信哉	尾崎 寿一
	工藤 光志	森 尚生	長尾 誠治	瀬崎 雅弘
	山内 康之			
参与	岩崎 岑生	神崎 征治	東山 直己	瀬戸山 章
	大川 登	菊池 孝昭	須郷 紘輔	豊田 美好
	大久保 朝泰	高橋 達	笹渕 峰尚	坂本 稔
	平川 修一	古舘 礼茂	岡田 英	土嶺 直樹

長谷川　ひろゆき　山之内　悠　前田　由美　吉田　洸龍
田名部　裕美　高橋　正人　間　盛仁　久保　百恵
苫米地　あつ子　三浦　博司　石橋　充志　中村　益則
日當　正男　小屋敷　孝　壬生　八十博　上条　幸哉
森園　秀一　山名　文世　伊藤　圓子　立花　敬之
坂本　美洋　五戸　定博　寺地　則行　吉田　淳一
西山　康巳　小澤　直子　久保　千恵子　福井　武久
佐々木　郁夫　石田　慎一郎　淡路　徹　藤田　耕次
木村　富士夫　目澤　伸一　田名部　和彦　橋場　保人
小笠原　嘉　嵯峨　弘章　熊谷　誠二　淡路　浩志
村山　通久　橋本　昭一　川浪　泰浩　石澤　陽
附田　眞輔　松橋　満幸　下遠　良子　安達　清幸
高橋　学　小笠原　修　奥寺　良之　武輪　俊彦
佐々木　伸夫　服部　正俊　東山　国男　田中　元
清野　一榮　佐藤　哲　三上　秋雄　松橋　武史
蒔苗　博英　外崎　勝康　野村　太郎　千葉　浩規
木村　隆洋　石山　敬　畑山　聡　蛯名　正樹
齋藤　豪　坂本　崇　成田　大介　竹浪　敦
樋川　篤子　竹内　博之　工藤　賢生　三浦　行
志村　洋子　工藤　裕介　須藤　江利加　角田　しの
渡辺　果歩　日景　弥生　齋藤　由紀子　伊東　重豪
一戸　竜基　清野　浩輝　佐藤　信隆　田澤　昭次郎
山本　昭輝　廣谷　滋　三上　朋子　粟嶋　博美
今井　高志　島　浩之　西村　幸治郎　中村　雅彦
加藤　清　相馬　学　山口　正実　齊藤　誠
櫛引　宏一　長内　弘光　三上　保　三和　聖徳
井澤　隆昭　船水　泰秀　山口　祝一　石田　盛彦
福士　貴博　土岐　賢吾　石田　豊章　三上　千春
鎌田　祥史　木村　知紀　熊谷　孝志　工藤　智久

下山　清司　柿﨑　良樹　森山　正　小友　リカ
小山　三千雄　山内　恒　秋田　美織　蛯沢　正紀
笹倉　健　甲地　昇　田嶋　悟　米倉　俊男
市川　俊光　岡山　粕男　和田　勇人　沼山　英隆
沼山　浩幸　蛯名　竜也　坂本　直大　大崎　昭子
斗賀　高太郎　駒井　健　蛯名　浩司　蛯名　俊一
久保田　利子　佐藤　有希子　小笠原　佳大　和田　真悦
甲田　弘子　沼尾　啓吉　佐々木　勝雄　高橋　憲一
立崎　賢一　木村　好雄　中村　章二　沢田　禮
天間　一博　蛯名　隆教　鶴ケ﨑　信宏　檜山　健悦
木村　慎也　森川　寿　木村　智　仁和　清人
蛯沢　達彦　古賀　文也　福村　誠　蒲出　大樹
洞内　一也　林　博幸　阿部　雅彦　舘崎　裕之
蛯名　誠樹　蛯名　美弥子　野田　武儀　大久保　恵子
和田　俊光　甲地　尚彦　尾形　繭豪　古屋敷　健一
漆戸　敬人　甲地　徳彦　下山　光義　浅野　一朗
小比類巻　大晃　久保田　隆二　舩見　昌功　小比類巻　孝幸
鈴木　重正　遠藤　泰子　佐々木　卓也　奥本　菜保巳
澤口　正義　加澤　明　西村　盛男　春日　洋子
小比類巻　雅彦　馬場　騎一　堤　喜一郎　落合　喜一
松森　まゆみ　小向　香織　蛯名　政憲　松島　正栄
福田　恵美子　古間木　勝弘　佐々木　亮　小比類巻　正規
井戸端　隆雄　石黒　一之　高橋　修一　直町　成二
中野　良喜　小山内　秀樹　豊川　武伸　月舘　学
蛯名　佐知子　米田　光一郎　鈴木　吾朗　藤田　光彦
松館　昌典　田中　浩　大塚　勤光　伊澤　徹
山本　京子　坂岡　敏行　角　貴浩　長根　隆弘
岡部　章典　栗原　祐一

委員長	岡本　友章				
副委員長	安藤　智史	山本　芳弘	古山　潤	松尾　雅樹	
	熊野　真希				
委員	佐々木　幸治	西　康弘	大沼　信一	秋枝　英行	
	谷田　圭司	木田　京子	佐藤　理恵	神谷　和宏	
	鈴木　利夫	平井　靖之	稲福　孝	鈴木　優子	
	荒木　香織	岩﨑　眞美	岡田　理恵	白土　なほ子	
	清水　光	西村　昭宏	村田　文敏	山田　博子	
	赤木　陽一	石井　延明	上村　知裕	笹　浩一郎	
	下野　文克	近藤　公信	蝦名　實	石川　章子	
	藤本　一	常岡　昇	小柴　一良	加藤　聡	
	和田　真	西澤　寿明	田名部　靖高	鎌田　視久	
	山﨑　睦子	千葉　誠	野澤　紀美子	吉成　幸三	
	新山　奈緒子	猪股　豊	矢田　公夫	打谷　圭子	

競　技　役　員

2026年10月1日時点

（順不同・敬称略）

競技委員長	安藤　智史				
競技副委員長					
（成年男子）	鈴木　俊一	久保田　真澄			
（成年女子）	西　康弘	笹　浩一郎			
（少年男子）	大沼　信一	佐々木　勝雄			
（少年女子）	佐々木　幸治	落合　喜一			
総務委員長	久下　知宏	須郷　紘輔			
総務副委員長					
（成年男子）	豊田　美好	下野　文克			
（成年女子）	工藤　悦子				
（少年男子）	沼澤　憲三	高橋　憲一			
（少年女子）	坂本　稔	伊藤　英治			
総務主任					
（成年男子）	関　忠俊	出戸　寛			
（成年女子）	葛西　伸子	成田　春美			
（少年男子）	坂本　正剛	榎林　美里			
（少年女子）	千浦　弘	大髙　敏			
審判長	神谷　和宏				
副審判長					
（成年男子）	足袋抜　豊松	安斉　正美			
（成年女子）	水野　直輝				
（少年男子）	遠藤　裕美				
（少年女子）	小牧　司				
審判主任					
（成年男子）	相田　均	柿木　卓	菊地　潤一朗		
（成年女子）	石川　章子	庄司　義徳	三橋　巧	小松　浩幸	
（少年男子）	天間　一	船水　統			
（少年女子）	蛯名　芳樹	小山　亮	遠藤　堅	渡辺　卓夫	
審判員					
（成年男子）	工藤　俊二	木村　敏	瀬川　和宏	澤田　博幸	
	鈴木　郁夫	河村　弘道	尾﨑　稔	近藤　公信	
	円谷　昌彦	梅原　章仁	大庭　和久	吉田　雄児	
	星　正信	関根　進	齊藤　一彦	片石　直	

	大平　栄二	佐藤　祐輔	小野寺　永門	藤井　保宏
	及川　伸一			
（成年女子）	對馬　秀道	一戸　洋	八木橋　康悠	傳法　聡
	藤田　道成	小山内　勝廣	斎藤　誠	工藤　良信
	櫻庭　勝彦	市村　朝裕	遠藤　正美	高桑　修二
	石川　龍也	小森　雅弘	山本　洋一	佐藤　知
	見上　信	正木　達馬	小松　久敏	村上　秀幸
	畠山　智徳			
（少年男子）	後本　裕介	福井　靖仁	吹田　寿史	中村　秀一
	長尾　孝宏	小笠原　裕	八木田　清之	辻浦　宗典
	千葉　徹	佐藤　行正	千葉　光久	細川　忠慶
	阿部　光博	押元　栄一	折戸　仁一	高橋　昭紀
	平間　武	市川　幸美	名和　孝志	渡邊　武治
	千葉　美穂			
（少年女子）	村田　拓省	金田　英人	千葉　裕子	内久保　隆治
	川崎　忍	鈴木　一枝	浅井　孝明	藤島　純
	菊池　昌彦	高橋　利恵子	菊池　ますみ	菊池　裕哉
	小山　大成	古屋敷　孝悦	荒川　英幸	石川　諭
	小川　洋平	千葉　和則		
記録長	村田　文敏			
副記録長				
（成年男子）	本部　亨			
（成年女子）	安東　文雄	中田　久美子		
（少年男子）	田中　都			
（少年女子）	鈴木　豊			
記録員（主任）				
（成年男子）	下村　美佐子	寺地　栄		
（成年女子）	竹村　智美	高橋　達		
（少年男子）	阿部　まゆみ	阿部　みゆじ		
（少年女子）	櫻井　雄泰	立花　利江		
記録員				
（成年男子）	梅舘　沙知	林　美幸	鈴木　恵理子	分枝　早哉香
	西村　真一	安田　達朗	野田　誠	加藤　美枝
	菅家　あけみ	川辺　まり子	田中　麻実	
（成年女子）	久保　空見	白川　華耶	田中　由美子	松木　広美
	松木　冨美子	菊池　智子	小松　鮎美	小川　みどり

	正木　歩美			
（少年男子）	金野　文博	佐藤　有幸	木村　玲奈	小山内　由衣
	佐藤　美保	蛯名　香織	小林　亜耶美	田村　紀子
	佐藤　寛	田端　広菜		
（少年女子）	常岡　昇	中井　早紀	安斉　瑞紀	西濱　宥
	千葉　弘美	佐々木　裕子	佐々木みどり	前野　牧雄

球場主任

（成年男子）	大西　芳明	後藤　喜隆		
（成年女子）	村上　芳高	鳴海　晃		
（少年男子）	西舘　憲	蔵川　進		
（少年女子）	佐藤　日出夫	平野　博文		

球場委員

（成年男子）	和田　邦夫	古内　正紀	地代所　良悦	平井　紀成
	中村　一夫	西濱　廣志	鈴木　弘	小嶋　隆雄
（成年女子）	阿保　雅幸	木村　友哉	平山　貴	藤田　優勝
	石岡　聖逸	浜田　凌真	對田　朋香	浅瀬石　悟
	齋藤　克正	田中　純子	八代　昌樹	工藤　明子
（少年男子）	久保田　潤美	沼山　光雄	沼尾　敏彦	沼田　信一
	蛯名　俊一	蛯名　りりか	松山　貴子	小笠原　七重
（少年女子）	相内　大毅	小比類巻　倭	倉内　健太	乙供　翔斗
	上明戸　朝日	和田　大成	工藤　一嘉	畑山　明弘
	宮古　秀行	岡田　哲也	佐々木　純一	織笠　恵子
	種市　享乃	小山内　広	多村　光男	浦田　悠矢
	相内　幸見	大久保　直将	西　孝丞	田村　利樹
	森　哲真	米内山　敏明	芝田　啓悟	中薮　稜
	加藤　千尋	花村　悠祐	斗米　幸輝	羽田　数也
	熊谷　賢人	吉田　隆行	中村　幸志朗	山中　将宗
	玉井　憲治	佐久間　美紀	奥寺　智絵	

放送委員長　工藤　悦子

放送委員（主任）

（成年男子）	西舘　明子
（成年女子）	宮田　敦子
（少年男子）	岩崎　悠子
（少年女子）	竹浦　陽子

放送委員（副主任）

（成年男子）　福田　美佐子
（成年女子）　高橋　香織
（少年男子）　山崎　美紀
（少年女子）　相馬　葉子

放送委員

（成年男子）　山端　綾美　谷地　敦美　木村　弥生　村井　幸恵
　　向井　桜良　盛田　三保子　沼辺　裕佳　伊勢田みちよ
（成年女子）　成田　静子　斉藤　美紀子　成田　正人
（少年男子）　坂本　楽々花　坂本　日楽里　谷田　亜也子
（少年女子）　古田　直子　末林　新菜　井上　紫歩　澤村　一未
　　米内口　鈴音　松橋　希美

報道委員（主任）

（成年男子）　鳴海　暁
（成年女子）　石上　朋美
（少年男子）　石田　雄大
（少年女子）　伊藤　英治

報道委員（副主任）

（成年男子）　蔦林　佳子
（成年女子）　宮川　具子
（少年男子）　中村　勇斗

報道委員

（成年男子）　関下　苺花　谷地　敦美　川村　結衣
（成年女子）　吉田　沙織　秋元　智美　外川　梨恵子　成田　良子
　　鈴木　小百合　山崎　若菜　松澤　彩乃　工藤　真子
　　吉田　恋　中山　知美　工藤　明香　藤田　佑香
　　外﨑　弘子　尾崎　智子
（少年男子）　小笠原　隼輝　岡山　美穂
（少年女子）　古田　直子　阿部　純

式典委員（主任）

（成年男子）　盛田　三保子
（成年女子）　加藤　真紀子
（少年男子）　高松　克利
（少年女子）　古田　直子

式典委員（副主任）

（少年女子）　阿部　純

式典委員

（成年男子）　木村　弥生　高津　康子

（成年女子）　竹浪　みゆき　前田　真須美　赤平　留理子　相馬　亜里
坂本　和枝

（少年男子）　漆畑　清輝　大島　真奈美

（少年女子）　松橋　希美　末林　新菜

接待委員（主任）

（成年女子）　一戸　直美

接待委員

（成年男子）　蔦林　佳子　川村　結衣　伊勢田みちよ　村井　幸恵

（成年女子）　會津　貴子　木村　由鶴　阿保　恵子　鶴田　純愛
吉川　幸愛　工藤　未也美　佐藤　優実　今井　和花子
丹藤　和沙

（少年男子）　上野　智佳　藤田　幸江　中村　瀬名　中嶋　友香

（少年女子）　古田　直子　阿部　純

練習会場委員（主任）　沼畑　里咲

（成年女子）　高坂　正勝

（少年男子）　富岡　賢治

練習会場委員

（成年男子）　山田　明美　松橋　裕子　宮崎　千弘　吹越　のりみ
平井　遥子

（成年女子）　成田　修宏　田地野　和行　清野　直伸　蛯名　實

（少年男子）　浜形　隆揮　蛯名　亮介　沼澤　大斗　小笠原　翔太

総合成績計算委員長　村田　文敏

総合成績計算委員

（成年男子）　本部　亨

（成年女子）　安東　文雄　中田　久美子

（少年男子）　田中　都

（少年女子）　鈴木　豊

競 技 補 助 員

（順不同）

青森県立八戸高等学校	青森県立八戸西高等学校	青森県立八戸商業高等学校
千葉学園高等学校	八戸聖ウルスラ学院高等学校	八戸学院光星高等学校
八戸工業大学第一高等学校	八戸工業大学第二高等学校	独立行政法人国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
青森県立弘前中央高等学校	青森県立弘前実業高等学校	弘前学院聖愛高等学校
弘前市立第一中学校	弘前市立第二中学校	弘前市立東中学校
弘前市立裾野中学校	平川市立尾上中学校	平川市立平賀西中学校
平川市立平賀東中学校	青森県立三沢高等学校	青森県立三沢商業高等学校

競 技 会 係 員

青の煌めきあおもり国スポ　八戸市実施本部係員
青の煌めきあおもり国スポ　弘前市実施本部係員
青の煌めきあおもり国スポ　東北町実施本部係員
青の煌めきあおもり国スポ　三沢市実施本部係員

ボ ラ ン テ ィ ア

青の煌めきあおもり国スポ　八戸市運営ボランティア一同
青の煌めきあおもり国スポ　弘前市運営ボランティア一同
青の煌めきあおもり国スポ　東北町運営ボランティア一同
青の煌めきあおもり国スポ　三沢市運営ボランティア一同

八戸市　協力機関・団体等（成年男子）

（順不同・敬称略）

協賛企業・団体

トヨタカローラ八戸㈱　ネッツトヨタみちのく㈱
エイト技術㈱　㈱七洋
エイコウコンサルタンツ㈱　（一社）八戸建設業協会
㈱第一ホーム　㈱中村木材店
㈱ジーアイテック　太子食品工業㈱
㈱大興　八戸通運㈱
（協組）八戸中央建設業協会　三八五交通㈱
㈱サン・コンピュータ　㈱テクノル
北日本造船㈱　八戸商工会議所
十文字チキンカンパニー　北辰工業㈱
テルウェル東日本㈱東北支店　八戸電気工事業（協組）
プライフーズ㈱　㈱ライケット
㈱イチカワファーム　八戸酒造㈱
HappyBulldog　㈱石上建設
㈱シティーハウス　㈱エイトドア
㈱八戸プラザホテル　㈱サンデー
㈱ケーパル　㈱SkyNext
（協組）八戸造園建設業協会　㈲しんぼり
㈱トーショー

応援のぼり旗作成

八戸小学校　吹上小学校　長者小学校　中居林小学校
柏崎小学校　小中野小学校　江陽小学校　湊小学校
青潮小学校　白銀小学校　町畑小学校　鮫小学校
種差小学校　大久喜小学校　金浜小学校　根城小学校
田面木小学校　下長小学校　根岸小学校　是川小学校
三条小学校　明治小学校　桔梗野小学校　轟木小学校
多賀小学校　豊崎小学校　新井田小学校　旭ヶ丘小学校
多賀台小学校　白鷗小学校　城下小学校　図南小学校
高館小学校　江南小学校　城北小学校　西園小学校
白銀南小学校　白山台小学校　西白山台小学校　島守小学校
南郷小学校　第一中学校　第二中学校　第三中学校
長者中学校　小中野中学校　湊中学校　白銀中学校
鮫中学校　南浜中学校　根城中学校　下長中学校
是川中学校　三条中学校　明治中学校　市川中学校
豊崎中学校　大館中学校　江陽中学校　北稜中学校
東中学校　白銀南中学校　白山台中学校　中沢中学校
島守中学校
八戸聖ウルスラ学院中学校　八戸工業大学第二高等学校附属中学校

弘前市　協力機関・団体等（成年女子）

（順不同・敬称略）

協賛企業・団体

株式会社日善電気	青森三菱電機機器販売株式会社
株式会社日善工業	弘前建設業協会
株式会社テクノル	有限会社エポックス
学校法人弘前城東学園	津軽保健生活協同組合
有限会社ゴールド農園	

応援のぼり旗作成

○はるか夢球場	自得小学校	福村小学校	小沢小学校	和徳小学校
	石川小学校	東小学校	岩木小学校	新名小学校
	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校
	裾野中学校	南中学校	津軽中学校	
	弘前大学教育学部附属中学校			

○岩木山総合公園	高杉小学校	船沢小学校	三省小学校	文京小学校
	青柳小学校	東目屋小学校	桔梗野小学校	西小学校
	松原小学校	新和小学校	常盤野小学校	相馬小学校
	船沢中学校	東目屋中学校	北辰中学校	東中学校
	常盤野中学校	相馬中学校	東奥義塾中学校	

東北町　協力機関・団体等（少年男子）

（順不同・敬称略）

協賛企業・団体

株式会社ホクエツ東北　家具・事務機の黒川
青森みちのく警備保障株式会社　十和田おいらせ農業協同組合上北支店
小川原湖漁業協同組合　東北町建設業協会
東北建設株式会社　東北町森林組合
株式会社　サンデー　ゆうき青森農業協同組合
プライフーズ株式会社

応援のぼり旗作成

上北小学校　甲地小学校　東北小学校　上北中学校
東北中学校

三沢市　協力機関・団体等（少年女子）

（順不同・敬称略）

協賛企業・団体

スターゼンミートプロセッサー㈱青森工場	株式会社小坂工務店
ニッコーム株式会社	株式会社東北企画
有限会社ヒーローネット	三沢市観光協会
三沢市商工会	三沢地区塗装業組合
サイトウ看板店	三沢建築組合
三沢市管工事協同組合	県南グループ
株式会社ＳｋｙＮｅｘｔ	有限会社ループ
おいらせ農業協同組合	

応援のぼり旗作成

三沢商業高等学校	古間木小学校	上久保小学校	木崎野小学校
岡三沢小学校	三沢小学校	おおぞら小学校	第一中学校
第二中学校	第三中学校	第五中学校	堀口中学校
岡三沢こども園	三沢第一幼稚園	ピッコロ保育園	

花いっぱい運動

連合町内会	三沢商業高等学校	三沢市立中央保育所	岡三沢こども園
鹿中保育園	三沢第一幼稚園	ピッコロ保育園	いちい幼稚園

総　　則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第８０回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

実　施　方　針（目次）

※内容については、下記ＵＲＬまたは二次元コードからご参照ください。

【ＵＲＬ】https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/kokuspo/outline/

【二次元コード】

1　実施競技
2　会期及び会場地
3　競技方法
4　ドーピング検査の実施
5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準
6　各正式競技の総合成績決定方法
7　表彰
8　参加申込方法
9　棄権手続
10　大会参加負担金
11　宿泊申込
12　都道府県選手団本部役員編成
13　視察員
14　参加章及び AD カードの交付
15　参加上の注意
16　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い
17　都道府県大会及びブロック大会
18　国民スポーツ大会参加者傷害補償制度
19　青の煌(きら)めきあおもり国スポの実施目標
20　その他

別記１　「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」
別記２　「『一家転住等』に伴う特例措置」
別記３　「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」
別記４　「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」
別記５　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」
別記６　「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

ソフトボール競技

1　期　　日　　2026 年 10 月 17 日（土）から 10 月 19 日（月）まで（３日間）

種　　別	10 月 17 日（土）	10 月 18 日（日）	10 月 19 日（月）
成年男子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決勝
成年女子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決勝
少年男子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決勝
少年女子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決勝

2　会　　場

八戸市（成年男子）	八戸市長根公園野球場
	八戸市東運動公園野球場
弘前市（成年女子）	弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
	岩木山総合公園野球場
東北町（少年男子）	東北町南総合運動公園ソフトボール場
	東北町南総合運動公園野球場
三沢市（少年女子）	三沢市南山屋外運動場

3　種別及び参加人員

種　　別	監　　督	選　　手	チーム数	小　　計	合　計（人）
成年男子	1	12	13	169	715
成年女子	1	13	13	182	
少年男子	1	13	13	182	
少年女子	1	13	13	182	

4　競技上の規程及び方法

⑴　競技規則は、「2026 年度公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール」を適用する。ただし、特別事項は、監督会議で決める。

⑵　試合方法は、トーナメント方式による。ただし、３位決定戦は行わない。

⑶　５回以降７点以上の差がついた場合は、コールドゲームとする。

5　予選方法

⑴　都道府県大会は、各都道府県において細目を決めて実施し、ブロック大会代表チームを決定する。

⑵　ブロック大会は、各ブロックにおいて実施し、本大会代表チームを決定する。実施要項は、そのブロック内で協議の上、作成する。

⑶　各ブロック代表の理事は、ブロック大会終了後、直ちにブロック大会参加チーム名及び成績を公益財団法人日本ソフトボール協会宛に報告すること。

⑷　ブロック大会区分及び各種別の代表チーム数は、次の表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東　北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	1	1	2	2
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	1	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	1	1
東　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1	1
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	1	1
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	2	1	1
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1	1
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	2	2
開催県	青森	1	1	1	1
計		13	13	13	13

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

⑴　監督が選手を兼ねるときは、選手登録をしなければならない。

⑵　本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトボールコーチ１、公認ソフトボールコーチ２、公認ソフトボールコーチ３、公認ソフトボールコーチ４のいずれかの有資格者でなければならない。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

⑴　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも 1 位 64 点、２位 56 点、３位（２チーム）各 44 点、５位（４チーム）各 20 点の競技得点を与える。

⑵　参加得点

大会（ブロック大会含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えない。

8　表　　彰

⑴　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に表彰状を授与する。

⑵　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

⑶　各種別の第１位から第５位（４チーム）までに、賞状を授与する。

９　参加申込方法

総則８に定めるもののほか、次による。

⑴　所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて 2026 年９月３日（木）午後５時までに申込手続を完了すること。

⑵　締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

⑶　参加申込締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷害、転勤等の特別な場合のみ認めるものとし、その取扱いについては次のとおりとする。

ア　提 出 期 日　監督会議前日まで

イ　提　出　先

（ｱ）　〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10 階
公益財団法人日本ソフトボール協会
TEL 03-5843-0480　FAX 03-5843-0485
E-mail　jsaoffice@softball.or.jp

（ｲ）　〒030-8570　青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局　競技式典課　競技運営グループ）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015
E-mail　aomori2026kyougiunei@pref.aomori.lg.jp

（ｳ）　（成年男子）
〒031-8686　青森県八戸市内丸一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ八戸市実行委員会事務局
（八戸市観光文化スポーツ部　国スポ・障スポ推進室）
TEL　0178-43-9579　FAX　0178-43-9375
E-mail　softball2026@city.hachinohe.aomori.jp

（ｴ）　（成年女子）
〒036-8551　青森県弘前市大字上白銀町１番地１
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会事務局
（弘前市健康こども部スポーツ局　国スポ・障スポ推進課）
TEL 0172-55-9843　FAX 0172-26-8146
E-mail　2026kokuspo-softball@city.hirosaki.lg.jp

（ｵ）　（少年男子）
〒039-2401　青森県上北郡東北町大字上野字上野 191 番地 15
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ東北町実行委員会事務局
（東北町教育委員会　社会教育スポーツ課）
TEL 0176-56-5180　FAX 0176-56-4235
E-mail　kokusupo2026@town.tohoku.lg.jp

（ｶ）（少年女子）

〒033-0011　青森県三沢市幸町三丁目１１番５号三沢市総合社会福祉センター２階
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ三沢市実行委員会事務局
（三沢市市民生活部　国スポ・障スポ推進室）
TEL 0176-51-1235　FAX 0176-53-2266
E-mail　msw_kokusupo@misawashi.aomori.jp

ウ　提出方法　　交代届を記載、PDF データをメール送信

エ　特記事項　　診断書は不要とする。選手変更の場合、交代者記載内容「その他の必要事項」欄にユニフォームナンバーを記載すること。

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続により参加申込情報を修正すること。

10　参加上の注意

⑴　ユニフォームナンバーは１～99 番までとする。ただし、主将は 10 番、監督は 30 番とし、背番号の大きさは、15cm 以上で統一されたものであること。また、ユニフォーム上衣の胸下に背番号と同番号を付けること。大きさは、６cm 以上 12cm 以内とする。

⑵　競技に際しては、都道府県名のみを明記したユニフォームを着用しなければならない。

⑶　チーム名は、単独、補強、選抜を問わず都道府県名を明示すること。

⑷　監督会議の出席に際しては、競技用ユニフォームを着用すること。

⑸　会場地において配宿する人員は、エントリー数以外は認めない。

11　その他

⑴　組合せ抽選会

日　時　　2026 年９月６日（日）　午後１時
場　所　　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号
TEL 03-5843-0480　FAX 03-5843-0485

⑵　監督会議

（成年男子）

日　時　　2026 年 10 月 16 日（金）　午後２時
場　所　　八戸市スポーツ研修センター　２階　第１会議室
〒031-0073　青森県八戸市売市輿遊下３
TEL 0178-22-7181　FAX 0178-22-7183

（成年女子）

日　時　　2026 年 10 月 16 日（金）　午後２時
場　所　　弘前市民会館　大会議室
〒036-8551　青森県弘前市大字下白銀町１番地６
TEL 0172-32-3374　FAX 0172-32-3881

（少年男子）

日　時　　2026年10月16日（金）　午後２時

場　所　　東北町民文化センター　大集会室

〒039-2401　青森県上北郡東北町大字上野字上野191番地15

TEL 0176-56-5180　FAX 0176-56-4253

（少年女子）

日　時　　2026年10月16日（金）　午後２時

場　所　　三沢市国際交流教育センター　研修室１・２

〒033-0022　青森県三沢市大字三沢字園沢230番地１号

TEL 0176-51-1255　FAX 0176-51-1211

⑶　審判・記録員会議

（成年男子）

日　時　　2026年10月16日（金）　午後３時

場　所　　八戸市スポーツ研修センター　２階　視聴覚室

〒031-0073　青森県八戸市売市輿遊下３

TEL 0178-22-7181　FAX 0178-22-7183

（成年女子）

日　時　　2026年10月16日（金）　午後３時

場　所　　弘前市民会館　大会議室・中会議室

〒036-8551　青森県弘前市大字下白銀町１番地６

TEL 0172-32-3374　FAX 0172-32-3881

（少年男子）

日　時　　2026年10月16日（金）　午後３時

場　所　　東北町民文化センター　大集会室

〒039-2401　青森県上北郡東北町大字上野字上野191番地15

TEL 0176-56-5180　FAX 0176-56-4253

（少年女子）

日　時　　2026年10月16日（金）　午後３時

場　所　　三沢市国際交流教育センター　研修室１・２

〒033-0022　青森県三沢市大字三沢字園沢230番地１号

TEL 0176-51-1255　FAX 0176-51-1211

⑷　表彰式

準々決勝、準決勝、決勝終了後、直ちに当該グラウンドまたは競技会場内で行う。

式 典 次 第

【第５位表彰式】

日　　時　２０２６年１０月１８日（日）
　　準々決勝終了後
会　　場　各球場

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	賞状授与・副賞授与
4	閉式通告
5	選手退場

【第３位表彰式】

日　　時　２０２６年１０月１８日（日）
　　準決勝終了後
会　　場　各球場

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	賞状・メダル授与・副賞授与
4	閉式通告
5	選手退場

【種別表彰式】

日　　時　２０２６年１０月１９日（月）
　　決勝終了後
会　　場　各球場

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	成績発表
4	賞状・メダル・副賞授与
5	競技会会長あいさつ
6	歓送のことば
7	競技会終了宣言
8	閉式通告
9	選手退場

【総合表彰式】

日　　時　２０２６年１０月１９日（月）
　　種別表彰式終了後
会　　場　弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）

順　　序	内　　容
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状授与
4	大会会長トロフィー授与
5	競技会終了宣言
6	閉式通告



〔22〕ソフトボール競技

競 技 日 程

八戸市
弘前市
東北町
三沢市

監　督　会　議	10月16日（金） 14時00分	（成年男子）	八戸市スポーツ研修センター　２階 第１会議室
		（成年女子）	弘前市民会館　大会議室
		（少年男子）	東北町民文化センター 大集会室
		（少年女子）	三沢市国際交流教育センター 研修室１・２
審判・記録員会議	10月16日（金） 15時00分	（成年男子）	八戸市スポーツ研修センター　２階　視聴覚室
		（成年女子）	弘前市民会館　大会議室・中会議室
		（少年男子）	東北町民文化センター 大集会室
		（少年女子）	三沢市国際交流教育センター 研修室１・２

			10月17日（土）	10月18日（日）	10月19日（月）
八戸市	成年男子	A	八戸市長根公園野球場 １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 第３試合　13：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	決　勝　10:00～
		B	八戸市東運動公園野球場 １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	
弘前市	成年女子	C	弘前市運動公園野球場（はるか夢球場） １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 第３試合　13：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	決　勝　10:00～
		D	岩木山総合公園野球場 １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	
東北町	少年男子	E	東北町南総合運動公園ソフトボール場 １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 第３試合　13：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	決　勝　10:00～
		F	東北町南総合運動公園野球場 １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	
三沢市	少年女子	G	三沢市南山屋外運動場（Ａ球場） １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 第３試合　13：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	決　勝　10:00～
		H	三沢市南山屋外運動場（Ｂ球場） １回戦 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～	準々決勝 第１試合　９：00～ 第２試合　11：00～ 準決勝　14：00～	

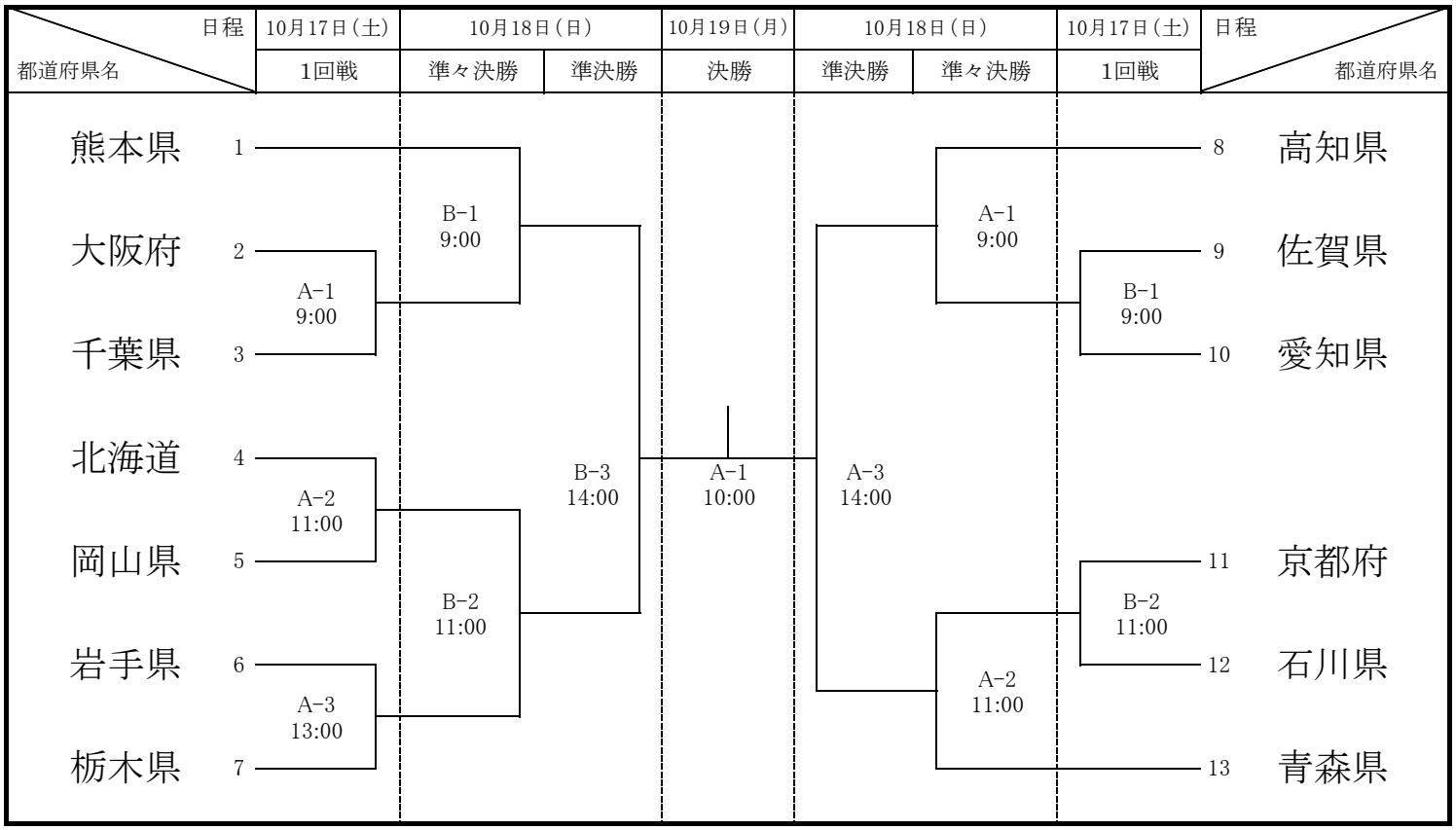
表彰式日程

５位表彰式	10月18日（日） 準々決勝終了後	成年男子	Ａ：八戸市長根公園野球場
			Ｂ：八戸市東運動公園野球場
		成年女子	Ｃ：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
			Ｄ：岩木山総合公園野球場
		少年男子	Ｅ：東北町南総合運動公園ソフトボール場
			Ｆ：東北町南総合運動公園野球場
		少年女子	Ｇ：三沢市南山屋外運動場（Ａ球場）
			Ｈ：三沢市南山屋外運動場（Ｂ球場）
３位表彰式	10月18日（日） 準決勝終了後	成年男子	Ａ：八戸市長根公園野球場
			Ｂ：八戸市東運動公園野球場
		成年女子	Ｃ：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
			Ｄ：岩木山総合公園野球場
		少年男子	Ｅ：東北町南総合運動公園ソフトボール場
			Ｆ：東北町南総合運動公園野球場
		少年女子	Ｇ：三沢市南山屋外運動場（Ａ球場）
			Ｈ：三沢市南山屋外運動場（Ｂ球場）
種別表彰式	10月19日（月） 決勝終了後	成年男子	Ａ：八戸市長根公園野球場
		成年女子	Ｃ：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
		少年男子	Ｅ：東北町南総合運動公園ソフトボール場
		少年女子	Ｇ：三沢市南山屋外運動場（Ａ球場）
総合表彰式	10月19日（月） 種別表彰式終了後		Ｃ：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）

ソフトボール競技　組合せ表

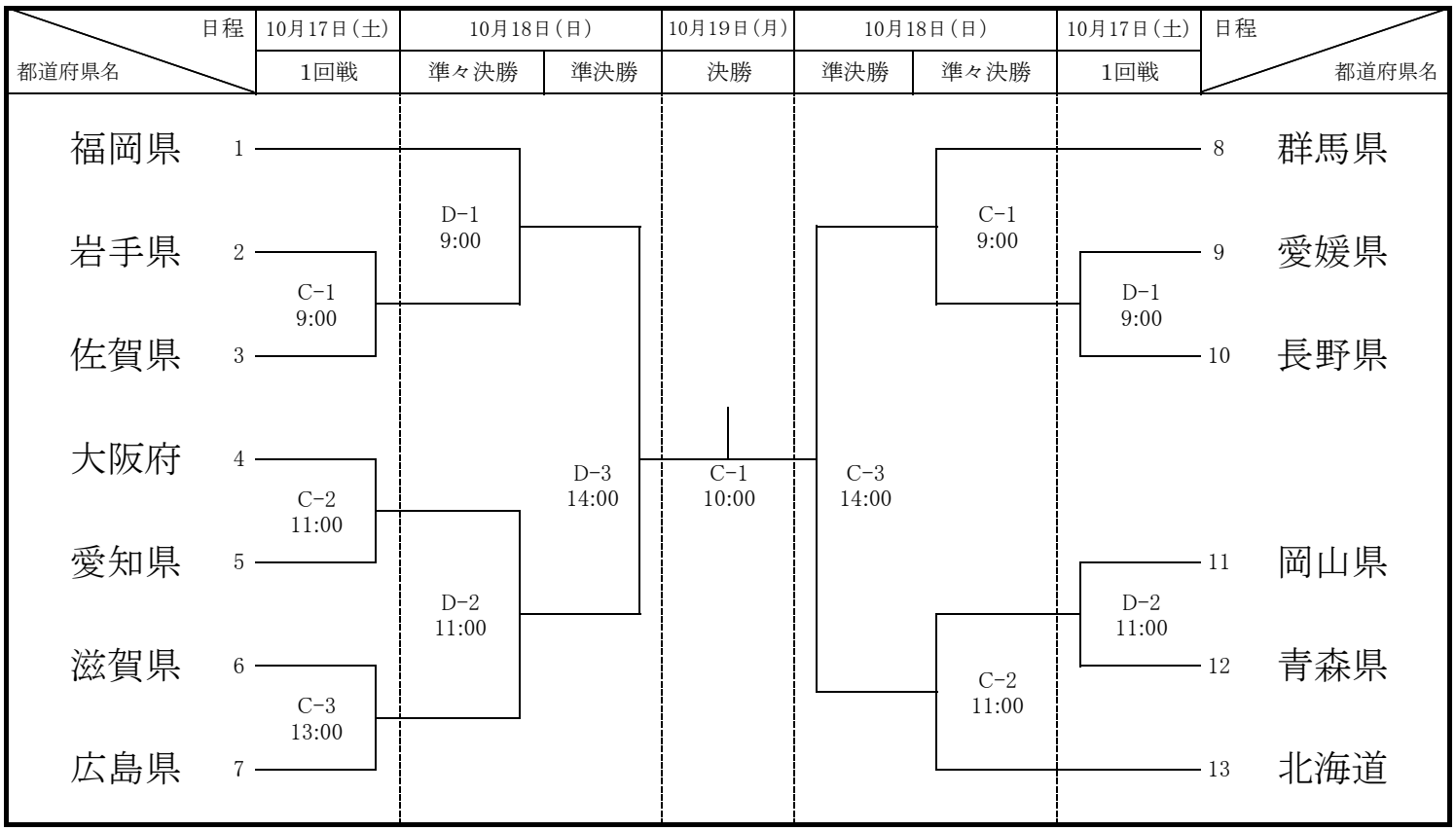
【成年男子】

Ａ：八戸市長根公園野球場
Ｂ：八戸市東運動公園野球場



【成年女子】

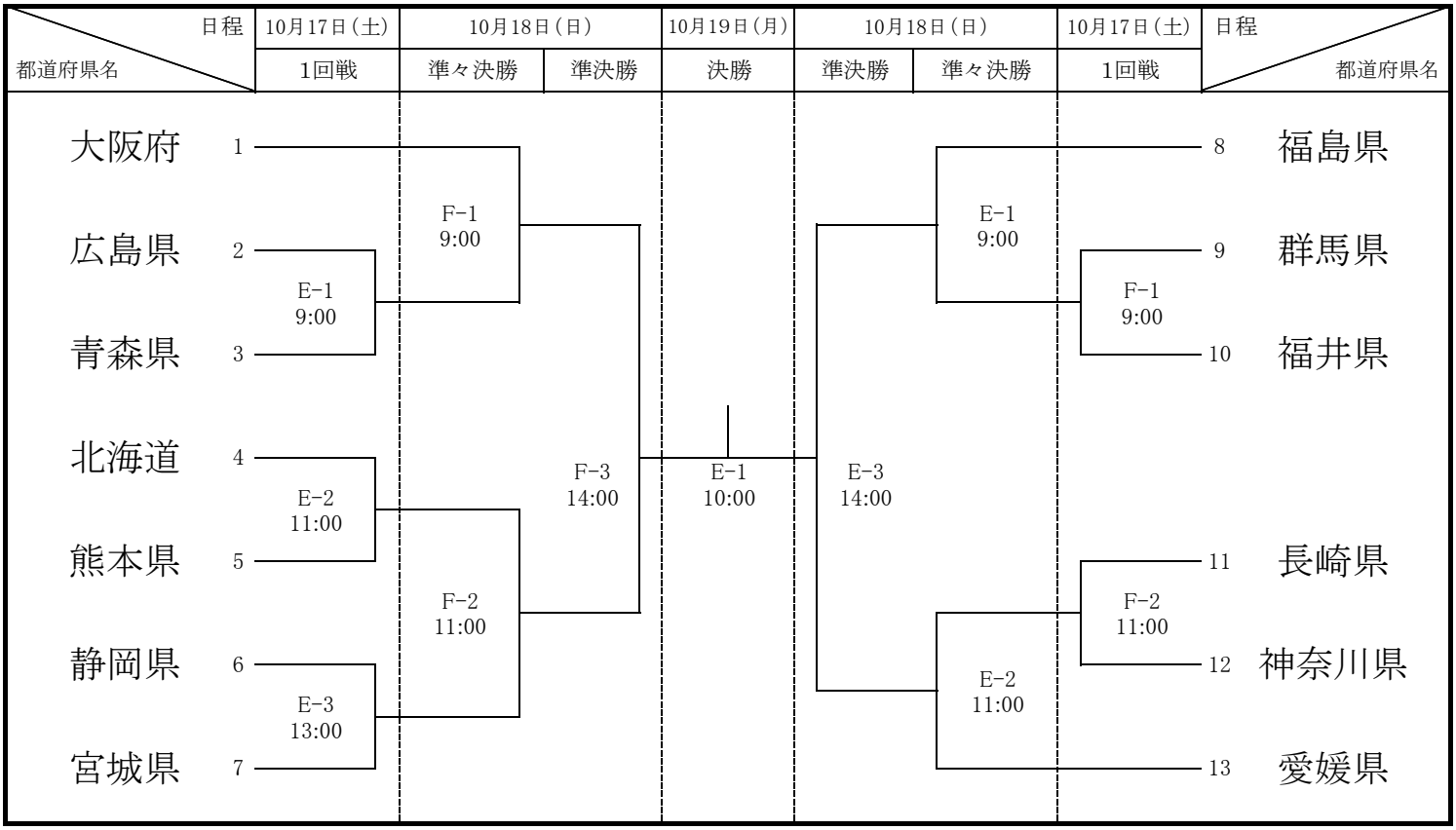
Ｃ：弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)
Ｄ：岩木山総合公園野球場



ソフトボール競技　組合せ表

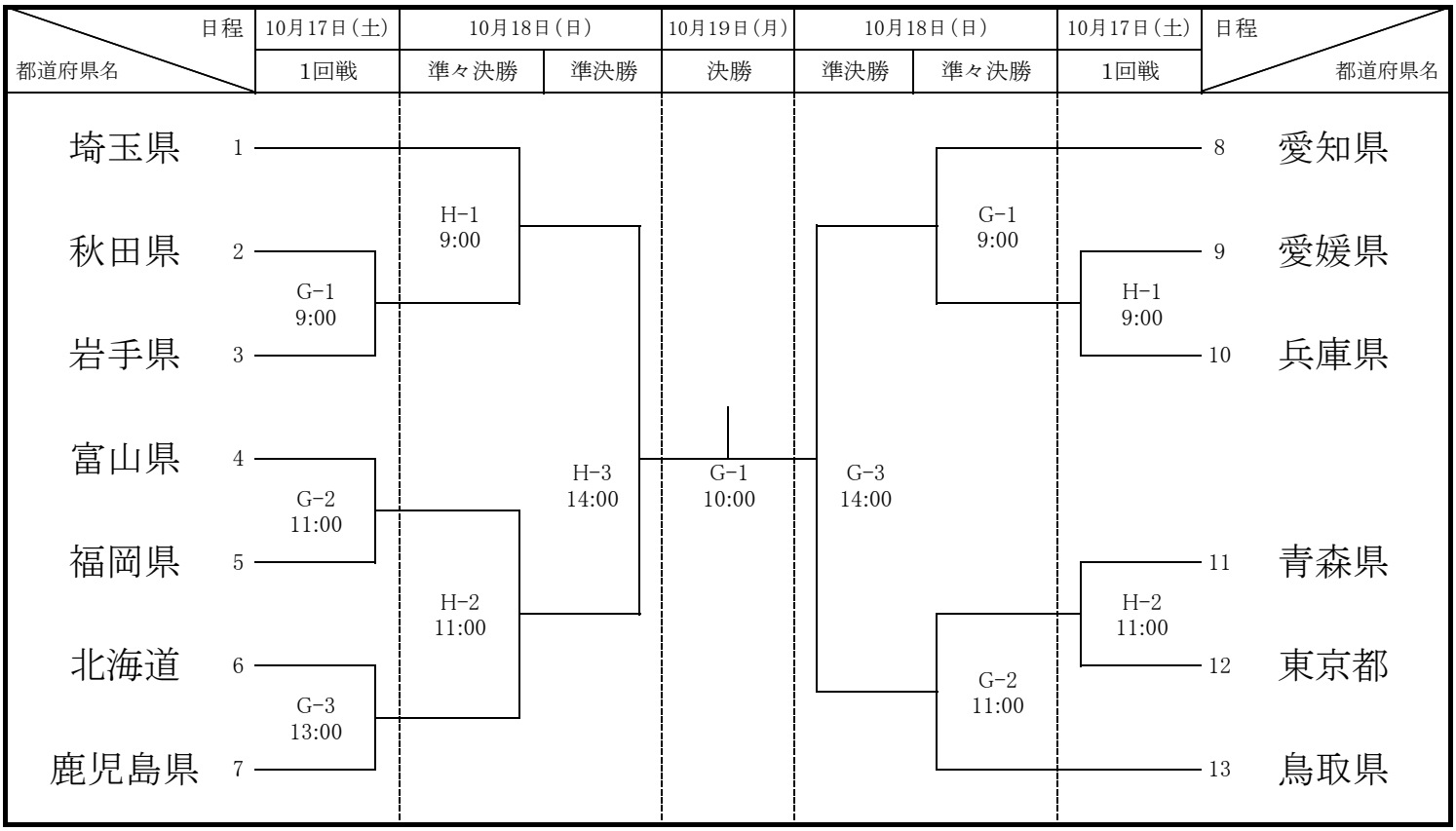
【少年男子】

E： 東北町南総合運動公園ソフトボール場
F： 東北町南総合公園野球場



【少年女子】

G： 三沢市南山屋外運動場A球場
H： 三沢市南山屋外運動場B球場



ソフトボール競技の見方

１．ソフトボール競技の歴史

ソフトボールは、１９００年頃アメリカで「インドア・ベースボール」として始められたとされています。日本では１９２１年東京高等師範学校教授『大谷武一』氏によって紹介されたことに始まるとされており、当時は「インドア・ベースボール」「プレイグラウンドボール」と呼ばれていました。

その後、アメリカ駐留軍がソフトボールを全国各所で展開したことから、１９４５年に日本軟式野球連盟にソフトボール部が併置されました（普及は進みませんでした）。当時、武道を禁じられていた日本は、青少年の健康と明朗な精神を取り戻すため、文部省で協議した内容に、岩野次郎（当時文部省体育官。後の日本協会副会長）、栗本義彦（当時文部省体育官 後の日本協会副会長及び日本体育大学学長）の提案が加わり、ソフトボールの普及が強調されるようになりました。

１９４６年には日本で初めてのソフトボールの大会が開催され、その翌年の第２回石川国体では高校硬式野球の準決勝、決勝の間に女子ソフトボールの試合が非公式のオープンゲームとして行われました。

１９４９年には、日本軟式野球連盟から分離独立する形で日本ソフトボール協会が創立されました。また、同年に日本体育協会に加盟したことを契機に、第１回全日本高等学校女子選手権大会と第１回一般女子選手権大会が開催されました。この年に公式ソフトボール規則が発行されています。

１９５０年の第５回愛知国体から高校女子、一般女子が正式競技となり、翌年の１９５１年に国際ソフトボール連盟（ＩＳＦ）が設立し、日本も加盟しました。そして、１９５５年に第１回全日本一般男子選手権が開催され、１９５７年の第１２回静岡国体から一般男子も正式競技になりました。更に１９６６年には、第１回高等学校男子選手権、第１回大学男女選手権大会が開催され、１９７５年の第３０回三重国体から、少年男子も正式競技に追加されました。

国際大会としては、１９６５年に第１回世界女子選手権大会（オーストラリア）が開催され、日本は第３位に。１９６６年には、第１回世界男子選手権大会（メキシコ）が開催され、日本は６位になりました。１９７０年の第２回世界女子選手権大会は日本で開催され、日本チームは見事優勝、その後しばらくはアメリカの後塵を拝していたが、２０１２年の第１３回世界女子選手権大会（カナダ）、２０１４年の第１４回世界女子選手権大会（オランダ）で王座奪還、その後もアメリカとは紙一重の戦いを行い、一昨年２０２４年の第１７回 WBSC 女子ワールドカップ（改称）で再び王座を奪還しました。男子も２０００年に南アフリカで開催された第１０回世界男子選手権大会において、準優勝、また２０１９年の第１６回男子ワールドカップでも準優勝を果たしており、ジュニア世代でも数度世界一の座を獲得し、世界の強豪国として認識されています。

１９９６年アトランタオリンピックから女子ソフトボールが正式競技となり、２００８年北京オリンピックでは宿敵のアメリカを倒し、悲願の金メダルに輝きました。２０１２年ロンドンオリンピック以降は正式競技から除外されましたが、オリンピック正式競技復帰に向け、ＷＢＳＣ（世界野球ソフトボール連盟）を設立しました。その後、「野球・ソフトボール２０２０年復帰を！」をスローガンに取り組んだ結果、２０２０年東京オリンピックでは（開催都市が追加でき

る）正式競技として復活を果たしました。コロナ禍により２０２１年に延期し、無観客で開催された東京大会での決勝では、再度アメリカと対戦し、手に汗握る激闘を制した日本が金メダルを獲得してオリンピック二連覇を達成しています。２０２４年パリオリンピックでは実施種目から外れましたが、２０２８年ロサンゼルスオリンピックでは再び実施競技に選ばれており、オリンピック三連覇を目指しています。

２．オフィシャルソフトボールルール

（1） 競技場

① 本塁から外野フェンスまでの距離

成年女子が６７．０６m以上、成年男子が７６．２0m以上。少年女子が６０．９６m以上、少年男子が６８．５８m以上で実施しています。

② 投・捕間の距離(投手板から本塁までの距離)

男子が１４．０２m、女子が１３．１１m

投手板には半径２．４４mのピッチャーズークルがあり、平坦でマウンドはありません。

③ 塁間の距離

１８．２９m。一塁には危険防止のためダブルベースが使用されています。

（2） 用具

① バット

長さは８６．３６ｃm以内で、重さは１０８０ｇ以内、太い部分の直径は５．７２ｃm。グリップには安全のため、グリップエンドから２５．４ｃmから３８．１ｃmの範囲で滑り止めのテープを巻くことがルールで定められています。

材質は、木材・金属・プラスチック・グラファイト・カーボン・ガラス繊維・セラミック・チタン合金あるいは複合材料でつくられたもので、１２inch・１１inch・１号のバットがあります。１２inchバットは１２inch球で、１１inchバットは１１inch球で使用されます。１号バットは１１inch球で使用してもよいことになっています。

② ボール

ボールの大きさ（円周）は、１２inchで３０．４８ｃm。誤差範囲は±０．３２ｃmとされています。

ボールの重さは、１２inchの革ボールで１８７．８２ｇ。誤差範囲は±１０．６３ｇとされています。日本では、高校生以下は白色のゴムボールを使用しており、１２inchのゴムボールの重さは１９０ｇ±５ｇです。ゴムボールには１２inchと１１inch、１号があります。

③ グラブ・ミット

グラブは全ての選手が使用可能ですが、ミットは捕手と一塁手に限定されています。色は紐を含めて多色でもかまいませんが、投手のグラブのみボールとの同色は禁止されています。

④ 靴（シューズ)

靴はすべてのプレーヤーが使用しなければなりません。

⑤ マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット

捕手は、安全のためスロートガード付きマスク及び捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、レガースを着用しなければなりません。打者、打者走者、走者、次打者は、安全のため両耳当てのあるヘルメットを着用しなければなりません。なお、プレー進行中に意図的にヘルメットを脱ぐとアウトになります。

⑥ ダブルベース

ソフトボールは塁間が短いため（１８．２９ｍ）、一塁でのクロスプレーが多く、守備者と打者走者の衝突により大ケガをすることなどもありました。そのため、１９８７年のＩＳＦ（国際ソフトボール連盟）ルール委員会において、接触プレーによる事故防止を目的として、一塁に「セーフティーベース」の名称で、ダブルベースを置くルールがカナダから提案され、可決されました。

１９９４年の第８回世界女子ソフトボール選手権大会から使用され、１９９７年からＪＳＡ(公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールにも採用され、現在に至っています。このダブルベースは、３８．１ｃｍ×７６．２ｃｍの大きさで、白色の部分（白色ベース）をフェア地域に、オレンジ色の部分（オレンジベース）をファウル地域に固定します。

打者が内野ゴロを打って、一塁でプレーが行われるときは、打者走者は原則としてオレンジベースを走り抜け、守備者は白色ベースを使用します。このことで、一塁での打者走者と守備者の接触する危険を回避することができます。（一塁でプレイが行われないときは、打者走者はどちらのベースに触塁してもかまわない。）

（３） 投手の投球方法

打者に対して下手投げで、手と手首が体側線を通過しながら球を離さなければなりません。代表的な投球方法として次のようなものがあります。

・ウインドミルモーション

ウインドミルはもっともポピュラーな投げ方で、風車のように腕を大きく１回転させ、その遠心力を利用して投げるため、大きなスピードを得ることができます。腕の回転は１回に制限されています。

国際的なトップレベルの投手は女子が１０５～１１０ｋｍ/ｈ、男子が１１０～１３０ｋｍ/ｈを超えるスピードボールを投げ、野球に置き換えると１５０ｋｍ/ｈを超えるスピードを体感するといわれています。

・スリングショットモーション

スリングショットはソフトボールの原点とも言える投げ方であり、時計の振り子のように腕を後方に振り上げた後、前方に振り戻して投げる投法です。現在ではほとんど見られなくなりました。

（４） 走者の離塁制限

各走者は、ボールが投手の手を離れるまで塁を離れることはできません。もし塁を離れるとその走者にはアウトが宣告されます。

このため、投手の投球モーションを盗んで盗塁をすることはできず、投手が投げた後に盗塁することは、バッテリーにミスがない限りなかなか成功しません。ただし、野球と比べ、バントが多用されるため、一塁手と三塁手がベースより前に位置するような前進守備をすることが多く、三塁への盗塁を狙うケースが多く見受けられます。

（５） プレーヤーの交代等

① 選手交代

プレーヤーは１チーム９名か、指名選手（ＤＰ）制を採用した場合は１０名の編成となります。プレーヤーの人数がそのチームの編成人員を欠いた場合は没収試合となります。

② 打ち合わせ

監督またはコーチが、投手や打者、走者と打ち合わせを行うときは、「タイム」を要求してから行わなければなりません。この打ち合わせは、攻撃のときは１イニングに１回しか行うことができません。再度行うと監督は退場となります（ただし高校生以下の試合には適用されません）。守備のときには、１回から７回までの間に３回行うことができます。８回以降は１イニングに1回行うことができます。これに違反した場合は、投手が交代しなければなりません。また、交代した投手はこの試合で投げることはできません。

③ 再出場（リエントリー）

ソフトボールでは、１９７９年のＩＳＦ（国際ソフトボール連盟）ルール改正で、「リエントリー（再出場）」が採用され、スターティングプレーヤーはいったん試合から退いても、一度に限り再出場することが認められました。

再出場する場合には、自己の元の打順を引き継いだプレーヤーと交代しなければならず、それに違反し、相手チームからアピールがあると、「再出場違反」となり、違反した選手と監督が退場となります。

ＪＳＡ（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールには、１９８０年に採用され、現在に至っています。

④ ＤＰ（指名選手・ＤＥＳＩＧＮＡＴＥＤ ＰＬＡＹＥＲ）

１９７９年ＩＳＦ（国際ソフトボール連盟）ルールに、ＤＨ（ＤＥＳＩＧＮＡＴＥＤ ＨＩＴＴＥＲ／指名打者。打撃専門で守備につかないプレーヤーのこと。ＤＨにより、守備専門のプレーヤーとなったものは打撃を行うことはできず、また、ＤＨはスターティングプレーヤーであってもリエントリー（再出場）は認められていませんでした）が採用され、ＪＳＡ（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールにも１９８０年から採用されました。

その後、２００２年のＩＳＦルール改正で、ＤＨは、ＤＰ（ＤＥＳＩＧＮＡＴＥＤ ＰＬＡＹＥＲ／指名選手）に改められ、打撃専門だけではなく、守備につくこともできるようになりました。

ＤＰを採用する場合には、その人数は常時１名に限られ、試合開始から終了まで継続しなければなりません。また、ＤＰはどの守備者（ＤＰによる守備専門のプレーヤーは、ＦＰ（ＦＬＥＸ ＰＬＡＹＥＲ）という）につけてもかまいませんが、その試合中は同じ打順を継続し、ＤＰを採用した場合には１０人で試合を行うことになります。

ＤＰもＦＰも、いつでも他の控え選手と交代できる点では他のプレーヤーと何ら変わるところはなく、出血を伴う負傷の場合に代替プレーヤーを使うことができる点も何ら変わりはありません。また、ＤＰもＦＰもスターティングプレーヤーであれば、一度に限りリエントリーすることができ、「攻撃だけ」「守備だけ」に限定されることもありません。

ＤＰは、基本的には攻撃を重視して起用されるプレーヤーですが、ＦＰの守備を兼ねることも可能です。この場合には、ＤＰが打撃・守備ともに行うことになり、試合に出場しているプレーヤーは１０人から９人になります（ＤＰがＦＰの守備を兼ね、攻撃・守備共に行う場合には、ＦＰは一旦試合から退いたことになります）。

逆に、ＦＰがＤＰの打順に入って打撃を行うことも可能で（ＤＰが塁上にいる場合にＦＰがＤＰに代わって走者となることも可能）、この場合にはＦＰが打撃・守備ともに行うことになり、ＤＰがリエントリーしない限り、試合に出場しているプレーヤーは１０人から９人になります（ＦＰがＤＰの打撃を兼ね、攻撃・守備共に行う場合には、ＤＰは一旦試合から退いたことになります）。

ただし、ＤＰとＦＰが完全に入れ替わり、ＤＰが守備のみ、ＦＰが攻撃のみを行うことは認められないため、これに違反するとＤＰ違反（不正交代）となります。

さらにＤＰがＦＰ以外のプレーヤーの守備を兼ねた場合には、その守備者はＯＰＯ（ＯＦＦＥＮＳＩＶＥ　ＰＬＡＹＥＲ　ＯＮＬＹ／打撃専門選手）となり、打撃のみを行うことになります。

ＤＰルールを正しく理解し、活用することができれば、戦術的な選択肢が増えるだけでなく、少人数編成のチームでもその限られた人員をフルに活用することができるというメリットがあります。

（６）　ゲーム全般

攻守の決定は、コイントスにより行われます。ソフトボールの正式な試合は７イニングで行われ、日没、降雨その他で中止となった場合は、５イニング以上の均等回が完了していれば試合が成立となります。また、７回終了時同点の場合は、８回からタイブレークにより試合を継続します。「タイブレーク」は、ノーアウト走者２塁を設定して、攻撃を継続します。打者は前の回から引き継ぐものとし、二塁走者は前の回の最後に打撃を完了した者となります。裏の回も同様に行われ勝敗がつくまで行われます。

３．ゲームの見所

・ スピードボールと多彩な変化球を織り交ぜたピッチング

変化球は、カーブやシュート、ドロップ、打者付近で浮き上がるライズボール、そして緩急を活かしたチェンジアップなどがあります。男子はダイナミックなフォームから繰り出されるスピードボール、女子は磨き抜かれたコントロールと緩急自在のピッチングが見ものです。

・ 観察力と判断力がカギとなる〝駆け引き〟

短い投球距離でのスピードボールと鋭い変化球を打ち返すのには高度な技術を要します。打つ以外にもグラウンドの狭さを活かした「セーフティバント」や、走りながら打って内野安打を狙う「スラップ」などを駆使して、守備者との駆け引きをしていきます。守備者もバッターの動きを常に観察し、守備位置を調整することが必要です。バッターとバッテリーの駆け引きだけではなく、バッターと守備者との駆け引きにも注目すると違った面白みが出てくると思います。

・ 勝敗を左右する采配

ＤＰやＦＰ、リエントリーといったソフトボール独自のルールにより、戦術の幅はかなり広がります。どのタイミングで交代カードをきるのか、監督の采配にも注目です。

このように、使う用具や大まかなルールは野球に似ていますが、似て非なるソフトボールのスピード感と緻密さが面白さとなっています。

国民スポーツ大会ソフトボール競技会には、全国各ブロックを勝ち抜いた１３チームが出場します。日本のトップレベルの選手達が繰り広げる、スピード感と迫力のあるゲームをお楽しみください。

都道府県別参加数一覧表

		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	総計			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	総計
1	北海道	13	14	12	14	53	25	滋賀県		14			14
2	青森県	13	13	14	14	55	26	京都府	13				13
3	岩手県	13	14		14	41	27	大阪府	13	13	14		41
4	宮城県			14		14	28	兵庫県				14	14
5	秋田県				14	14	29	奈良県					0
6	山形県					0	30	和歌山県					0
7	福島県			14		14	31	鳥取県				14	14
8	茨城県					0	32	島根県					0
9	栃木県	13				13	33	岡山県	13	14			27
10	群馬県		14	14		28	34	広島県		14	14		28
11	埼玉県				14	14	35	山口県					0
12	千葉県	13				13	36	香川県					0
13	東京都				14	14	37	徳島県					0
14	神奈川県			14		14	38	愛媛県		14	14	14	42
15	山梨県					0	39	高知県	13				13
16	新潟県					0	40	福岡県		14		14	28
17	長野県		14			14	41	佐賀県	13	13			26
18	富山県				14	14	42	長崎県			14		14
19	石川県	13				13	43	熊本県	13		14		27
20	福井県			14		14	44	大分県					0
21	静岡県			14		14	45	宮崎県					0
22	愛知県	13	14		14	41	46	鹿児島県				14	14
23	三重県					0	47	沖縄県					0
24	岐阜県					0	合計		169	182	180	182	713

選 手 名 簿

成 年 男 子

八戸市



【成年男子】

チーム名	北　　海　　道

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	高 橋　　篤	タカハシ　アツシ	(株)酒井組
1	投 手	22	高 山　　徹	タカヤマ　トオル	丸鬼肥料工業(株)
2	捕 手	12	中 尾　善 尚	ナカオ　ヨシナオ	(株)奥村組
3	一塁手	24	鎌 田　将 平	カマタ　ショウヘイ	北海道旅客鉄道(株)苗穂工場
4	二塁手	2	深 澤　玲 也	フカサワ　リョウヤ	(株)北海道新聞社
5	三塁手	7	岡 田　将 弥	オカダ　マサヤ	ようてい農業協同組合
6	遊撃手	21	西 田　健 悟	ニシダ　ケンゴ	北海道大学大学院
7	左翼手	18	吉 川　大 智	ヨシカワ　タイチ	北海道大学大学院
8	中堅手	6	高 橋　海 渡	タカハシ　カイト	三井住友海上エイジェンシー・サービス(株)
9	右翼手	10	大 保　拓 真	ダイボ　タクマ	北海道旅客鉄道(株)苗穂工場
10	捕 手	3	尻 江　陽 登	シリエ　ハルト	(株)ニトリ
11	三塁手	13	井 原　　晃	イハラ　コウ	北海道大学
12	投 手	1	髙 橋　仁 志	タカハシ　ヒトシ	よつば乳業(株)

【成年男子】

チーム名	岩　　手　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	西 尾　光 明	ニシオ　ミツアキ	学校法人大釜学園大釜幼稚園保育園(職)
1	投 手	17	大日向　　巧	オオヒナタ　タクミ	花巻市立東和中学校(教)
2	捕 手	1	向 井　健太朗	ムカイ　ケンタロウ	一関市役所
3	一塁手	6	泉 澤　直 樹	イズミサワ　ナオキ	東日本旅客鉄道株式会社
4	二塁手	8	及 川　礎 良	オイカワ　ソラ	SWS東日本株式会社
5	三塁手	4	岩 木　宏 弥	イワキ　ヒロヤ	矢巾町立煙山小学校(教)
6	遊撃手	3	佐々木　麗 希	ササキ　レイキ	トヨタ自動車東日本株式会社
7	左翼手	11	道 源　康 太	ドウゲン　コウタ	北上市役所
8	中堅手	10	吉 田　　匠	ヨシダ　タクミ	公益財団法人岩手県予防医学協会
9	右翼手	7	鈴 木　比 呂	スズキ　ヒロ	全農東北エネルギー株式会社岩手支店
10	投 手	20	木 村　優 希	キムラ　ユウキ	NOK株式会社
11	捕 手	5	大 坂　優 介	オオサカ　ユウスケ	日本郵便株式会社胆沢郵便局
12	三塁手	9	櫻 田　亮 介	サクラダ　リョウスケ	一関市役所

【成年男子】

チーム名	栃　　木　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	浦 本　大 嗣	ウラモト　ダイシ	本田技研工業(株)
1	二塁手	2	葛 野　　奏	クズノ　カナタ	本田技研工業(株)
2	三塁手	5	高 浪　雄 大	タカナミ　ユウダイ	本田技研工業(株)
3	二塁手	6	笹 原　　允	ササハラ　アタル	本田技研工業(株)
4	遊撃手	7	桑 村　純 平	クワムラ　ジュンペイ	本田技研工業(株)
5	中堅手	8	福 田　空 脩	フクダ　アシュウ	本田技研工業(株)
6	左翼手	10	坂 田　大 士	サカタ　ヒロシ	本田技研工業(株)
7	投 手	11	池 田　空 生	イケダ　ヒロキ	本田技研工業(株)
8	捕 手	12	野 澤　空 汰	ノザワ　ソラタ	本田技研工業(株)
9	一塁手	15	遠 畑　光 希	トオハタ　コウキ	本田技研工業(株)
10	投 手	22	大 坪　優 也	オオツボ　ユウヤ	本田技研工業(株)
11	投 手	24	長 井　風 雅	ナガイ　フウガ	本田技研工業(株)
12	右翼手	27	藤 原　綜 俊	フジワラ　ソウシュン	本田技研工業(株)

【成年男子】

チーム名	千　　葉　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	鈴 木　耕士郎	スズキ　コウシロウ	四街道クラブ
1	右翼手	10	細 川　卓 翁	ホソカワ　タクオウ	四街道クラブ
2	投 手	1	中 島　　翼	ナカジマ　ツバサ	松戸Ksクラブ
3	一塁手	2	三 﨑　圭 剛	ミサキ　ケイゴ	四街道クラブ
4	遊撃手	3	安 藤　惇 氣	アンドウ　トシキ	東京理科大学
5	中堅手	5	飯 野　和 貴	イイノ　カズキ	松戸Ksクラブ
6	二塁手	7	林　　卓 磨	ハヤシ　タクマ	四街道クラブ
7	左翼手	15	小 路　光 成	コウジ　コウセイ	四街道クラブ
8	投 手	16	内 海　慈 音	ウツミ　ジオン	豊田自動織機
9	三塁手	19	小 野　賢志郎	オノ　ケンシロウ	四街道クラブ
10	捕 手	20	伊佐治　　豪	イサジ　ゴウ	四街道クラブ
11	投 手	24	西 村　太 良	ニシムラ　タイラ	中京学院大学
12	捕 手	25	菅 野　博 和	カンノ　ヒロカズ	丸善石油化学

【成年男子】

チーム名	石　　川　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	海 道　正 人	カイドウ　マサト	コマニー株式会社
1	三塁手	10	清 水　公 貴	シミズ　コウキ	コマニー株式会社
2	左翼手	15	橋 本　晏 地	ハシモト　アンジ	神戸学院大学
3	捕 手	19	押 兼　悠 馬	オシカネ　ユウマ	コマニー株式会社
4	二塁手	22	月 縄　仁 太	ツキナワ　ジンタ	中京大学
5	投 手	23	堀　　将 治	ホリ　マサハル	能美市立辰口中央小学校(教)
6	投 手	24	藤 原　智 徳	フジワラ　トモノリ	コマニー株式会社
7	右翼手	34	出 嶋　聖 治	デジマ　セイチ	コマニー株式会社
8	捕 手	43	裏　　拓 光	ウラ　タクミ	コマニー株式会社
9	遊撃手	50	小 山　竜 加	オヤマ　リュウガ	コマニー株式会社
10	一塁手	88	高 鍬　建 史	タカクワ　ケンシ	加賀市立片山津小学校(教)
11	一塁手	56	山 田　裕 紀	ヤマダ　ヒロキ	コマニー株式会社
12	中堅手	71	小 滝　海 斗	オダキ　カイト	コマニー株式会社

【成年男子】

チーム名	愛　　知　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	西　　一 也	ニシ　カズヤ	(株)デンソー
1	一塁手	10	杉 山　喜 規	スギヤマ　ヨシキ	トヨタ自動車(株)
2	中堅手	14	黒 岩　誠 亥	クロイワ　セイイ	トヨタ自動車(株)
3	三塁手	6	真 﨑　海 斗	マサキ　カイト	トヨタ自動車(株)
4	左翼手	1	佐 藤　光 希	サトウ　コウキ	トヨタ自動車(株)
5	捕 手	22	西 森　亜夕夢	ニシモリ　アユム	トヨタ自動車(株)
6	投 手	16	小野寺　翔 太	オノデラ　ショウタ	トヨタ自動車(株)
7	投 手	11	八 木　孔 輝	ヤギ　コウキ	トヨタ自動車(株)
8	二塁手	25	田 中　大 輔	タナカ　ダイスケ	(株)デンソー
9	右翼手	8	重 見　颯 真	シゲミ　ソウマ	(株)デンソー
10	二塁手	3	脇 長　　丈	ワキナガ　ジョウ	(株)豊田自動織機
11	左翼手	23	森 田　裕 介	モリタ　ユウスケ	(株)豊田自動織機
12	遊撃手	18	宮 本　海 斗	ミヤモト　カイト	(株)豊田自動織機

【成年男子】

チーム名	京　　都　　府

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	瀧 川　研 二	タキガワ　ケンジ	京都友愛クラブ
1	三塁手	10	太 田　貴 之	オオタ　タカユキ	京都サンファニークラブ
2	右翼手	3	鈴 木　潤	スズキ　ジュン	京都サンファニークラブ
3	左翼手	13	三 澄　優 陽	ミスミ　ユウヒ	京都サンファニークラブ
4	投 手	19	菅 村　直 也	スガムラ　ナオヤ	京都サンファニークラブ
5	捕 手	8	上 野　結 来	ウエノ　ユウキ	同志社大学
6	二塁手	11	茶 畑　佑 介	チャバタ　ユウスケ	京都サンファニークラブ
7	投 手	20	髙 橋　理 央	タカハシ　リオ	同志社大学
8	一塁手	21	藤 井　大 智	フジイ　ダイチ	同志社大学
9	三塁手	4	岩 見　公 汰	イワミ　コウタ	TWICE飛龍
10	二塁手	14	小 池　雄 大	コイケ　ユウダイ	TWICE飛龍
11	遊撃手	7	桝 山　一 貴	マスヤマ　イツキ	京都サンファニークラブ
12	中堅手	6	酒 井　蓮 央	サカイ　レオ	京都サンファニークラブ

【成年男子】

チーム名	大　　阪　　府

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	中 村　健 二	ナカムラ　ケンジ	株式会社幸新陸送
1	右翼手	3	松 本　三 汰	マツモト　サンタ	日本水処理工業株式会社
2	中堅手	7	松 本　峻	マツモト　リョウ	松竹タクシー株式会社
3	二塁手	9	岡　龍太郎	オカ　リュウタロウ	大阪市立矢田西小学校(教)
4	捕 手	10	山 内　貴 博	ヤマウチ　タカヒロ	株式会社葵商店
5	一塁手	13	小 原　孝 太	コハラ　コウタ	九條運送株式会社
6	投 手	17	岡 﨑　建 斗	オカザキ　ケント	株式会社One arrow
7	三塁手	24	高 草　昂 大	タカクサ　コウダイ	株式会社GRAND LOGISTICS
8	左翼手	42	南 村　海 斗	ミナミムラ　カイト	九條運送株式会社
9	遊撃手	8	古 賀　亮 祐	コガ　リョウスケ	日本体育大学
10	投 手	6	谷 本　聖 也	タニモト　セイヤ	株式会社大和商会
11	左翼手	20	橋 本　慎	ハシモト　シン	関西電力送配電株式会社
12	三塁手	16	細 川　慶 太	ホソカワ　ケイタ	豊建商事株式会社

【成年男子】

チーム名	岡　　山　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	平 本　拓 朗	ヒラモト　タクロウ	平林金属RINOBLAZE
1	二塁手	10	八 角　光太郎	ヤスミ　コウタロウ	平林金属RINOBLAZE
2	投 手	14	景 山　　蓮	カゲヤマ　レン	平林金属RINOBLAZE
3	投 手	17	小 山　玲 央	コヤマ　レオ	平林金属RINOBLAZE
4	投 手	15	阿 曽　慣 太	アソ　カンタ	平林金属RINOBLAZE
5	投 手	4	井 上　裕太郎	イノウエ　ユウタロウ	平林金属RINOBLAZE
6	捕 手	12	藤 井　雅 広	フジイ　マサヒロ	平林金属RINOBLAZE
7	一塁手	35	鳥 山　和 也	トリヤマ　カズヤ	平林金属RINOBLAZE
8	三塁手	7	黒 岩　陽 斗	クロイワ　ハルト	平林金属RINOBLAZE
9	遊撃手	6	赤 坂　優 真	アカサカ　ユウマ	平林金属RINOBLAZE
10	左翼手	34	和 田　彩 斗	ワダ　アヤト	平林金属RINOBLAZE
11	中堅手	42	浜 本　　悌	ハマモト　テイ	平林金属RINOBLAZE
12	右翼手	8	小 島　聖 矢	コジマ　セイヤ	平林金属RINOBLAZE

【成年男子】

チーム名	高　　知　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	立 石　壮 平	タテイシ　ソウヘイ	高知パシフィックウェーブ
1	中堅手	10	味 元　琉 維	ミモト　ルイ	高知パシフィックウェーブ
2	二塁手	1	高 石　尚 輝	タカイシ　ナオキ	高知パシフィックウェーブ
3	投 手	7	野 本　誠 士	ノモト　マサシ	高知パシフィックウェーブ
4	右翼手	12	髙 島　大 揮	タカシマ　ダイキ	高知パシフィックウェーブ
5	一塁手	14	櫻 井　　悠	サクライ　ユウ	高知パシフィックウェーブ
6	遊撃手	16	中 嶋　莉 久	ナカジマ　リク	高知パシフィックウェーブ
7	投 手	19	片 岡　大 空	カタオカ　ソラ	高知パシフィックウェーブ
8	左翼手	20	芝　　海 人	シバ　カイト	高知パシフィックウェーブ
9	三塁手	22	北 原　　匠	キタハラ　タクミ	高知パシフィックウェーブ
10	捕 手	24	片 岡　大 洋	カタオカ　タイヨウ	高知パシフィックウェーブ
11	一塁手	25	中 西　康 太	ナカニシ　コウタ	高知パシフィックウェーブ
12	投 手	2	近 森　大 起	チカモリ　ヒロキ	豊田自動織機

【成年男子】

チーム名	佐　賀　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	吉 田　和 史	ヨシダ　カズフミ	大和産業株式会社
1	右翼手	27	升 水　大 瑚	マスミズ　ダイゴ	大和産業株式会社
2	二塁手	22	佐 藤　翼	サトウ　ツバサ	大和産業株式会社
3	捕 手	14	佐 藤　時 夢	サトウ　トム	大和産業株式会社
4	投 手	77	尾 谷　鉄 平	オタニ　テッペイ	大和産業株式会社
5	遊撃手	10	森 川　凱 貴	モリカワ　ヨシキ	大和産業株式会社
6	三塁手	16	豊 村　友之介	トヨムラ　ユウノスケ	大和産業株式会社
7	投 手	19	青 木　琉 真	アオキ　リュウシン	佐賀県庁
8	左翼手	3	永 松　幸太郎	ナガマツ　コウタロウ	昭栄化学工業㈱鳥栖事業所
9	中堅手	8	江 頭　知 幸	エガシラ　トモユキ	佐賀市立諸富中学校（職）
10	一塁手	6	白 武　泰 士	シラタケ　タイシ	サンクスネットワーク九州㈱
11	左翼手	1	中 山　友 希	ナカヤマ　トモキ	JAさが
12	右翼手	11	松 尾　泰 成	マツオ　タイセイ	㈱ミゾタ

【成年男子】

チーム名	熊　本　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	芳 野　正 之	ヨシノ　マサユキ	有限会社 オーロラアシスト
1	投 手	17	吉 本　滉	ヨシモト　コウ	日本体育大学
2	捕 手	8	山 本　宙 杜	ヤマモト　ソラト	中央大学
3	一塁手	3	坂 田　浩 一	サカタ　コウイチ	三井化学株式会社大牟田工場
4	二塁手	7	立 川　聖 也	タチカワ　セイヤ	中央大学
5	三塁手	6	和 田　楓	ワダ　フウト	空研工業株式会社 冷熱熊本支店
6	遊撃手	1	池 崎　大 翔	イケザキ　ヒロト	福岡大学
7	左翼手	24	西 釜　輝	ニシガマ　テル	国立大学法人熊本大学（職）
8	中堅手	10	川 端　諒	カワバタ　リョウ	株式会社カンセツ熊本事業所
9	右翼手	11	山 地　雄 晨	ヤマチ　ユウシン	熊本県立天草工業高等学校（教）
10	一塁手	15	竇 田　優 斗	ホウダ　ユウト	株式会社シビコン
11	三塁手	20	溝 口　皓 也	ミゾグチ　ヒロヤ	熊本学園大学
12	投 手	14	中 村　海 斗	ナカムラ　カイト	福岡大学

【成年男子】

チーム名	青　　森　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	沢 目　貴 臣	サワメ　タカフミ	青森クラブ
1	投 手	17	佐々木　克	ササキ　スグル	青森クラブ
2	捕 手	2	佐々木　研 吾	ササキ　ケンゴ	青森クラブ
3	一塁手	5	中川原　裕 矢	ナカガワラ　ユウヤ	青森クラブ
4	一塁手	8	相 馬　大 地	ソウマ　タイチ	青森クラブ
5	右翼手	6	河 津　凌	カワツ　リョウ	青森クラブ
6	二塁手	10	新 田　潤 也	シンデン　ジュンヤ	青森クラブ
7	左翼手	9	田 中　和 樹	タナカ　カズキ	青森クラブ
8	三塁手	12	小山田　琉 玖	オヤマダ　リュウク	青森クラブ
9	遊撃手	15	工 藤　淳 矢	クドウ　ジュンヤ	青森クラブ
10	二塁手	16	種 市　大 輝	タネイチ　ダイキ	青森クラブ
11	中堅手	1	齋 藤　拓 哉	サイトウ　タクヤ	青森クラブ
12	投 手	4	青 柳　晴 帆	アオヤギ　セイハ	青森クラブ

選 手 名 簿

成 年 女 子

弘前市



【成年女子】

チーム名	北　　海　　道

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	中 西　章 司	ナカニシ　ショウジ	石狩市役所
1	投 手	19	小 泉　幸 代	コイズミ　サチヨ	北海道済生会小樽病院
2	投 手	18	中 村　七 海	ナカムラ　ナナミ	石狩市役所
3	投 手	87	澤 田　花 奈	サワダ　ハナ	(公財)石狩市スポーツ協会
4	捕 手	2	渋 谷　奈津美	シブヤ　ナツミ	石狩市立紅南小学校(教)
5	捕 手	22	佐 藤　誉	サトウ　ホマレ	(株)リューツー
6	一塁手	12	中 村　小 雪	ナカムラ　コユキ	恵庭市立恵み野中学校(教)
7	二塁手	4	永 井　愛 良	ナガイ　アイラ	(社医)三草会クラーク病院
8	三塁手	1	遠 藤　友 里	エンドウ　ユウリ	北海道科学大学
9	遊撃手	5	中 村　聖 良	ナカムラ　セイラ	北海道済生会小樽病院
10	遊撃手	3	千 田　杏 実	チダ　アミ	札幌市立鴻城小学校(教)
11	左翼手	10	平 川　美 里	ヒラカワ　ミサト	千歳市立祝梅小学校(教)
12	中堅手	8	齋 藤　実 葵	サイトウ　ミリ	北海道ハイテクノロジー専門学校
13	右翼手	11	鈴 木　結	スズキ　ユイ	札幌市立稲積小学校(教)

【成年女子】

チーム名	岩　　手　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	森　英 寿	モリ　ヒデトシ	富士大学(職)
1	左翼手	10	南 出　桜 良	ミナミデ　サクラ	富士大学
2	投 手	3	荒 木　玲 音	アラキ　レオ	富士大学
3	捕 手	12	吉 野　友梨香	ヨシノ　ユリカ	富士大学
4	一塁手	11	冨 手　陽 向	トミテ　ヒナタ	富士大学
5	二塁手	2	露久保　杏 奈	ツユクボ　アンナ	富士大学
6	三塁手	13	金 子　碧 瞳	カネコ　アミ	富士大学
7	遊撃手	9	渡 邉　も え	ワタナベ　モエ	富士大学
8	左翼手	8	畠 山　桃 嘉	ハタケヤマ　モモカ	富士大学
9	中堅手	1	渡 邉　楓	ワタナベ　カエデ	富士大学
10	右翼手	4	田 島　ななみ	タジマ　ナナミ	富士大学
11	投 手	7	鈴 木　菖	スズキ　アヤメ	富士大学
12	二塁手	6	千 葉　栞 愛	チバ　シエ	富士大学
13	右翼手	5	髙 岡　亜 弥	タカオカ　アヤ	富士大学

【成年女子】

チーム名	群　　馬　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	山 路　典 子	ヤマジ　ノリコ	太陽誘電(株)
1	中堅手	10	橋 本　芽 衣	ハシモト　メイ	太陽誘電(株)
2	左翼手	1	髙 橋　舞 里	タカハシ　マイリ	太陽誘電(株)
3	一塁手	2	井 出　久 美	イデ　クミ	(株)ビックカメラ
4	右翼手	3	横 山　木 葉	ヨコヤマ　コノハ	太陽誘電(株)
5	二塁手	6	小 松　優 月	コマツ　ユヅキ	太陽誘電(株)
6	一塁手	9	高　美 優	コウ　ミユウ	太陽誘電(株)
7	遊撃手	11	伊 波　蘭	イハ　ラン	(株)ビックカメラ
8	投 手	12	辻　奈 奈	ツジ　ナナ	太陽誘電(株)
9	投 手	13	曽 根　はん奈	ソネ　ハンナ	太陽誘電(株)
10	捕 手	18	炭 谷　遥 香	スミタニ　ハルカ	(株)ビックカメラ
11	三塁手	19	遠 藤　愛 実	エンドウ　マナミ	(株)ビックカメラ
12	投 手	20	勝 山　美 桜	カツヤマ　ミオ	太陽誘電(株)
13	捕 手	22	日比野　佑 香	ヒビノ　ユウカ	太陽誘電(株)

【成年女子】

チーム名	長　　野　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	杉 野　公 英	スギノ　キミヒデ	大和電機 Blue Lakers
1	遊撃手	10	堀 川　美瑠瑠	ホリカワ　ミルル	大和電機 Blue Lakers
2	投 手	2	斉 藤　未 来	サイトウ　ミク	大和電機 Blue Lakers
3	投 手	9	木 村　美 咲	キムラ　ミサキ	大和電機 Blue Lakers
4	投 手	1	向 山　琴 葉	ムカイヤマ　コトハ	太陽誘電ソルフィーユ
5	捕 手	7	宮 崎　遥 希	ミヤザキ　ハルキ	大和電機 Blue Lakers
6	一塁手	3	小 川　瑠 菜	オガワ　ルナ	大和電機 Blue Lakers
7	二塁手	6	新 海　雪 奈	シンカイ　ユキナ	大和電機 Blue Lakers
8	三塁手	13	矢 﨑　月 菜	ヤザキ　ルナ	大和電機 Blue Lakers
9	左翼手	14	木 村　聖	キムラ　タカラ	大和電機 Blue Lakers
10	左翼手	8	上 原　彩 瑛	ウエハラ　サエ	大和電機 Blue Lakers
11	中堅手	12	長 尾　明 奈	ナガオ　アキナ	大和電機 Blue Lakers
12	右翼手	11	原 野　柚 希	ハラノ　ユズキ	大和電機 Blue Lakers
13	右翼手	5	北 川　あ い	キタガワ　アイ	大和電機 Blue Lakers

【成年女子】

チーム名	愛　　知　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	坂 元　令 奈	サカモト　ハルナ	トヨタ自動車(株)
1	投 手	17	藤 本　捺 希	フジモト　ナツキ	(株)東海理化
2	投 手	18	成 瀬　結 衣	ナルセ　ユイ	トヨタ自動車(株)
3	捕 手	2	切 石　結 女	キリイシ　ユメ	トヨタ自動車(株)
4	捕 手	11	榊 原　深 那	サカキバラ　ミナ	(株)デンソー
5	一塁手	9	岡　　柚 月	オカ　ユヅキ	(株)豊田自動織機
6	一塁手	3	渡 辺　　雫	ワタナベ　シズク	中京大学
7	二塁手	8	久 野　日奈多	クノ　ヒナタ	(株)豊田自動織機
8	三塁手	5	大 平　あ い	オオヒラ　アイ	(株)豊田自動織機
9	遊撃手	10	石 川　恭 子	イシカワ　キョウコ	トヨタ自動車(株)
10	右翼手	13	千 葉　友里亜	チバ　ユリア	(株)東海理化
11	左翼手	21	山 田　柚 葵	ヤマダ　ユズキ	トヨタ自動車(株)
12	中堅手	16	伊 波　菜 々	イハ　ナナ	トヨタ自動車(株)
13	投 手	27	後 藤　希 友	ゴトウ　ミウ	戸田中央病院

【成年女子】

チーム名	滋　　賀　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	田 中　江理奈	タナカ　エリナ	日本精工ブレイブベアリーズ
1	遊撃手	10	矢 藤　輝羅菜	ヤトウ　キラナ	日本精工ブレイブベアリーズ
2	投 手	3	小 栗　巳緒乃	オグリ　シオノ	日本精工ブレイブベアリーズ
3	投 手	7	石 原　瑠 々	イシハラ　ルル	日本精工ブレイブベアリーズ
4	投 手	16	澤 田　　芽	サワダ　メイ	東海学園大学
5	捕 手	18	小 泉　向日葵	コイズミ　ヒマリ	日本精工ブレイブベアリーズ
6	捕 手	20	桒 原　伊 代	クワハラ　イヨ	日本精工ブレイブベアリーズ
7	二塁手	9	髙 﨑　愛 花	タカザキ　アイカ	日本精工ブレイブベアリーズ
8	三塁手	12	岡 崎　仁 美	オカザキ　ヒトミ	日本精工ブレイブベアリーズ
9	一塁手	14	谷 口　愛 理	タニグチ　アイリ	日本精工ブレイブベアリーズ
10	右翼手	2	橋 本　花 音	ハシモト　カノン	日本精工ブレイブベアリーズ
11	中堅手	4	幸 内　保乃香	コウナイ　ホノカ	日本精工ブレイブベアリーズ
12	左翼手	11	伊 藤　美 紅	イトウ　ミク	日本精工ブレイブベアリーズ
13	右翼手	15	大 山　乃々葉	オオヤマ　ノノハ	日本精工ブレイブベアリーズ

【成年女子】

チーム名	大　　阪　　府

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	山 添　依津子	ヤマゾエ　イツコ	大阪トエニーフォー
1	一塁手	10	住 友　ゆづき	スミトモ　ユヅキ	デンソーブライトペガサス
2	遊撃手	6	清 瀬　紗良羅	キヨセ　サララ	デンソーブライトペガサス
3	二塁手	9	猿 田　麻 実	サルタ　アサミ	デンソーブライトペガサス
4	投 手	15	小 泉　杏 奈	コイズミ　アンナ	デンソーブライトペガサス
5	遊撃手	5	池 川　綾 香	イケガワ　アヤカ	豊田自動織機シャイニングベガ
6	二塁手	3	髙 橋　　杏	タカハシ　アン	SHIONOGIレインボーストークス
7	遊撃手	7	西 出　蓮 実	ニシデ　レミ	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
8	中堅手	4	土 肥　美 結	ドヒ　ミユウ	大阪国際大学
9	一塁手	14	松 本　凪 沙	マツモト　ナギサ	大阪国際大学
10	二塁手	16	辻 川　紗 羽	ツジカワ　サワ	羽衣国際大学
11	左翼手	1	山 口　みどり	ヤマグチ　ミドリ	枚方信用金庫
12	捕 手	2	清 原　奈 侑	キヨハラ　ナユ	株式会社阪神タイガース
13					

【成年女子】

チーム名	岡　　山　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	田 畑　このみ	タバタ　コノミ	平林金属 Peachblossoms
1	遊撃手	10	森　　香央理	モリ　カオリ	平林金属 Peachblossoms
2	投 手	11	行 武　唯 華	ユクタケ　ユイカ	平林金属 Peachblossoms
3	投 手	23	東 本　結 月	ヒガシモト　ユヅキ	平林金属 Peachblossoms
4	捕 手	3	野 村　映 実	ノムラ　エミ	平林金属 Peachblossoms
5	一塁手	16	橋 本　　楓	ハシモト　カエデ	平林金属 Peachblossoms
6	三塁手	22	大 倉　佳 乃	オオクラ　ヨシノ	平林金属 Peachblossoms
7	右翼手	2	雨 宮　芙由子	アメミヤ　フユコ	平林金属 Peachblossoms
8	左翼手	6	桑 原　瑠 加	クワハラ　ルカ	平林金属 Peachblossoms
9	右翼手	8	本 山　水 月	モトヤマ　ミズキ	平林金属 Peachblossoms
10	中堅手	17	今 田　弥 里	イマダ　ミリ	平林金属 Peachblossoms
11	右翼手	27	岡 田　　望	オカダ　ノゾミ	平林金属 Peachblossoms
12	二塁手	5	原　　陽 羅	ハラ　アキラ	平林金属 Peachblossoms
13	左翼手	7	三 田　南 菜	ミタ　ナナ	平林金属 Peachblossoms

【成年女子】

チーム名	広　　島　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	古 川　竜 也	フルカワ　タツヤ	小泉病院
1	投 手	18	中 嶋　雪 乃	ナカジマ　ユキノ	小泉病院
2	捕 手	22	泉 野　美 音	イズミノ　ミオ	小泉病院
3	一塁手	15	大 下　弓 月	オオシタ　ミヅキ	小泉病院
4	二塁手	12	池 田　悠 華	イケダ　ユウカ	(株)東海理化
5	三塁手	20	守 時　瑞 希	モリトキ　ミズキ	小泉病院
6	遊撃手	19	相 田　くるみ	アイダ　クルミ	小泉病院
7	左翼手	13	橋 本　奈津紀	ハシモト　ナツキ	小泉病院
8	中堅手	10	上 田　爽 樺	ウエダ　ソヨカ	小泉病院
9	右翼手	23	内 山　千彩貴	ウチヤマ　チサキ	小泉病院
10	左翼手	14	高 橋　咲 良	タカハシ　サクラ	小泉病院
11	一塁手	16	山 下　美 桜	ヤマシタ　ミオ	小泉病院
12	投 手	17	田 中　怜 奈	タナカ　レイナ	小泉病院
13	投 手	21	髙 橋　くるみ	タカハシ　クルミ	小泉病院

【成年女子】

チーム名	愛　　媛　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	石 村　寛	イシムラ　ヒロシ	(株)伊予銀行
1	投 手	9	庄 司　奈 々	ショウジ　ナナ	(株)伊予銀行
2	遊撃手	10	辻 井　美 波	ツジイ　ミナミ	(株)伊予銀行
3	右翼手	7	本 間　紀 帆	ホンマ　キホ	(株)伊予銀行
4	一塁手	5	吉 金　亜希子	ヨシカネ　アキコ	(株)伊予銀行
5	中堅手	1	齋 藤　明日加	サイトウ　アスカ	(株)伊予銀行
6	二塁手	13	瀧 川　愛 海	タキカワ　アミ	(株)伊予銀行
7	左翼手	15	庄 村　瑠 衣	ショウムラ　ルイ	(株)伊予銀行
8	三塁手	28	竹 光　久莉寿	タケミツ　クリス	(株)伊予銀行
9	右翼手	8	岩 永　優衣里	イワナガ　ユイリ	(株)伊予銀行
10	投 手	27	二ノ宮　沙 姫	ニノミヤ　サキ	(株)伊予銀行
11	投 手	22	曽我部　由 楽	ソガベ　ユラ	(株)伊予銀行
12	一塁手	25	椿 山　りりな	ユスヤマ　リリナ	(株)伊予銀行
13	捕 手	18	山 中　歩 夢	ヤマナカ　アユメ	(株)伊予銀行

【成年女子】

チーム名	福　　岡　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	廣 瀬　　芽	ヒロセ　　メグ	(株)タカギ
1	左翼手	1	岡 嵜　　晴	オカザキ　　ハル	(株)タカギ
2	一塁手	5	大須賀　穂 香	オオスガ　　ホノカ	(株)タカギ
3	投 手	6	伊 藤　瑠 莉	イトウ　　ルリ	(株)タカギ
4	二塁手	8	工 藤　真 依	クドウ　　マイ	(株)タカギ
5	投 手	10	鹿 野　愛 音	シカノ　　アヤネ	(株)タカギ
6	三塁手	15	土 井　彩 香	ドイ　　アヤカ	(株)タカギ
7	三塁手	16	竹 内　仁 美	タケウチ　　ヒトミ	(株)タカギ
8	投 手	18	上 村　紗 輝	ウエムラ　　サキ	(株)タカギ
9	遊撃手	23	加 藤　詩 音	カトウ　　シオン	(株)タカギ
10	捕 手	24	長 江　乃 愛	ナガエ　　ノア	(株)タカギ
11	中堅手	25	宮 本　夢 生	ミヤモト　　イブキ	(株)タカギ
12	捕 手	27	橋 崎　芽依奈	ハシザキ　　メイナ	(株)タカギ
13	右翼手	29	柏 坂　志 帆	カシザキ　　シホ	(株)タカギ

【成年女子】

チーム名	佐　　賀　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	谷 田　靖 彦	タニダ　　ヤスヒコ	佐賀県立唐津商業高校(教)
1	一塁手	14	楢 嵜　怜 奈	ナラサキ　　レイナ	基山整骨院
2	三塁手	12	分 藤　柚 葉	ブンドウ　　ユズハ	株式会社 biima
3	二塁手	3	菱 谷　香 実	ヒシタニ　　コウミ	本田技研株式会社
4	遊撃手	10	中 溝　優 生	ナカミゾ　　ユイ	デンソー
5	捕 手	5	椎 場　希 来	シイバ　　キラ	中京大学
6	左翼手	6	中 村　真 綾	ナカムラ　　マアヤ	早稲田大学
7	左翼手	2	中 尾　彩 月	ナカオ　　サツキ	九州共立大学
8	投 手	13	今 村　みなみ	イマムラ　　ミナミ	(株)タカギ
9	中堅手	1	於 保　伊 吹	オホ　　イブキ	日本精工株式会社
10	二塁手	11	木 原　心 愛	キハラ　　アイア	中京大学
11	右翼手	9	江 濱　　杏	エハマ　　アン	同志社大学
12	左翼手	4	丹 生　早 耶	ニウ　　サヤ	中京大学
13					

【成年女子】

チーム名	青　　森　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	溝 江　香 澄	ミゾエ　カスミ	戸田中央メディックス埼玉
1	二塁手	10	須 藤　志 歩	ストウ　シホ	豊田自動織機
2	投 手	1	金 子　歩	カネコ　アユム	株式会社ASAKA
3	捕 手	2	村 岡　蘭	ムラオカ　ラン	富士大学
4	遊撃手	4	後 藤　実 来	ゴトウ　ミク	トヨタレッドテリアーズ
5	一塁手	5	奈良岡　里 穂	ナラオカ　リホ	豊田自動織機
6	中堅手	6	唐 牛　彩 名	カロウジ　アヤナ	日立サンディーバ
7	左翼手	7	今 井　愛	イマイ　マナミ	環太平洋大学
8	投 手	8	小 林　彩 絵	コバヤシ　サエ	青森県競技力向上対策本部
9	捕 手	9	須 藤　愛 心	ストウ　エミ	東北福祉大学
10	三塁手	11	内 山　古 都	ウチヤマ　コト	金沢学院大学
11	左翼手	12	福 士　陽 菜	フクシ　ヒナ	富士大学
12	右翼手	13	白 取　しゅう	シラトリ　シュウ	富士大学
13	二塁手	30	溝 江　香 澄	ミゾエ　カスミ	戸田中央メディックス埼玉

選 手 名 簿

少 年 男 子

東北町



【少年男子】

チーム名	北　　海　　道

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	鈴 木　翼	スズキ　ツバサ	札幌北斗高等学校(教)
1	一塁手	56	平 川　翔 太	ヒラカワ　ショウタ	北海道石狩南高等学校
2	二塁手	5	八木澤　夏 希	ヤギサワ　ナツキ	札幌北斗高等学校
3	捕 手	1	關　陽 仁	セキ　ハルト	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
4	遊撃手	7	吉 田　翔	ヨシダ　ショウ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
5	左翼手	15	乙 井　琉 真	オツイ　ルマ	北海道岩見沢農業高等学校
6	中堅手	3	西 川　琉 星	ニシカワ　リュウセイ	北海道岩見沢農業高等学校
7	右翼手	43	前 田　剛 琉	マエダ　タケル	北海道岩見沢農業高等学校
8	左翼手	8	田 中　康 誠	タナカ　コウセイ	北海道岩見沢農業高等学校
9	右翼手	9	矢 野　響 己	ヤノ　ヒビキ	北海道札幌月寒高等学校
10	投 手	10	吉 田　淳之輔	ヨシダ　ジュンノスケ	札幌北斗高等学校
11	三塁手	78	吉 尾　滉士郎	ヨシオ　コウシロウ	北海道石狩南高等学校
12					
13					

【少年男子】

チーム名	宮　　城　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	小 林　英一郎	コバヤシ　エイイチロウ	白石工業高等学校(教)
1	投 手	12	阿 部　慈 大	アベ　ナリマサ	白石工業高等学校
2	捕 手	10	近 江　心	オオミ　シン	白石工業高等学校
3	一塁手	2	佐 藤　真 大	サトウ　マヒロ	古川高等学校
4	二塁手	4	千 葉　大 慈	チバ　タイジ	古川高等学校
5	三塁手	5	末 永　翔 大	スエナガ　ショウタ	古川高等学校
6	遊撃手	7	加 藤　暁 翔	カトウ　アキト	古川高等学校
7	左翼手	11	松 浦　拓 真	マツウラ　タクマ	古川高等学校
8	中堅手	8	松 浦　優 斗	マツウラ　ユウト	白石工業高等学校
9	右翼手	9	松 崎　有 昊	マツザキ　アクウ	白石工業高等学校
10	捕 手	3	畠 山　煌 成	ハタケヤマ　オウセイ	古川高等学校
11	三塁手	6	山 家　李 夢	ヤンベ　リム	白石工業高等学校
12	遊撃手	14	大 野　海 翔	オオノ　カイト	白石工業高等学校
13	投 手	15	菅 野　陸 斗	カンノ　リクト	古川高等学校

【少年男子】

チーム名	福　　島　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	大 森　史 仁	オオモリ　フミヒト	福島県立郡山北工業高等学校(教)
1	投 手	18	鈴 木　大	スズキ　ダイ	福島県立郡山北工業高等学校
2	捕 手	10	三 浦　虎 徹	ミウラ　コテツ	福島県立郡山北工業高等学校
3	中堅手	8	近 藤　瑞 稀	コンドウ　ミズキ	福島県立郡山北工業高等学校
4	二塁手	6	本 田　瀬 人	ホンダ　ライト	福島県立郡山北工業高等学校
5	二塁手	99	髙 橋　翼 太	タカハシ　エイタ	福島県立郡山北工業高等学校
6	遊撃手	13	鈴 木　佑 弥	スズキ　ユウヤ	福島県立郡山北工業高等学校
7	一塁手	3	鈴 木　優 人	スズキ　ユウト	福島県立郡山北工業高等学校
8	右翼手	4	渡 邉　蓮 斗	ワタナベ　レント	福島県立郡山北工業高等学校
9	三塁手	5	山 中　悠 雅	ヤマナカ　ユウガ	福島県立郡山北工業高等学校
10	左翼手	9	加 藤　早 馬	カトウ　ソウマ	福島県立郡山北工業高等学校
11	捕 手	1	須 田　絢 士	スダ　シュント	福島県立郡山北工業高等学校
12	投 手	7	小 林　優 斗	コバヤシ　ユウト	福島県立郡山北工業高等学校
13	三塁手	2	清 野　琉 晴	キヨノ　リュウセイ	福島県立須賀川創英館高等学校

【少年男子】

チーム名	群　　馬　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	田 中　徹 浩	タナカ　ユキヒロ	新島学園高等学校(教)
1	投 手	18	高 橋　悠 斗	タカハシ　ユウト	新島学園高等学校
2	捕 手	5	神 保　蒼 司	ジンボ　ソウシ	新島学園高等学校
3	一塁手	2	杉 原　亘	スギハラ　ワタル	新島学園高等学校
4	二塁手	16	間 野　登 羽	マノ　トワ	新島学園高等学校
5	三塁手	8	中 谷　太 一	ナカタニ　タイチ	新島学園高等学校
6	遊撃手	6	高 橋　尚 希	タカハシ　ナオキ	新島学園高等学校
7	左翼手	1	堀 越　大 輝	ホリコシ　ダイキ	新島学園高等学校
8	中堅手	10	近 藤　諒 太	コンドウ　リョウタ	新島学園高等学校
9	右翼手	4	岡 田　光	オカダ　ヒカル	新島学園高等学校
10	投 手	20	橋 爪　柊 磨	ハシヅメ　シュウマ	新島学園高等学校
11	投 手	11	近 藤　壮太朗	コンドウ　ソウタロウ	新島学園高等学校
12	二塁手	21	宮 永　皓 晟	ミヤナガ　シンセイ	新島学園高等学校
13	捕 手	17	元 木　響	モトキ　ヒビキ	新島学園高等学校

【少年男子】

チーム名	神　奈　川　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	中 嶋　正	ナカジマ　タダシ	光明学園相模原高等学校(教)
1	投 手	11	齊 藤　雄 貴	サイトウ　ユウキ	光明学園相模原高等学校
2	捕 手	22	野 澤　耀 太	ノザワ　ヨウタ	光明学園相模原高等学校
3	一塁手	12	原　徹 平	ハラ　テッペイ	光明学園相模原高等学校
4	二塁手	6	譲 原　慧	ユズリハラ　ケイ	光明学園相模原高等学校
5	三塁手	16	武 藤　賢 汰	ムトウ　ケンタ	光明学園相模原高等学校
6	遊撃手	2	鈴 木　啓 輔	スズキ　ケイスケ	光明学園相模原高等学校
7	左翼手	7	井 上　櫂	イノウエ　カイ	横須賀学院高等学校
8	中堅手	10	八重樫　聡 太	ヤエガシ　ソウタ	光明学園相模原高等学校
9	左翼手	17	大 原　己 知	オオハラ　ミチ	光明学園相模原高等学校
10	投 手	19	加 藤　佑 馬	カトウ　ユウマ	光明学園相模原高等学校
11	一塁手	44	堂 畑　瑛 太	ドウバタ　エイタ	横須賀学院高等学校
12	遊撃手	18	若 林　誠	ワカバヤシ　マコト	光明学園相模原高等学校
13	右翼手	55	宮 下　彪	ミヤシタ　タケル	光明学園相模原高等学校

【少年男子】

チーム名	福　井　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	山 崎　均	ヤマザキ　ヒトシ	啓新高等学校(教)
1	二塁手	10	尾 崎　鳴 斗	オザキ　ナルト	啓新高等学校
2	中堅手	9	町 谷　凌 平	マチヤ　リョウヘイ	啓新高等学校
3	捕 手	21	阿比留　陽 斗	アビル　アキト	啓新高等学校
4	遊撃手	8	吉 村　嵐 汰	ヨシムラ　アラタ	啓新高等学校
5	投 手	18	露 木　徳太郎	ツユキ　トクタロウ	啓新高等学校
6	三塁手	1	西 岡　偉 琉	ニシオカ　エイル	啓新高等学校
7	遊撃手	3	檜 木　蓮	ヒノキ　レン	啓新高等学校
8	二塁手	5	坂 下　塁 飛	サカシタ　ルイト	啓新高等学校
9	投 手	15	阿比留　陽 矢	アビル　タカヤ	啓新高等学校
10	右翼手	17	家 田　翔 太	イエダ　ショウタ	啓新高等学校
11	捕 手	19	猿 橋　賢 人	サルハシ　ケント	啓新高等学校
12	左翼手	24	津 田　峻 弥	ツダ　シュンヤ	啓新高等学校
13	一塁手	25	砂 坂　泰 進	スナサカ　タイシン	啓新高等学校

【少年男子】

チーム名	静　　岡　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	杉 山　貴 久	スギヤマ　タカヒサ	飛龍高等学校(教)
1	投 手	15	大 野　楓 芽	オオノ　フウガ	飛龍高等学校
2	投 手	1	神 田　悠 生	カンダ　ユウキ	飛龍高等学校
3	三塁手	5	引 地　楓 騎	ヒキチ　フウキ	飛龍高等学校
4	中堅手	8	小 澤　翔 星	オザワ　ショウセイ	飛龍高等学校
5	二塁手	4	能 勢　大 輝	ノセ　ダイキ	飛龍高等学校
6	遊撃手	2	清 水　鼓太郎	シミズ　コタロウ	飛龍高等学校
7	左翼手	10	鯨 井　彩 央	クジライ　アサヒ	飛龍高等学校
8	右翼手	9	土 屋　秀 太	ツチヤ　シュウタ	飛龍高等学校
9	一塁手	11	大 城　玲 士	オオシロ　レイト	飛龍高等学校
10	右翼手	3	大 野　華那斗	オオノ　カナト	飛龍高等学校
11	捕 手	12	林 田　結 星	ハヤシダ　ユウセイ	飛龍高等学校
12	遊撃手	6	濵 田　奏太朗	ハマダ　ソウタロウ	飛龍高等学校
13	三塁手	14	濱 島　海 司	ハマシマ　カイジ	飛龍高等学校

【少年男子】

チーム名	大　　阪　　府

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	鈴 木　隆 弘	スズキ　タカヒロ	興國高等学校(教)
1	一塁手	10	鈴 木　應 介	スズキ　オウスケ	興國高等学校
2	一塁手	46	稲 岡　蒼 汰	イナオカ　ソウタ	興國高等学校
3	捕 手	9	山 田　優 一	ヤマダ　ユウイチ	興國高等学校
4	遊撃手	66	佐 藤　市之信	サトウ　イチノシン	興國高等学校
5	右翼手	67	浅 田　蒼 太	アサダ　ソウタ	興國高等学校
6	中堅手	8	栗 山　蓮	クリヤマ　レン	興國高等学校
7	投 手	98	牛 尾　龍 生	ウシオ　リュウキ	興國高等学校
8	三塁手	1	安 里　大韻我	アサト　タイガ	興國高等学校
9	投 手	13	隅 田　昌 悟	スミダ　ショウゴ	上宮高等学校
10	三塁手	51	村 上　佳 優	ムラカミ　ヨシマサ	上宮高等学校
11	右翼手	55	上 浪　楓 汰	ウエナミ　フウタ	大阪産業大学附属高等学校
12	投 手	14	釘 宮　大 河	クギミヤ　タイガ	清風南海高等学校
13	遊撃手	5	朝 田　翔 揮	アサダ　ショウキ	利晶学園大阪立命館高等学校

【少年男子】

チーム名	広　　島　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	日 野　隼 一	ヒノ　シュンイチ	広島県立御調高等学校(教)
1	投 手	11	前 友　春 輝	マエトモ　ハルキ	広島県立御調高等学校
2	捕 手	12	佐 伯　泰 知	サエキ　タイチ	広島県立御調高等学校
3	一塁手	22	小 田　凌 輔	オダ　リョウスケ	広島県立御調高等学校
4	二塁手	23	安 藤　圭 司	アンドウ　ケイジ	広島県立御調高等学校
5	三塁手	24	仁 井　祐 斗	ニイ　ユウト	広島県立御調高等学校
6	遊撃手	10	藤 本　優 希	フジモト　ユウキ	広島県立御調高等学校
7	左翼手	21	川 口　航 輝	カワグチ　コウキ	広島県立御調高等学校
8	中堅手	16	下 野　海 人	シモノ　カイト	広島県立御調高等学校
9	右翼手	13	山 岡　京 介	ヤマオカ　キョウスケ	広島県立御調高等学校
10	一塁手	14	脇 本　陽 向	ワキモト　ヒナタ	広島県立御調高等学校
11	捕 手	17	島 谷　慧 祇	シマタニ　サトキ	広島県立御調高等学校
12	投 手	18	福 田　一 馬	フクダ　カズマ	広島県立御調高等学校
13	中堅手	25	森 川　晄 成	モリカワ　コウセイ	広島県立御調高等学校

【少年男子】

チーム名	愛　　媛　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	遠 藤　大 輔	エンドウ　ダイスケ	愛媛県立東温高等学校(教)
1	一塁手	10	川 口　彪 雅	カワグチ　ヒュウガ	愛媛県立東温高等学校
2	中堅手	14	白 石　一 颯	シライシ　イブキ	愛媛県立東温高等学校
3	二塁手	9	井 門　賢之介	イド　ケンノスケ	愛媛県立東温高等学校
4	三塁手	8	本 田　琉 晟	ホンダ　リュウセイ	愛媛県立松山工業高等学校
5	二塁手	7	原 田　桂 汰	ハラダ　ケイタ	愛媛県立松山工業高等学校
6	捕 手	1	石 川　敦 士	イシカワ　アツト	愛媛県立松山工業高等学校
7	投 手	18	矢 野　結 也	ヤノ　ユウヤ	愛媛県立松山工業高等学校
8	投 手	17	髙 木　凱 司	タカギ　カイシ	愛媛県立東温高等学校
9	捕 手	19	大 野　來 飛	オオノ　ライト	愛媛県立東温高等学校
10	投 手	16	辻 川　凌 功	ツジカワ　リク	愛媛県立東温高等学校
11	遊撃手	3	船 本　烈 凰	フナモト　レオ	愛媛県立東温高等学校
12	投 手	5	島 田　理 生	シマダ　リオ	愛媛県立東温高等学校
13	右翼手	6	大 西　将 太	オオニシ　ショウタ	愛媛県立松山工業高等学校

【少年男子】

チーム名	長　　崎　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	納 冨　　剛	ノウトミ　ツヨシ	長崎県立大村工業高等学校(教)
1	二塁手	10	持 原　　力	モチハラ　リキ	長崎県立大村工業高等学校
2	遊撃手	1	中 尾　拓 夢	ナカオ　タクム	長崎県立大村工業高等学校
3	三塁手	2	堀 川　煌士郎	ホリカワ　コウシロウ	長崎県立大村工業高等学校
4	一塁手	3	大 島　拓 海	オオシマ　タクミ	長崎県立大村工業高等学校
5	三塁手	5	宮 本　瑛 斗	ミヤモト　エイト	長崎県立島原工業高等学校
6	左翼手	6	酒 井　孝 規	サカイ　コウキ	長崎県立島原工業高等学校
7	捕 手	8	村 上　有 翔	ムラカミ　アリト	長崎県立大村工業高等学校
8	投 手	11	濱 野　恵 成	ハマノ　ケイセイ	長崎県立大村工業高等学校
9	投 手	13	浜 田　竜 成	ハマダ　リュウセイ	長崎県立大村工業高等学校
10	二塁手	17	松 尾　颯 太	マツオ　ソウタ	長崎県立佐世保西高等学校
11	投 手	20	酒 井　蒔 苑	サカイ　シオン	長崎県立島原工業高等学校
12	捕 手	21	浦 田　陽 樹	ウラタ　ハルキ	長崎県立島原工業高等学校
13	中堅手	24	村 中　大 翔	ムラナカ　ヒロト	長崎県立大村工業高等学校

【少年男子】

チーム名	熊　　本　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	川 田　洋 祐	カワタ　ヨウスケ	熊本県立熊本工業高等学校(教)
1	投 手	1	馬 場　麟 弥	ババ　リンヤ	文徳高等学校
2	捕 手	2	倉 田　悠 羽	クラタ　ユウ	文徳高等学校
3	一塁手	3	山 本　宗 塁	ヤマモト　ソウル	熊本県立熊本工業高等学校
4	二塁手	4	岩 野　比 呂	イワノ　ヒロ	熊本県立熊本工業高等学校
5	三塁手	5	川 本　昂 生	カワモト　コウセイ	熊本県立天草高等学校
6	遊撃手	6	岡 田　楓 斗	オカダ　フウト	文徳高等学校
7	中堅手	7	山 下　凌 介	ヤマシタ　リョウスケ	熊本県立熊本工業高等学校
8	右翼手	9	天 川　達 陽	アマカワ　タツハル	熊本県立熊本工業高等学校
9	左翼手	10	前 田　公之介	マエダ　コウノスケ	熊本県立熊本工業高等学校
10	投 手	11	徳 永　大 河	トクナガ　タイガ	熊本県立熊本工業高等学校
11	捕 手	12	小 手　晴 道	コテ　ハルミチ	熊本県立熊本工業高等学校
12	遊撃手	13	荒 木　心 汰	アラキ　シンタ	熊本県立熊本工業高等学校
13	投 手	17	宮 原　真紗虎	ミヤハラ　マサトラ	熊本県立熊本工業高等学校

【少年男子】

チーム名	青　　森　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	中 田　　楓	ナカタ　　カエデ	学校法人舘田学園　五所川原第一高等学校通信制課程(教)
1	投 手	1	武 田　藏乃介	タケダ　クラノスケ	青森ジュニア/青森県立田名部高等学校
2	捕 手	2	赤 坂　翔 輝	アカサカ　ショウキ	青森ジュニア/八戸聖ウルスラ学院高等学校
3	一塁手	3	加 藤　史 埜	カトウ　　フミヤ	青森ジュニア/五所川原第一高等学校
4	二塁手	4	松 橋　空 汰	マツハシ　ソラタ	青森ジュニア／五所川原第一高等学校
5	三塁手	5	水 木　悠 空	ミズキ　　ユウア	青森ジュニア/五所川原第一高等学校
6	遊撃手	10	永 田　琉 真	ナガタ　リュウシン	青森ジュニア／青森県立五所川原工科高等学校
7	左翼手	7	桑 田　翔 真	クワタ　　ショウマ	青森ジュニア/五所川原第一高等学校
8	中堅手	8	乳 井　孜 穏	ニュウイ　シオン	青森ジュニア／青森県立五所川原工科高等学校
9	右翼手	9	北 村　晃 大	キタムラ　コウダイ	青森ジュニア/青森県立八戸高等学校
10	一塁手	6	髙 橋　蒼 空	タカハシ　ソウア	青森ジュニア／五所川原第一高等学校
11	中堅手	11	須 藤　悠 斗	ストウ　　ユウト	青森ジュニア/柴田学園大学附属柴田学園高等学校
12	右翼手	12	小笠原　珠 里	オガサワラ　シュリ	青森ジュニア/柴田学園大学附属柴田学園高等学校
13	左翼手	13	高 木　琉 空	タカギ　　リク	青森ジュニア/柴田学園大学附属柴田学園高等学校

選 手 名 簿

少 年 女 子

三沢市



【少年女子】

チーム名	北　　海　　道

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	永 木　絵美理	ナガキ　エミリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校(教)
1	捕 手	2	松 田　那 月	マツダ　ナツキ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
2	一塁手	16	角 谷　観 理	カドヤ　ミノリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
3	一塁手	18	湯 淺　楓 夏	ユアサ　フウカ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
4	投 手	1	中 川　佑月妃	ナカガワ　ユズキ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
5	捕 手	22	飯 田　茉莉花	イイダ　マリカ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
6	三塁手	10	中 田　彩 椰	ナカタ　アヤ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
7	遊撃手	6	遠 藤　愛 里	エンドウ　アイリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
8	左翼手	5	鈴 木　紅 亜	スズキ　クレア	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
9	中堅手	8	山 下　智 聖	ヤマシタ　チサト	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
10	右翼手	3	佐々木　花 枝	ササキ　ハナエ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
11	投 手	21	佐々木　花 歩	ササキ　カホ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
12	二塁手	12	門 脇　輝 莉	カドワキ　キラリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
13	二塁手	4	舛 森　琴 羽	マスモリ　コトハ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

【少年女子】

チーム名	岩　　手　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	佐 藤　洋 介	サトウ　ヨウスケ	岩手県立花巻南高等学校(教)
1	投 手	1	佐 藤　絵 鈴	サトウ　エリン	岩手県立花巻南高等学校
2	捕 手	5	佐 藤　真 帆	サトウ　マホ	岩手県立花巻南高等学校
3	一塁手	12	冨 手　心 陽	トミテ　コハル	岩手県立花巻南高等学校
4	二塁手	4	髙 橋　天 花	タカハシ　テンカ	岩手県立花巻南高等学校
5	三塁手	2	千 葉　愛 実	チバ　マナミ	岩手県立花巻南高等学校
6	遊撃手	11	佐 藤　桜 衣	サトウ　サエ	岩手県立花巻南高等学校
7	左翼手	8	細 川　理央奈	ホソカワ　リオナ	岩手県立花巻南高等学校
8	中堅手	7	星　　柚 綺	ホシ　ユズキ	岩手県立花巻南高等学校
9	右翼手	10	中 條　ひよな	ナカジョウ　ヒヨナ	岩手県立花巻南高等学校
10	左翼手	3	千 葉　仁花	チバ　ヒトカ	岩手県立花巻南高等学校
11	三塁手	6	安 部　さくら	アベ　サクラ	岩手県立花巻南高等学校
12	左翼手	9	小 原　幸 音	オバラ　ユキノ	花巻東高等学校
13	右翼手	13	小野寺　ま い	オノデラ　マイ	岩手県立高田高等学校

【少年女子】

チーム名	秋　　田　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	沓 澤　祐 記	クツザワ　ユウキ	秋田県立横手高等学校定時制課程(教)
1	投 手	1	兒 玉　涼 佳	コダマ　リョウカ	秋田県立新屋高等学校
2	捕 手	2	川 村　　結	カワムラ　ユイ	秋田県立秋田北高等学校
3	捕 手	3	福 田　遥 菜	フクダ　ハルナ	秋田県立新屋高等学校
4	右翼手	4	鈴 木　も も	スズキ　モモ	秋田県立秋田北高等学校
5	中堅手	5	川守田　瑚 子	カワモリタ　ココ	秋田県立秋田北高等学校
6	三塁手	6	小笠原　憂 南	オガサワラ　ユウナ	秋田県立新屋高等学校
7	左翼手	7	佐 藤　那 凪	サトウ　ナナ	秋田県立新屋高等学校
8	中堅手	8	畠 山　羽 咲	ハタケヤマ　ウキ	秋田県立新屋高等学校
9	左翼手	9	梶 原　唯 夏	カジワラ　ユイナ	秋田県立由利高等学校
10	二塁手	10	斎 藤　心 湖	サイトウ　ココ	秋田県立新屋高等学校
11	遊撃手	11	野 村　未 美	ノムラ　ミミ	ノースアジア大学明桜高等学校
12	捕 手	12	栗 山　菜 那	クリヤマ　ナナ	ノースアジア大学明桜高等学校
13	一塁手	13	栗 田　千 遥	クリタ　チハル	秋田県立由利高等学校

【少年女子】

チーム名	埼　　玉　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	樋 口　尚 美	ヒグチ　ナオミ	花咲徳栄高等学校(教)
1	投 手	1	小野原　愛 佳	オノハラ　アイカ	埼玉栄高等学校
2	捕 手	2	田 中　芽 惟	タナカ　メイ	埼玉栄高等学校
3	一塁手	3	寺 澤　瑠 華	テラサワ　ルカ	花咲徳栄高等学校
4	二塁手	10	早 川　琴 音	ハヤカワ　コトネ	花咲徳栄高等学校
5	三塁手	5	松 永　瑚 雪	マツナガ　コユキ	埼玉栄高等学校
6	遊撃手	6	山 下　華乃愛	ヤマシタ　カノア	花咲徳栄高等学校
7	左翼手	7	山 本　愛 桜	ヤマモト　アイラ	花咲徳栄高等学校
8	中堅手	8	清 水　花 南	シミズ　カナミ	花咲徳栄高等学校
9	右翼手	4	加 藤　里 香	カトウ　リコ	埼玉栄高等学校
10	投 手	9	深 野　莉 子	フカノ　リコ	花咲徳栄高等学校
11	捕 手	11	高 久　日蘭莉	タカク　ヒラリ	星野高等学校
12	右翼手	12	桐 谷　セ ラ	キリタニ　セラ	花咲徳栄高等学校
13	中堅手	14	伊 藤　真 優	イトウ　マユ	埼玉栄高等学校

【少年女子】

チーム名	東　京　都

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	渡 部　真由美	ワタナベ　マユミ	神田女学園高等学校(教)
1	投 手	10	中 村　律	ナカムラ　リツ	神田女学園高等学校
2	右翼手	1	増 田　莉 緒	マスダ　リオ	神田女学園高等学校
3	投 手	3	渋 谷　明 由	シブヤ　アユ	東京立正高等学校
4	右翼手	4	大 竹　いまり	オオタケ　イマリ	神田女学園高等学校
5	三塁手	6	鈴 木　優 空	スズキ　ユラ	神田女学園高等学校
6	二塁手	7	疋 田　絆 奈	ヒキダ　ハンナ	神田女学園高等学校
7	一塁手	8	谷 平　咲 里	タニヒラ　サリ	神田女学園高等学校
8	捕 手	9	川 合　瑠 香	カワアイ　ルカ	東海大菅生高等学校
9	投 手	11	髙 木　彩 葉	タカギ　イロハ	神田女学園高等学校
10	左翼手	12	積 田　莉乃彩	ツミタ　リノア	神田女学園高等学校
11	遊撃手	13	塚 越　悠 乃	ツカゴシ　ユノ	神田女学園高等学校
12	中堅手	16	紺 野　天 音	コンノ　アマネ	東京立正高等学校
13	中堅手	5	辻　紗 海	ツジ　サラ	神田女学園高等学校

【少年女子】

チーム名	富　山　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	浜 田　京 香	ハマダ　キョウカ	滑川高等学校(教)
1	遊撃手	10	越　美 月	コシ　ミツキ	滑川高等学校
2	左翼手	1	常 楽　優 香	ジョウラク　ユウカ	滑川高等学校
3	捕 手	2	入 澤　未 歩	イリザワ　ミホ	滑川高等学校
4	一塁手	3	吉 岡　真 尋	ヨシオカ　マヒロ	滑川高等学校
5	二塁手	4	小 川　栞	オガワ　シオリ	滑川高等学校
6	三塁手	5	中 易　美 結	ナカヤス　ミユ	滑川高等学校
7	中堅手	6	松 崎　令 愛	マツザキ　レイナ	滑川高等学校
8	左翼手	14	菅 田　あゆな	スガタ　アユナ	滑川高等学校
9	右翼手	9	安 倍　嘉 音	アベ　カノン	富山第一高等学校
10	右翼手	11	森　空 方	モリ　ソナタ	滑川高等学校
11	投 手	12	多 田　凛	タダ　リン	滑川高等学校
12	投 手	16	愛 場　紗亜椰	アイバ　サアヤ	龍谷富山高等学校
13	一塁手	13	髙 宮　里桜那	タカミヤ　リオナ	滑川高等学校

【少年女子】

チーム名	愛　　知　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	山 内　悠 平	ヤマウチ　ユウヘイ	星城高等学校(教)
1	投 手	10	伊 藤　美 波	イトウ　ミナミ	星城高等学校
2	捕 手	2	石 川　千 聖	イシカワ　チサト	星城高等学校
3	一塁手	3	木 村　梨 那	キムラ　リナ	星城高等学校
4	二塁手	6	稲 葉　美 空	イナバ　ミソラ	星城高等学校
5	三塁手	7	阪 野　真央菜	バンノ　マオナ	星城高等学校
6	遊撃手	14	中 西　若 菜	ナカニシ　ワカナ	星城高等学校
7	左翼手	1	西 田　唯 称	ニシダ　ユイナ	星城高等学校
8	中堅手	13	髙 木　じゅん	タカギ　ジュン	星城高等学校
9	右翼手	8	小 山　桃 香	コヤマ　モモカ	人間環境大学附属 岡崎高等学校
10	投 手	20	小 川　凛 華	オガワ　リンカ	修文学院高等学校
11	中堅手	15	伊 藤　くるみ	イトウ　クルミ	修文学院高等学校
12	遊撃手	4	藤 田　紗 輝	フジタ　サキ	聖霊高等学校
13	遊撃手	5	松 井　更 紗	マツイ　サラサ	光ヶ丘女子高等学校

【少年女子】

チーム名	兵　　庫　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	池 田　紀 子	イケダ　ノリコ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校(教)
1	中堅手	10	高 谷　沖 菜	タカタニ　オキナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
2	投 手	1	山 本　心 音	ヤマモト　シオン	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
3	捕 手	3	日 笠　柑 那	ヒカサ　カンナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
4	右翼手	4	大 川　沙 菜	オオカワ　サナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
5	三塁手	5	吉 田　侑 和	ヨシダ　ユワ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
6	左翼手	6	俵 田　　晏	ヒョウダ　アン	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
7	一塁手	7	吉 田　朱 璃	ヨシダ　シュリ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
8	二塁手	8	櫻 木　藍 睦	サクラギ　ラチカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
9	二塁手	9	西 田　海 凛	ニシダ　カイリ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
10	左翼手	14	吉 田　來 桜	ヨシダ　ライオ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
11	遊撃手	15	今 城　心 花	イマジョウ　コノカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
12	遊撃手	16	木 下　莉 緒	キノシタ　リオ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
13	投 手	17	中 井　一 花	ナカイ　イチカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

【少年女子】

チーム名	鳥　　取　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	小 川　浩 司	オガワ　コウジ	鳥取城北高等学校(教)
1	投 手	1	東 平　果 歩	ヒガシヒラ　カホ	鳥取城北高等学校
2	捕 手	2	神 林　里 沙	カミバヤシ　リサ	鳥取城北高等学校
3	一塁手	3	錦 織　美 咲	ニシコリ　ミサキ	鳥取城北高等学校
4	中堅手	5	佐名木　玲 菜	サナギ　レナ	鳥取城北高等学校
5	二塁手	6	蓬 郷　結 心	トマゴウ　ユミ	鳥取城北高等学校
6	投 手	9	渡 辺　真 央	ワタナベ　マオ	鳥取城北高等学校
7	遊撃手	10	樹 岡　菜 奈	キオカ　ナナ	鳥取城北高等学校
8	投 手	11	井 町　花 凛	イマチ　カリン	鳥取城北高等学校
9	右翼手	12	大 澤　杏 那	オオサワ　アンナ	鳥取城北高等学校
10	捕 手	14	坂 口　遥 希	サカグチ　ハルノ	鳥取城北高等学校
11	二塁手	15	池ノ内　蒼 衣	イケノウチ　アオイ	鳥取城北高等学校
12	三塁手	18	赤 穂　れ い	アコウ　レイ	鳥取城北高等学校
13	左翼手	7	三 浦　怜 奈	ミウラ　レナ	鳥取城北高等学校

【少年女子】

チーム名	愛　　媛　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	上 牧　太 一	カンマキ　タイチ	済美高等学校(教)
1	二塁手	4	大 原　綾 夏	オオハラ　アヤカ	済美高等学校
2	遊撃手	2	泉 内　　初	イズミウチ　ハツ	済美高等学校
3	投 手	20	小 西　菜 那	コニシ　ナナ	聖カタリナ学園高等学校
4	投 手	1	井 上　　姫	イノウエ　ヒメ	済美高等学校
5	一塁手	3	寺 川　　輝	テラカワ　ヒカル	済美高等学校
6	三塁手	5	平 家　沙 奈	ヘイケ　サナ	聖カタリナ学園高等学校
7	左翼手	6	篠 原　千 星	シノハラ　チセ	済美高等学校
8	右翼手	8	西 森　優 那	ニシモリ　ユナ	済美高等学校
9	中堅手	9	山 本　華 帆	ヤマモト　カホ	聖カタリナ学園高等学校
10	三塁手	10	深 見　優 暖	フカミ　ヒロア	済美高等学校
11	捕 手	11	森 本　向日葵	モリモト　ヒマワリ	聖カタリナ学園高等学校
12	捕 手	12	武 智　う た	タケチ　ウタ	済美高等学校
13	左翼手	13	加 藤　心 絆	カトウ　ココナ	愛媛県立西条高等学校

【少年女子】

チーム名	福　　岡　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	執 行　理 恵	シギョウ　リエ	久留米市立南筑高等学校(教)
1	二塁手	1	豊 田　芽 生	トヨダ　メイ	北九州市立高等学校
2	投 手	4	吉 村　梨 愛	ヨシムラ　リア	福岡県立福岡中央高等学校
3	二塁手	10	井 上　愛 麗	イノウエ　アイリ	福岡大学附属若葉高等学校
4	投 手	9	廣 津　　揺	ヒロツ　ユラ	福岡大学附属若葉高等学校
5	左翼手	11	江 田　百 香	コウダ　モモカ	福岡大学附属若葉高等学校
6	三塁手	6	東　　千 聖	ヒガシ　チサト	精華女子高等学校
7	捕 手	3	松 本　由 季	マツモト　ユキ	精華女子高等学校
8	投 手	8	大 津　ひなた	オオツ　ヒナタ	精華女子高等学校
9	右翼手	14	加 藤　里桜奈	カトウ　リオナ	精華女子高等学校
10	一塁手	2	横 瀬　百 花	ヨコセ　モモカ	久留米市立南筑高等学校
11	右翼手	5	小 宮　柚 希	コミヤ　ユズキ	久留米市立南筑高等学校
12	中堅手	13	槌 谷　紗 菜	ツチタニ　サナ	久留米市立南筑高等学校
13	遊撃手	7	上 川　莉 瑚	カミカワ　リコ	久留米市立南筑高等学校

【少年女子】

チーム名	鹿　　児　　島　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	有 住　　隆	アリズミ　タカシ	神村学園高等部(教)
1	投 手	18	梶 目　莉 空	カジメ　リソラ	神村学園高等部
2	捕 手	10	星 隈　妃 奈	ホシクマ　ヒナ	神村学園高等部
3	一塁手	11	吉 田　侑 李	ヨシダ　ユリ	神村学園高等部
4	二塁手	6	窪 田　ひなた	クボタ　ヒナタ	神村学園高等部
5	三塁手	5	中 西　　華	ナカニシ　ハナ	神村学園高等部
6	遊撃手	4	藤 田　莉 心	フジタ　リコ	神村学園高等部
7	左翼手	7	福 良　祢 音	フクラ　ネネ	神村学園高等部
8	中堅手	8	若 松　青 海	ワカマツ　アミ	神村学園高等部
9	右翼手	1	酒 井　美 優	サカイ　ミユ	神村学園高等部
10	投 手	13	松 原　舞 苑	マツバラ　マオン	神村学園高等部
11	捕 手	2	下 池　美 姫	シモイケ　ミキ	神村学園高等部
12	右翼手	12	橋 口　咲 菜	ハシグチ　サキナ	神村学園高等部
13	左翼手	9	福 元　志 歩	フクモト　シホ	神村学園高等部

【少年女子】

チーム名	青　　森　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監 督	30	藤 田　憲 嗣	フジタ　ケンジ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校(教)
1	投 手	1	松 山　結 菜	マツヤマ　ユナ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
2	捕 手	2	須 藤　瑠 花	ストウ　ルカ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
3	一塁手	3	中 田　杏	ナカタ　アン	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
4	二塁手	4	中 村　虹 湖	ナカムラ　ニコ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
5	三塁手	5	佐 藤　結 友	サトウ　ユユ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
6	遊撃手	6	内 山　翠	ウチヤマ　スイ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
7	左翼手	7	工 藤　晃 子	クドウ　アキコ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
8	中堅手	8	唐 牛　未 憂	カロウジ　ミユ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
9	右翼手	9	高 橋　結 唯	タカハシ　ユイ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
10	遊撃手	10	齊 藤　優 衣	サイトウ　ユイ	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
11	三塁手	11	田 嶋　蓮 埜	タシマ　レノ	八戸聖ウルスラ学院高等学校
12	捕 手	12	工 藤　有 桜	クドウ　リオ	八戸聖ウルスラ学院高等学校
13	遊撃手	13	山 本　みなみ	ヤマモト　ミナミ	八戸聖ウルスラ学院高等学校

競技成績採点方法

総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも 1 位 64 点、2 位 56 点、3 位(2 チーム) 各 44 点、5 位(4 チーム)各 20 点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）			
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1	北海道																
2	青森県																
3	岩手県																
4	宮城県																
5	秋田県																
6	山形県																
7	福島県																
8	茨城県																
9	栃木県																
10	群馬県																
11	埼玉県																
12	千葉県																
13	東京都																
14	神奈川県																
15	山梨県																
16	新潟県																
17	長野県																
18	富山県																
19	石川県																
20	福井県																
21	静岡県																
22	愛知県																
23	三重県																
24	岐阜県																
25	滋賀県																
26	京都府																
27	大阪府																
28	兵庫県																
29	奈良県																
30	和歌山県																
31	鳥取県																
32	島根県																
33	岡山県																
34	広島県																
35	山口県																
36	香川県																
37	徳島県																
38	愛媛県																
39	高知県																
40	福岡県																
41	佐賀県																
42	長崎県																
43	熊本県																
44	大分県																
45	宮崎県																
46	鹿児島県																
47	沖縄県																

年次別成績一覧表（第１回～第２９回）

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年女子
第1回	昭和21年	滋賀・京都・大阪・奈良・兵庫	ー	ー	ー
第2回	昭和22年	石川県	オープン参加	オープン参加	オープン参加
第3回	昭和23年	福岡県	ー	ー	ー
第4回	昭和24年	東京都	ー	高島屋大阪（大阪）	大田原女子（栃木）
第5回	昭和25年	愛知県	教員の部　名古屋市教員（愛知）	鐘紡西大寺（岡山）	明善高（香川）
第6回	昭和26年	広島県	ー	鐘紡西大寺（岡山）	明善高（香川）
第7回	昭和27年	福島・宮城・山形	ー	三菱神戸造船（兵庫）	安田女子高（広島）
第8回	昭和28年	香川・高知・愛媛・徳島	ー	鐘紡高砂（兵庫）	須賀高（栃木）
第9回	昭和29年	北海道	ー	東洋レーヨン（愛媛）	三島北高（静岡）
第10回	昭和30年	神奈川県	ー	東洋レーヨン（愛媛）	八尾高（大阪）
第11回	昭和31年	兵庫県	ー	東洋レーヨン（愛媛）	安田女子高（広島）
第12回	昭和32年	静岡県	広島市役所（広島）	鐘紡高砂（兵庫）	坂出高（香川）
第13回	昭和33年	富山県	吉田工業（富山）	倉紡安城（愛知）	安城学園高（愛知）鹿賀高（栃木）
第14回	昭和34年	東京都	京都地方簡保（京都）	高島屋大阪（大阪）	三島北高（静岡）
第15回	昭和35年	熊本県	広島市役所（広島）	日紡垂井（岐阜）	静岡女子商（静岡）
第16回	昭和36年	秋田県	日新製鋼呉（広島）	倉紡安城（愛知）	今治明徳（愛媛）
第17回	昭和37年	岡山県	広島市役所（広島）	日紡垂井（岐阜）	宇都宮女子商高（栃木）
第18回	昭和38年	山口県	宇部興産（山口）	日紡垂井（岐阜）	宇都宮女子商高（栃木）
第19回	昭和39年	新潟県	広島市役所（広島）	広洋タオル（愛媛）	神田女子学園高（東京）
第20回	昭和40年	岐阜県	日新製鋼呉（広島）	高島屋大阪（大阪）	宇都宮女子商高（栃木）
第21回	昭和41年	大分県	オール武生（福井）	高島屋大阪（大阪）	宇都宮女子商高（栃木）
第22回	昭和42年	埼玉県	全学習院大（東京）	日紡垂井（岐阜）	大分東高（大分）
第23回	昭和43年	福井県	土佐電鉄（高知）	高島屋大阪（大阪）	宇都宮女子商高（栃木）
第24回	昭和44年	長崎県	佐世保重工（長崎）	全日体大（東京）	大分東高（大分）
第25回	昭和45年	岩手県	全日体大（東京）	高島屋大阪（大阪）	笠田高（和歌山）
第26回	昭和46年	和歌山県	三菱重工名古屋（愛知）	大和紡福井（福井）	宇都宮女子商高（栃木）
第27回	昭和47年	鹿児島県	丸善石油松山（愛媛）	高島屋大阪（大阪）	丸亀商業高（香川）笠田高（和歌山）
第28回	昭和48年	千葉県	レッドスパーローズ（千葉）	倉紡安城（愛知）	熊本女子（熊本）
第29回	昭和49年	茨城県	高崎教員（群馬）	大和紡福井（福井）	川口女子高（埼玉）

年次別成績一覧表（第３０回～第５３回）

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第30回	昭和50年	三重県	三重県・愛媛県	兵庫県・群馬県	高知県・三重県	京都府・兵庫県
第31回	昭和51年	佐賀県	広島県	佐賀県・福岡県	三重県	京都府
第32回	昭和52年	青森県	群馬県・広島県	群馬県・東京都	熊本県	福島県
第33回	昭和53年	長野県	群馬県	群馬県	群馬県	香川県
第34回	昭和54年	宮崎県	宮崎県・群馬県	宮崎県・兵庫県	新潟県・熊本県	大阪府・広島県
第35回	昭和55年	栃木県	宮崎県	栃木県	栃木県	栃木県
第36回	昭和56年	滋賀県	愛知県	東京都	熊本県	神奈川県
第37回	昭和57年	島根県	静岡県	群馬県	群馬県	千葉県
第38回	昭和58年	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	神奈川県
第39回	昭和59年	奈良県	高知県	滋賀県	高知県	千葉県
第40回	昭和60年	鳥取県	愛知県	愛知県	埼玉県	鳥取県
第41回	昭和61年	山梨県	山梨県	山梨県	山梨県	愛知県
第42回	昭和62年	沖縄県	沖縄県	群馬県	群馬県	兵庫県

回数	開催年	開催地	成年男子1部	成年男子2部	成年女子	少年男子	少年女子
第43回	昭和63年	京都府	高知県	静岡県	愛知県	沖縄県	兵庫県
第44回	平成元年	北海道	高知県	大阪府	北海道	北海道	北海道
第45回	平成2年	福岡県	高知県	高知県	群馬県	千葉県	埼玉県
第46回	平成3年	石川県	高知県	静岡県	群馬県	群馬県	埼玉県
第47回	平成4年	山形県	山梨県	東京都	愛知県	山形県	山形県
第48回	平成5年	香川県・徳島県	高知県	群馬県	香川県	香川県	京都府
第49回	平成6年	愛知県	愛知県	静岡県	石川県	鹿児島県	埼玉県
第50回	平成7年	福島県	高知県	福島県	福島県	埼玉県	埼玉県
第51回	平成8年	広島県	高知県	広島県	神奈川県	宮崎県	栃木県
第52回	平成9年	大阪府	高知県	高知県	群馬県	静岡県	大阪府
第53回	平成10年	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	石川県	神奈川県

年次別成績一覧表(第５４回～第７９回)

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第５４回	平成１１年	熊本県	高知県	大阪府	神奈川県	宮城県
第５５回	平成１２年	富山県	愛知県	神奈川県	高知県	福岡県
第５６回	平成１３年	宮城県	千葉県	群馬県	高知県	埼玉県
第５７回	平成１４年	高知県	埼玉県	群馬県	大阪府	埼玉県
第５８回	平成１５年	静岡県	埼玉県	群馬県	岡山県	埼玉県
第５９回	平成１６年	埼玉県	高知県	群馬県	高知県	千葉県
第６０回	平成１７年	岡山県	愛知県	群馬県	群馬県	福岡県
第６１回	平成１８年	兵庫県	愛知県	神奈川県	高知県	埼玉県
第６２回	平成１９年	秋田県	福岡県・栃木県 千葉県・石川県	神奈川県・群馬県 兵庫県・東京都	宮崎県・大阪府 鹿児島県・高知県	佐賀県・滋賀県 兵庫県・神奈川県
第６３回	平成２０年	大分県	北海道・山形県 千葉県・福井県 愛知県・大阪府 広島県・高知県	群馬県・神奈川県 愛知県・島根県 徳島県・福岡県 大分県・沖縄県	北海道・福島県 千葉県・静岡県 兵庫県・高知県 長崎県・沖縄県	栃木県・神奈川県 愛知県・京都府 兵庫県・徳島県 佐賀県・大分県
第６４回	平成２１年	新潟県	大阪府	群馬県	高知県	埼玉県
第６５回	平成２２年	千葉県	北海道・福島県 千葉県・愛知県 大阪府・広島県 宮崎県・鹿児島県	栃木県・群馬県 石川県・兵庫県 島根県・愛媛県 福岡県・熊本県	群馬県・埼玉県 千葉県・新潟県 静岡県・大阪府 兵庫県・高知県	北海道・千葉県 神奈川県・愛知県 兵庫県・広島県 香川県・長崎県
第６６回	平成２３年	山口県	宮崎県	神奈川県	長崎県	大阪府
第６７回	平成２４年	岐阜県	群馬県	群馬県	長崎県	兵庫県
第６８回	平成２５年	東京都	高知県	群馬県	埼玉県	千葉県
第６９回	平成２６年	長崎県	宮崎県	神奈川県	鹿児島県	愛知県
第７０回	平成２７年	和歌山県	愛知県	神奈川県	愛媛県	岡山県
第７１回	平成２８年	岩手県	栃木県	愛知県	広島県	千葉県
第７２回	平成２９年	愛媛県	愛媛県・栃木県	愛媛県	広島県	長崎県・千葉県
第７３回	平成３０年	福井県	千葉県・岡山県	静岡県・群馬県	福井県・千葉県	愛知県・兵庫県
第７４回	令和元年	茨城県	長崎県	群馬県	高知県	長崎県
第７５回	令和２年	鹿児島県	延期			
第７６回	令和３年	三重県	中止			
第７７回	令和４年	栃木県	岡山県	群馬県	神奈川県	佐賀県
特　別	令和５年	鹿児島県	栃木県・福岡県	愛知県・埼玉県	愛媛県・広島県	千葉県・長崎県
第７８回	令和６年	佐賀県	長崎県	群馬県	鹿児島県	鹿児島県
第７９回	令和７年	滋賀県	三重県	栃木県	長崎県	兵庫県

得点経過記入表

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）

[勝：○、負：●]

先攻 ----

後攻 ----

（本塁打） （三塁打）

先攻 （二塁打）

後攻 （本塁打） （三塁打）

（二塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）

[勝：○、負：●]

先攻 ----

後攻 ----

（本塁打） （三塁打）

先攻 （二塁打）

後攻 （本塁打） （三塁打）

（二塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）

[勝：○、負：●]

先攻 ----

後攻 ----

（本塁打） （三塁打）

先攻 （二塁打）

後攻 （本塁打） （三塁打）

（二塁打）

（特出記録）

得点経過記入表

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）

[勝：○、負：●]

先攻 ----

後攻 ----

（本塁打） （三塁打）

先攻 （二塁打）

後攻 （本塁打） （三塁打）

（二塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）

[勝：○、負：●]

先攻 ----

後攻 ----

（本塁打） （三塁打）

先攻 （二塁打）

後攻 （本塁打） （三塁打）

（二塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）

[勝：○、負：●]

先攻 ----

後攻 ----

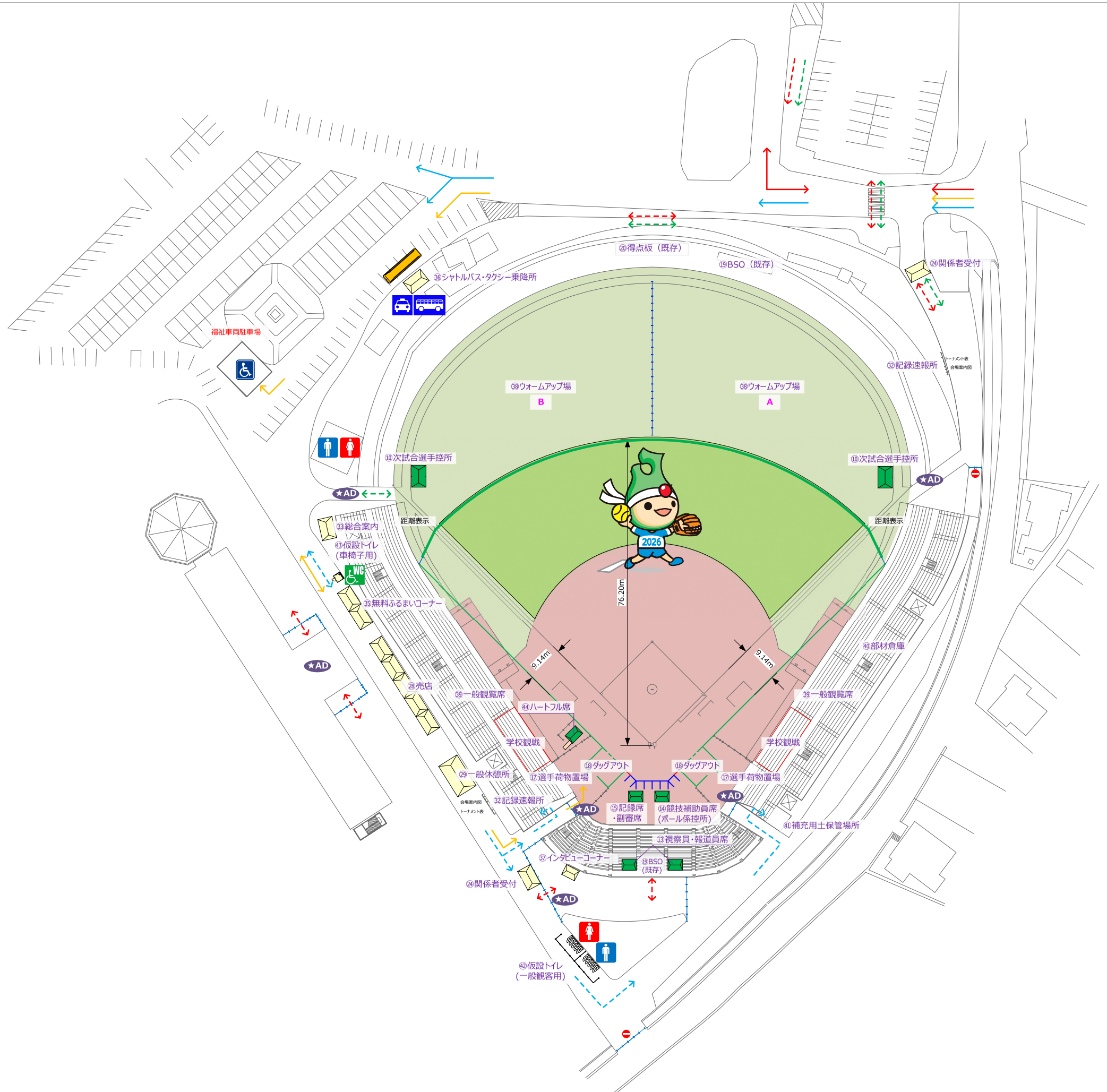
（本塁打） （三塁打）

先攻 （二塁打）

後攻 （本塁打） （三塁打）

（二塁打）

（特出記録）



No.	施設名称
1	球場本部
2	実施本部
3	記録本部
4	放送室
5	救護所
6	大会役員控室
7	来賓控室
8	審判員控室
9	審判員更衣室
10	次試合選手控所
11	競技会役員席
12	大会役員・来賓席
13	視察員・報道員席
14	競技補助員席（ボール係控所）
15	記録席・副審席
16	得点操作室
17	選手荷物置場
18	ダッグアウト
19	BSO（既存）
20	得点板（既存）
21	競技会係員控所
22	ボランティア控所
23	競技補助員控所
24	関係者受付
25	弁当引換所
26	輸送交通本部
27	駐車場係控所
28	売店
29	一般休憩所
30	消防警備本部
31	環境美化係控所
32	記録速報所
33	総合案内
34	ごみ集積所
35	無料ふるまいコーナー
36	シャトルバス・タクシー乗降所
37	インタビューコーナー
38	ウォームアップ場
39	一般観覧席
40	部材倉庫
41	補充用土保管場所
42	仮設トイレ（一般観客用）
43	仮設トイレ（車椅子用）
44	ハートフル席
45	授乳室

- 選手・関係者動線(車両)
- 選手・チーム関係者動線(歩行者)
- 関係者動線（歩行者）
- 一般観客動線(車両)
- 一般観客動線(歩行者)
- 身障者・車いす動線

PROJECT. 青の煌めきあおもり国スポ2026

SUBJECT. 青の煌めきあおもり国スポ ソフトボール競技（成年男子）
長根野球場【球場周辺図】 会場配置・ゾーニング図

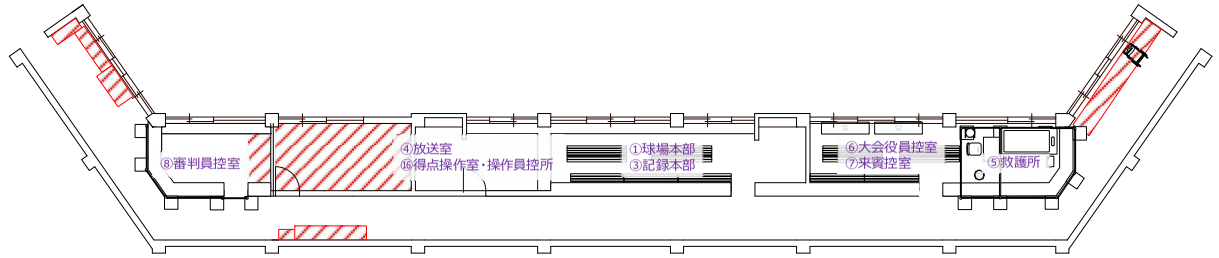
SCALE. 1/1000

SIZE. A3

DATE. 2026.08.02

選手・関係者動線(車両)
選手・関係者動線(歩行者)
一般観客動線(車両)
一般観客動線(歩行者)
身障者・車いす動線

■本部エリア詳細図



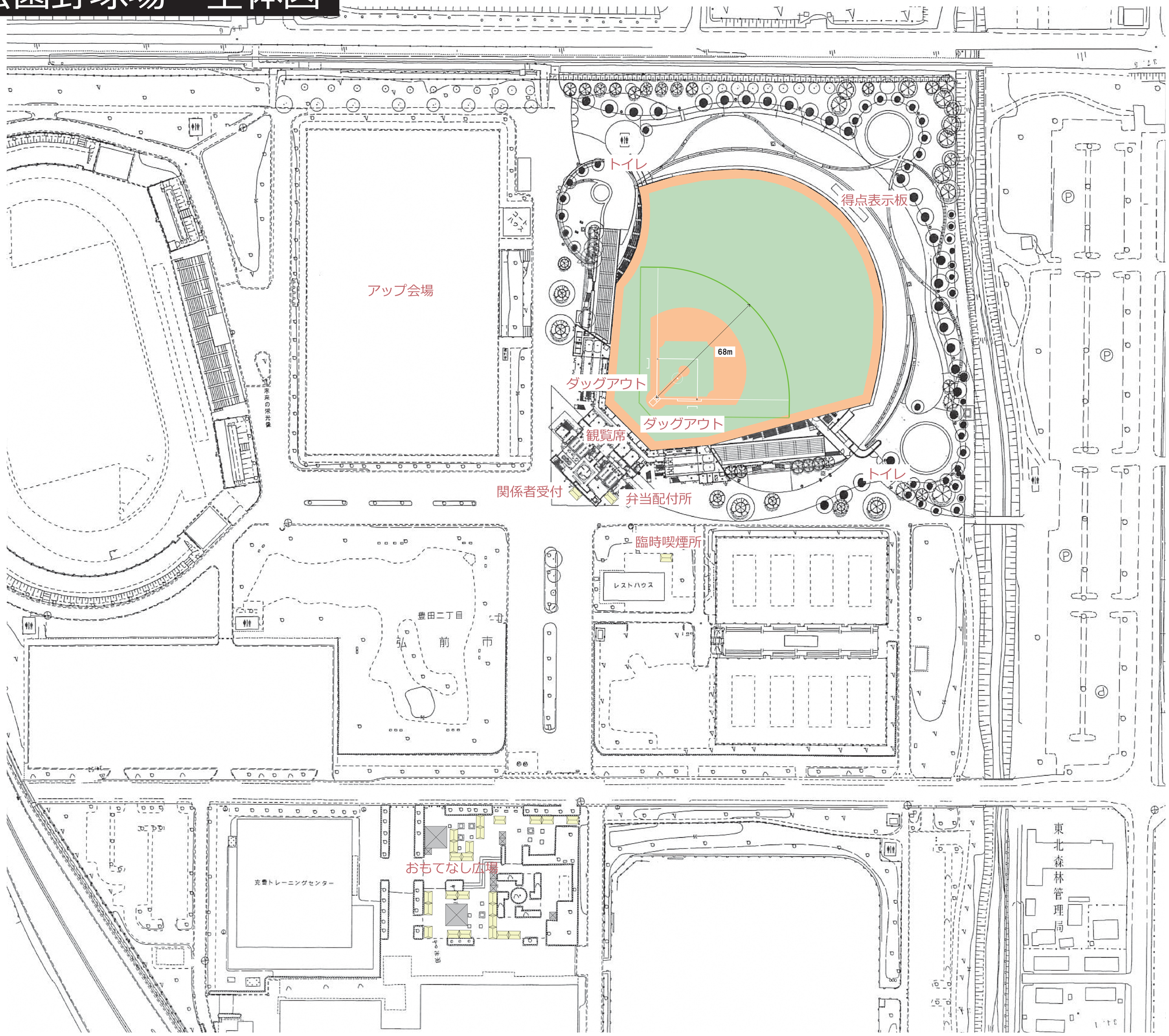
No.	施設名称
1	球場本部
2	実施本部
3	記録本部
4	放送室
5	救護所
6	大会役員控室
7	来賓控室
8	審判員控室
9	審判員更衣室・シャワー室
10	次試合選手控所
11	競技役員席
12	大会役員・来賓席
13	視察員・報道員席
14	競技補助員席
15	記録席・副審席
16	得点操作室・操作員控所
17	選手荷物置場
18	ダッグアウト
19	BSO
20	得点板
21	競技補助員控所
22	ウォームアップ場
23	記録速報所
24	インタビューコーナー
25	一般観覧席
26	ハートフル席
27	部材倉庫
28	補充用土保管場所
29	既存トイレ（関係者用）
30	関係者受付
31	弁当引換所

PROJECT. 青の煌めきあおもり国スポ2026

SUBJECT. 青の煌めきあおもり国スポ ソフトボール競技（成年男子）
八戸市東運動公園野球場【会場全体図】 会場配置・ゾーニング図

SCALE. 1/1100
SIZE. A3
DATE. 2026.08.06

弘前市運動公園野球場　全体図

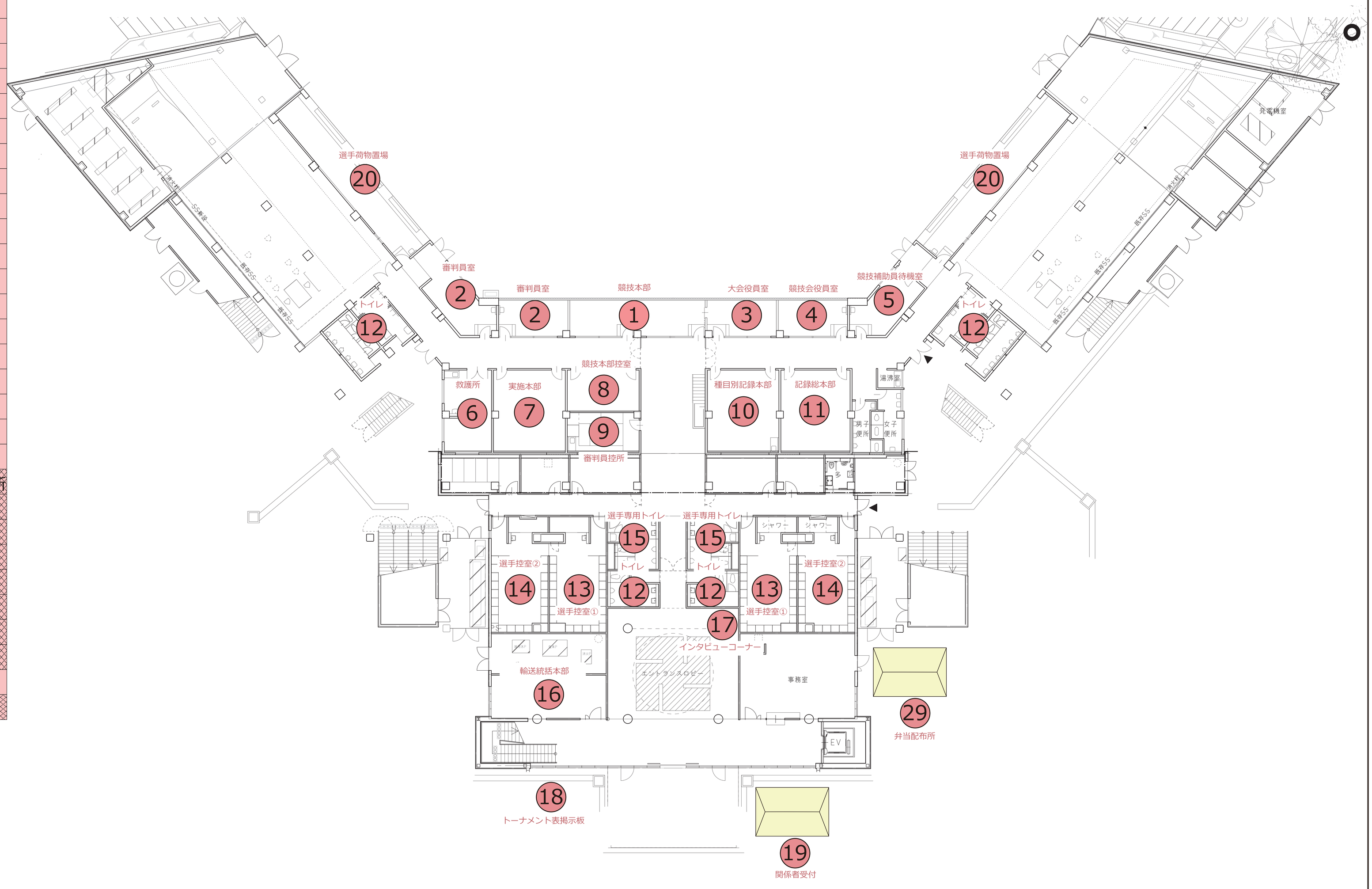


青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会事務局	競技名	青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 第80回国民スポーツ大会　ソフトボール競技	縮　尺	1/500（A3）
	図面名	会場配置図	更新日	2026.9.9

青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

弘前市運動公園野球場（1F）

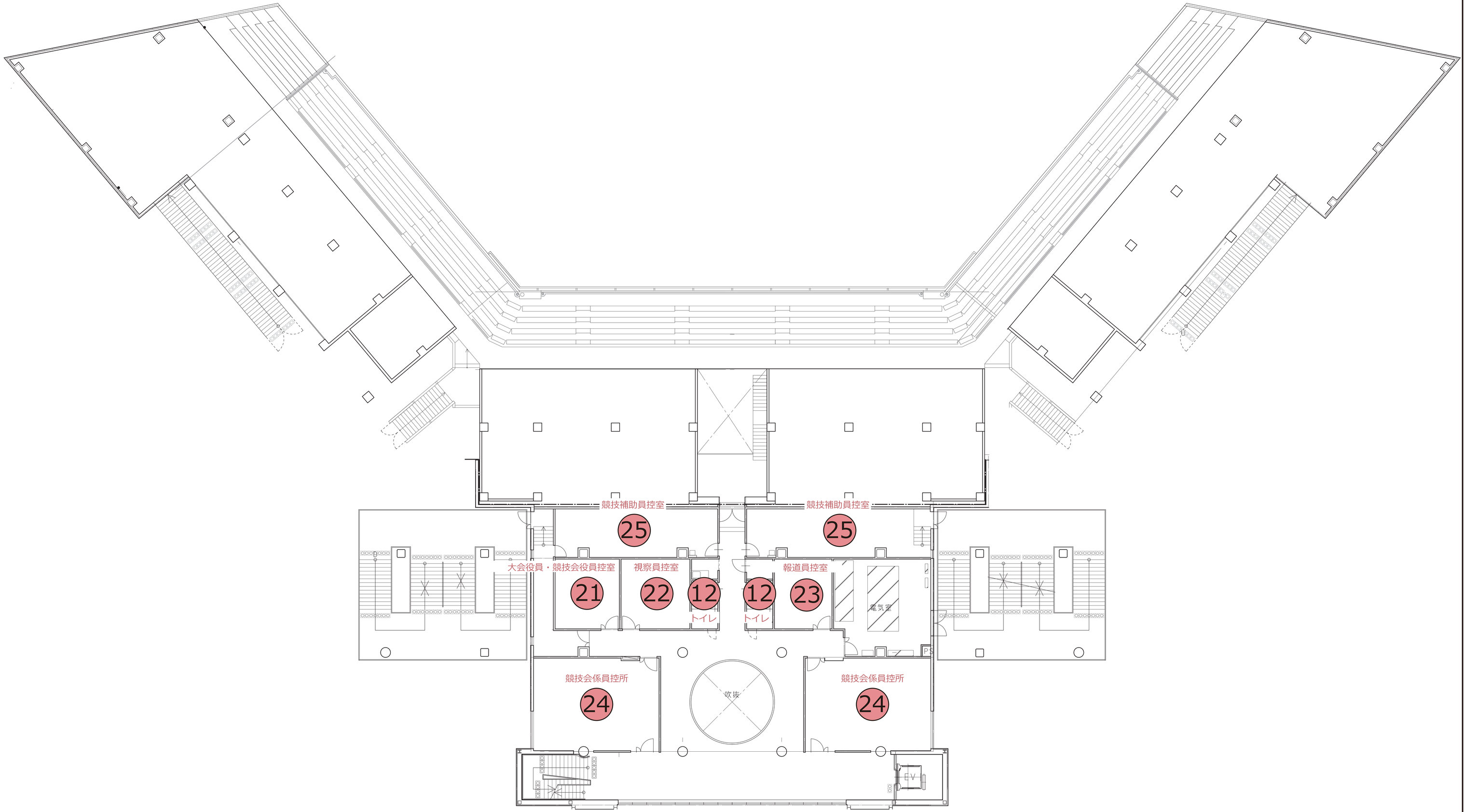
No	諸室名称
1	競技本部
2	審判員室
3	大会役員室
4	競技会役員室
5	競技補助員待機室
6	救護室
7	実施本部
8	競技本部控室
9	審判員控室
10	種目別記録本部
11	記録総本部
12	トイレ（既存）
13	選手控室①
14	選手控室②
15	選手専用トイレ
16	輸送統括本部
17	インタビューコーナー
18	トーナメント表掲示板
19	関係者受付
20	選手荷物置場
21	大会役員・競技会役員控所
22	視察員控室
23	報道員控室
24	競技会係員控室
25	競技補助員控室
26	観覧席
27	ダックアウト
28	得点表示板
29	弁当配布所
30	臨時喫煙所



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会事務局	競技名	青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 第80回国民スポーツ大会　ソフトボール競技	縮　尺	1/100（A3）
	図面名	会場配置計画図	更新日	2026.9.9

弘前市運動公園野球場（2F）

No	諸室名称
1	競技本部
2	審判員室
3	大会役員室
4	競技会役員室
5	競技補助員待機室
6	救護室
7	実施本部
8	競技本部控室
9	審判員控室
10	種目別記録本部
11	記録総本部
12	トイレ（既存）
13	選手控室①
14	選手控室②
15	選手専用トイレ
16	輸送統括本部
17	インタビューコーナー
18	トーナメント表掲示板
19	関係者受付
20	選手荷物置場
21	大会役員・競技会役員控室
22	視察員控室
23	報道員控室
24	競技会係員控室
25	競技補助員控室
26	観覧席
27	ダックアウト
28	得点表示板
29	弁当引換所
30	臨時喫煙所

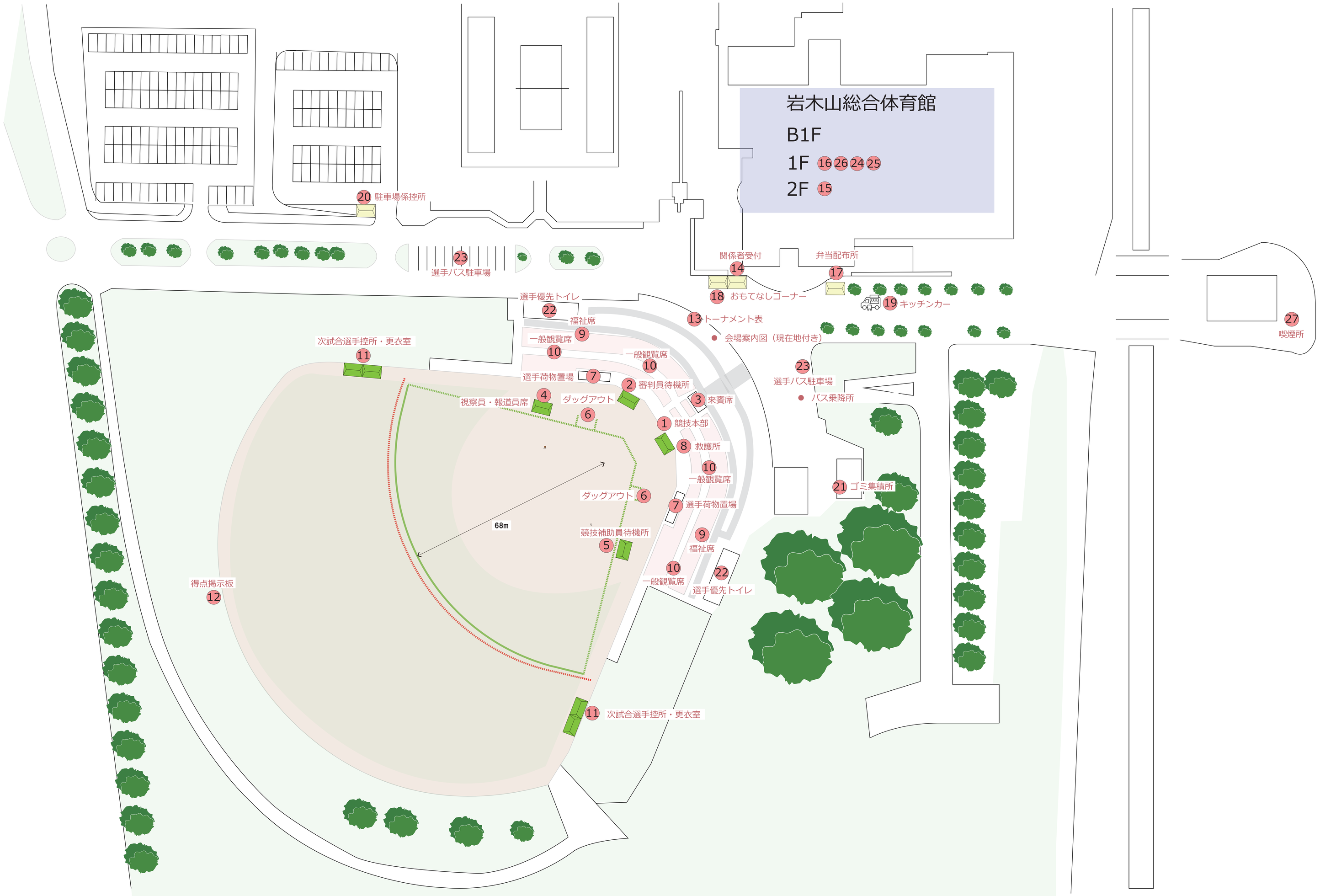


青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会事務局	競技名	青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 第80回国民スポーツ大会　ソフトボール競技	縮　尺	1/100（A3）
	図面名	会場配置計画図	更新日	2026.9.9

岩木山総合公園

No	諸室名称
1	競技本部
2	審判員待機所
3	来賓席
4	視察員・報道員席
5	競技補助員待機所
6	ダッグアウト
7	選手荷物置場
8	救護所
9	福祉席
10	一般観覧席
11	次試合選手控所・更衣室
12	得点掲示板
13	トーナメント表
14	関係者受付
15	実施本部
16	記録本部
17	弁当配布所
18	おもてなしコーナー
19	売店
20	駐車場係控所
21	ゴミ集積所
22	選手優先トイレ
23	選手バス駐車場
24	競技補助員控所
25	競技会係員控所
26	授乳室
27	喫煙所
28	アップ会場

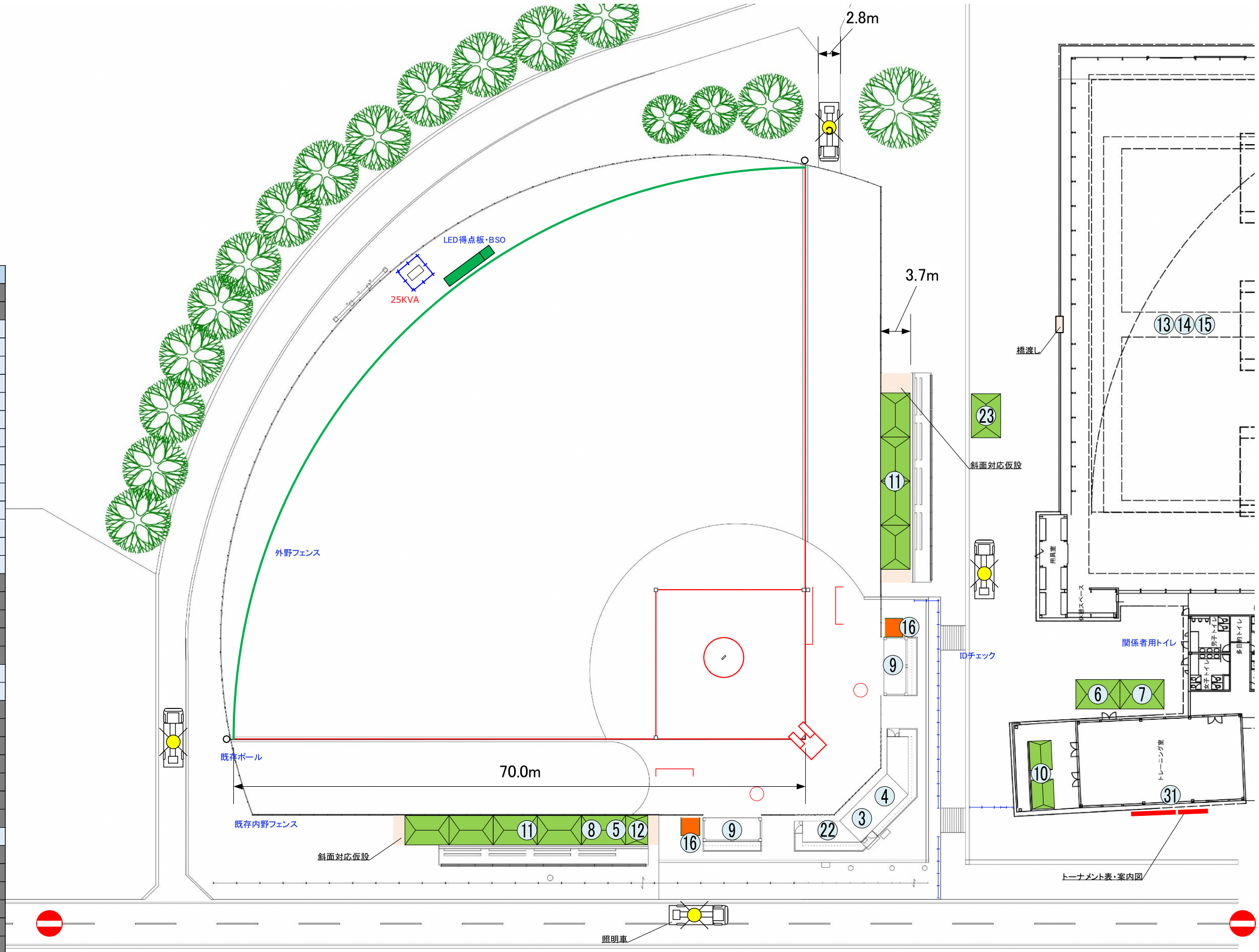


青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会事務局	競技名	青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 第80回国民スポーツ大会　ソフトボール競技	縮　尺	1/400（A3）
	図面名	会場配置計画図	更新日	2026.9.10

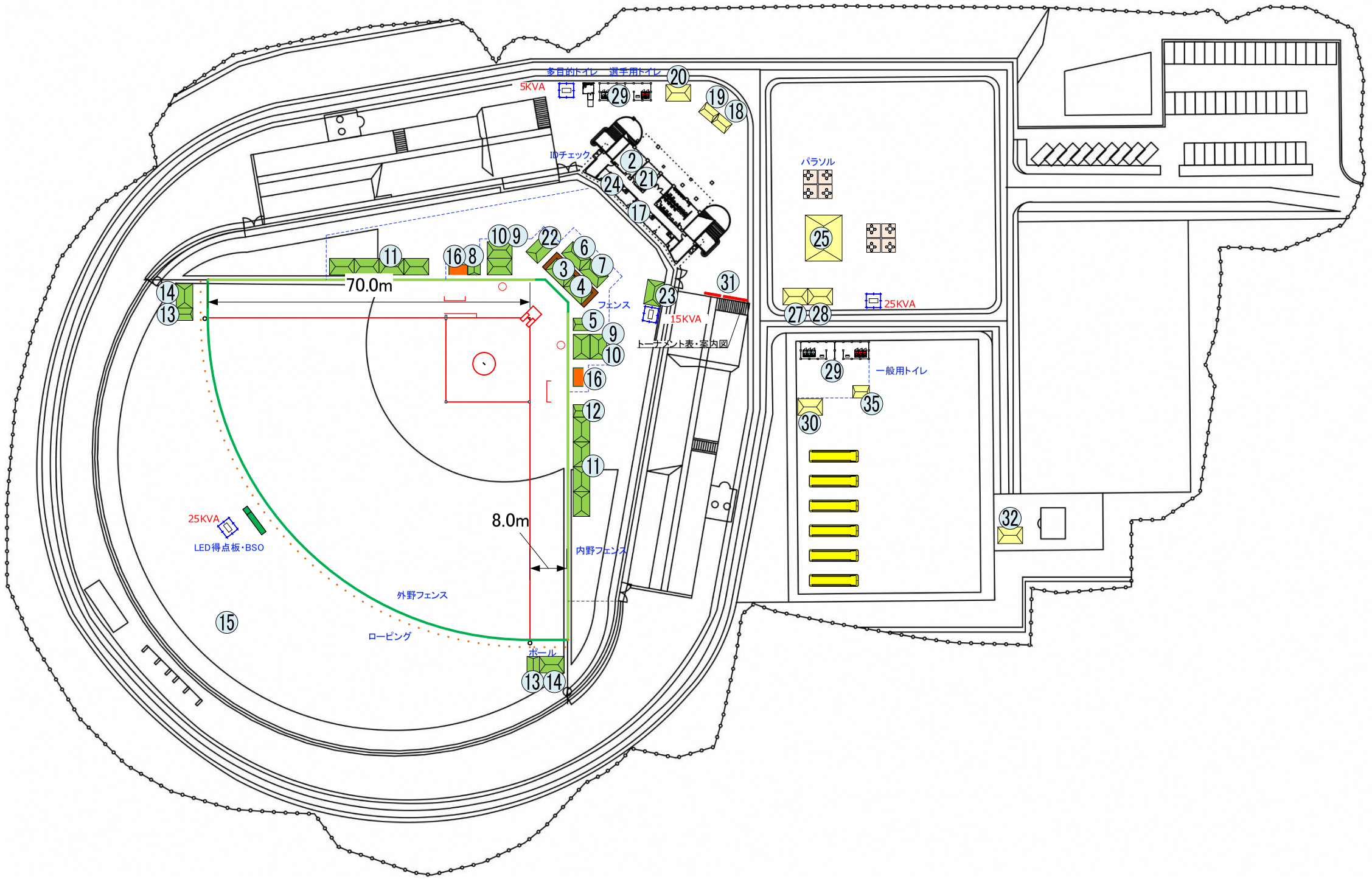
92

NO	施設名称
1	実施本部
2	競技本部・記録本部
3	球場本部・球場委員席
4	記録・放送席
5	来賓席
6	審判員控所
7	球場委員控所
8	視察員・報道員席
9	ダッグアウト
10	選手荷物置場
11	一般観覧席
12	福祉席
13	選手更衣室
14	次試合選手控室
15	アップ場
16	取材エリア
17	大会役員・競技役員控所
18	案内所
19	選手・監督受付
20	弁当引換所
21	救護所
22	競技補助員控所
23	競技会係員・補助員控所
24	審判員更衣室
25	一般休憩所
26	売店
27	無料ドリンクコーナー
28	おもてなしコーナー
29	仮設トイレ
30	ごみ集積所
31	トーナメント表
32	輸送交通本部
33	駐車場係控所
34	シャトルバス乗降所
35	喫煙所
36	ベビーケアルーム
37	環境美化本部
38	消防警備本部



※交通規制有り シャトルバス走行

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 東北町実行委員会	青の煌めきあおもり国スポ2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会	競技名	第８０回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会	縮　尺	（A3）1/500
		図面名	会場配置計画　＜ソフトボール場＞		



NO	施設名称
1	実施本部
2	競技本部・記録本部
3	球場本部・球場委員席
4	記録・放送席
5	来賓席
6	審判員控所
7	球場委員控所
8	視察員・報道員席
9	ダッグアウト
10	選手荷物置場
11	一般観覧席
12	福祉席
13	選手更衣室
14	次試合選手控室
15	アップ場
16	取材エリア
17	大会役員・競技役員控所
18	案内所
19	選手・監督受付
20	弁当引換所
21	救護所
22	競技補助員控所
23	競技会係員・補助員控所
24	審判員更衣室
25	一般休憩所
26	売店
27	無料ドリンクコーナー
28	おもてなしコーナー
29	仮設トイレ
30	ごみ集積所
31	トーナメント表
32	輸送交通本部
33	駐車場係控所
34	シャトルバス乗降所
35	喫煙所
36	ベビーケアルーム
37	環境美化本部
38	消防警備本部

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 東北町実行委員会	青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会	競技名	第８０回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会	縮尺	(A3) 1/1000
		図面名	会場配置計画　＜野球場＞		

ソフトボール競技							
NO							
①	競技記録本部	⑪	視察員・報道員席	㉑	記録員・トレーナー席	㉛	一般休憩所
②	実施本部	⑫	一般観覧席	㉒	給水テント	㉜	観光協会
③	競技役員控室	⑬	福祉席	㉓	ごみ集積所	㉝	おふるまい
④	競技補助員控室	⑭	得点掲示係員控所	㉔	輸送交通本部	㉞	売店
⑤	救護室	⑮	次試合選手控所	㉕	喫煙所	㉟	エコステーション
⑥	選手更衣室・荷物置場	⑯	仮設トイレ	㉖	赤ちゃんの駅		
⑦	球場本部・記録・放送席	⑰	受付	㉗	シャトルバス乗降所		
⑧	来賓席	⑱	弁当引換所	㉘	競技会係員・ボランティア控所		
⑨	審判員席	⑲	シティプロモーション	㉙	無料ドリンクコーナー		
⑩	ダッグアウト	⑳	視察・報道員控所	㉚	駐車場係員控所		

■ 凡例【仮設】 ■
立入禁止エリア
イレクターフェンス

車両進入禁止

㉕喫煙所
⑯仮設トイレ
一般観覧席
視察員・報道員席
AD
ダッグアウト
審判員席
立入禁止
AD
ブルペン
記録員・トレーナー席
⑫ ⑪
AD
㉑ ⑩ ⑨
⑦
球場本部・記録・放送席
視察・報道員控所 ⑳
⑯仮設トイレ
⑮次試合選手控所
BSO
⑧来賓席
⑩ダッグアウト
記録員・トレーナー席㉑
AD
観
⑬福祉席
アップエリア
競技会場【B】
AD
一般観覧席
BSO
スコアボード
得点掲示係員控所 ⑭
次試合選手控所 ⑮
⑫
【1階】
①競技記録本部
②実施本部
③競技役員控室
④競技補助員控室
⑤救護室
⑥選手更衣室・荷物置場
㉙無料ドリンクコーナー
受付
AD ⑰
【スタンド階】
⑫一般観覧席
AD
ブルペン
AD
案内図
トーナメント表
一般観覧席
⑫
⑭得点掲示係員控所
スコアボード
BSO
競技会場【A】
アップエリア
福祉席 ⑬
AD
㉑記録員・トレーナー席
⑯仮設トイレ
⑩ダッグアウト
⑧来賓席
立入禁止
次試合選手控所
⑮
BSO
ダッグアウト
㉑記録員・トレーナー席
ブルペン
⑯仮設トイレ
⑦ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
AD
AD
AD
球場本部・記録・放送席
審判員席
立入禁止
視察員・報道員席
一般観覧席

㉓ごみ集積所
※国スポ不使用
サッカーゴール置場
南山運動場備品置場
資材置場【業者】
弁当保冷車
弁当引換所 ⑱
バスケットボール競技会場
㉖赤ちゃんの駅
⑯仮設トイレ
シティプロモーション
観光協会
おふるまい
㉝ ㉜ ⑲ ㉒
給水テント
㉕喫煙所
㉞売店
㉟エコステーション
㉘競技会係員・ボランティア控所
㉛ ㉛ ㉛
一般休憩所
キッチンカー
選手バス乗降所
㉔輸送交通本部
㉚駐車場係員控所
大会関係者駐車場
車両進入禁止

■ 凡例【動線】 ■
選手団
一般来場者
車いす利用者
競技関係者

㉗シャトルバス乗降所

南山多目的ふれあい広場
㉚駐車場係員控所
大会関係者駐車場
一般来場者駐車場

工事名称	青の煌めきあおもり国スポ	図面番号	SO-01
会場名称	三沢市南山屋外運動場	縮尺(A3)	1/825
図面名称	ソフトボール競技【少年女子】 会場配置図【競技会場】	発行	
		検印 / 担当 / 製図	

■ 凡例【動線】 ■

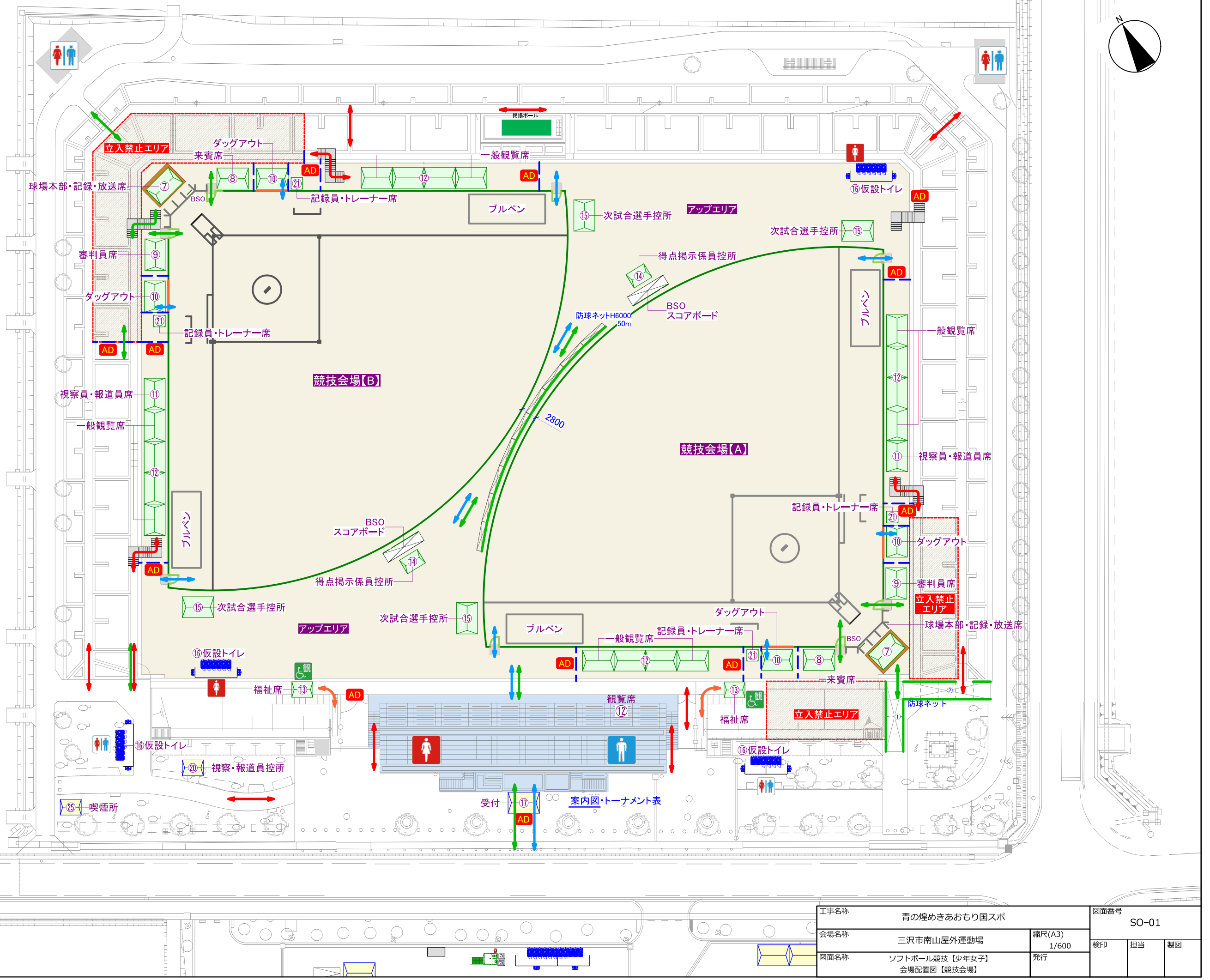
- 選手団
- 一般来場者
- 車いす利用者
- 競技関係者

三沢小学校グラウンド

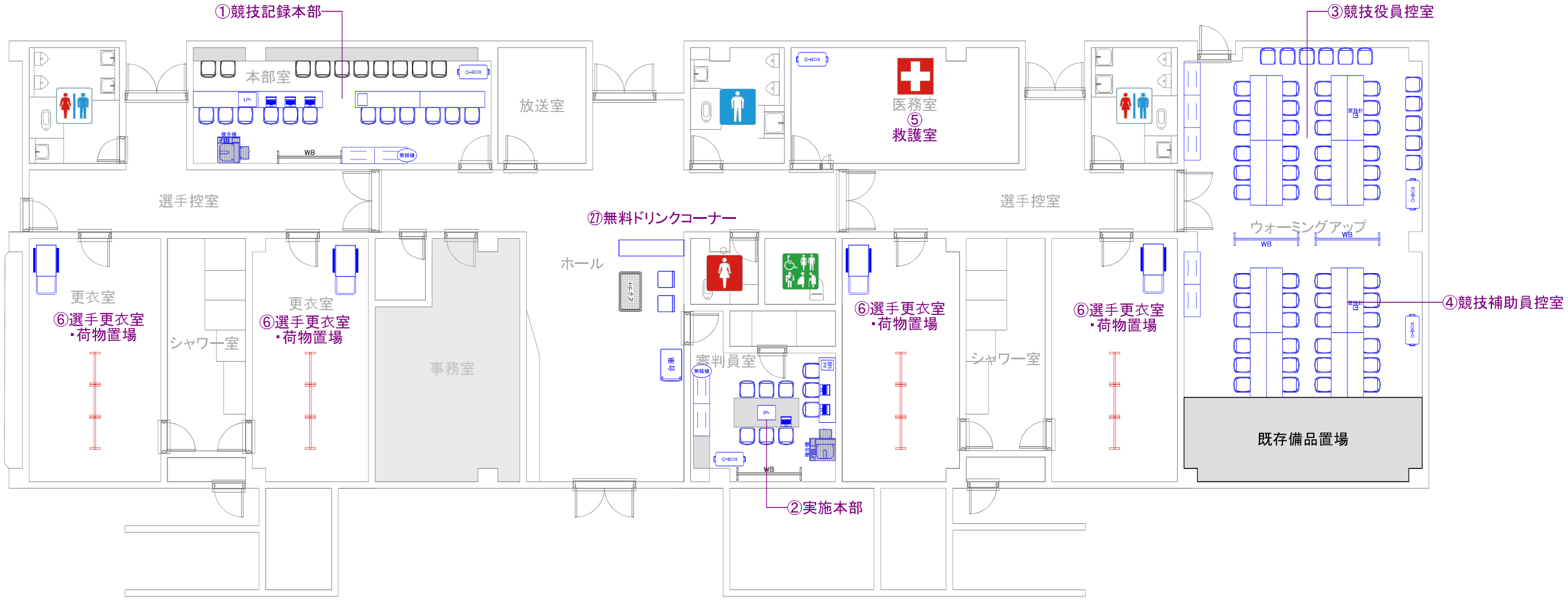
- ㉒ 練習会場係員控所
- ㉓ 練習会場チームテント×2

第二中学校グラウンド

- ㉒ 練習会場係員控所
- ㉓ 練習会場チームテント×2



工事名称	青の煌めきあおもり国スポ	図面番号	SO-01
会場名称	三沢市南山屋外運動場	縮尺(A3)	1/600
図面名称	ソフトボール競技【少年女子】 会場配置図【競技会場】	発行	
		検印 / 担当 / 製図	



工事名称	青の煌めきあおもり国スポ		図面番号 SO-02
会場名称	三沢市南山屋外運動場	縮尺(A3) 1/100	検印 / 担当 / 製図
図面名称	ソフトボール競技【少年女子】 管理棟　配置図	発行	

関係機関連絡先一覧(成年男子)

◎実行委員会事務局

	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 八戸市実行委員会	青森県八戸市内丸一丁目1-1	0178-43-9579

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
八戸市長根公園野球場	青森県八戸市大字売市字輿遊下3	0178-22-7181
八戸市東運動公園野球場	青森県八戸市湊高台八丁目1－1	0178-31-3355

◎警察

名　称	所在地	電話番号
青森県警察　八戸警察署	八戸市城下一丁目16-25	0178-43-4141

◎医療関係

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット(ナビイ)	右記二次元コードまたは 「医療情報ネット(ナビイ)」で検索	

関係機関連絡先一覧(成年女子)

◎実行委員会事務局

	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会	青森県弘前市大字上白銀町1－1	0172-55-9841

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
岩木山総合公園野球場	青森県弘前市大字百沢字裾野195－1	0172-83-2311
弘前市運動公園　野球場(はるか夢球場)	青森県弘前市豊田2丁目3	0172-27-6411

◎警察

名　称	所在地	電話番号
青森県警察　弘前警察署	弘前市大字八幡町3丁目3-2	0172-32-0111

◎医療関係

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット(ナビイ)	右記二次元コードまたは 「医療情報ネット(ナビイ)」で検索	

関係機関連絡先一覧(少年男子)

◎実行委員会事務局

	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ 東北町実行委員会	青森県上北郡東北町大字⊠野字上野191-15	0176-56-5180

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
東北町南総合運動公園ソフトボール場	青森県上北郡東北町大浦明堂向292	0176-56-5553
東北町南総合運動公園野球場	青森県上北郡東北町大字大浦字明堂向106-91	0176-56-5553

◎警察

名　称	所在地	電話番号
七戸警察署	青森県上北郡七戸町字大沢57-49	0176-62-3101

◎医療関係

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット(ナビイ)	右記二次元コードまたは 「医療情報ネット(ナビイ)」で検索	

関係機関連絡先一覧(少年女子)

◎実行委員会事務局

	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 三沢市実行委員会	青森県三沢市幸町三丁目11-5	0176-51-1235

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
三沢市南山屋外運動場	青森県三沢市大字三沢字園沢219-18	0176-51-8105

◎警察

名　称	所在地	電話番号
青森県警察　三沢警察署	青森県三沢市平畑1丁目1−38	0176-53-3145

◎医療関係

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット(ナビイ)	右記二次元コードまたは 「医療情報ネット(ナビイ)」で検索	

競技会場案内図(成年男子)



出展：国土地理院
地理院地図Vectorを加工して作成

競技会場までのアクセス情報

〇鉄道
・JR八戸線　本八戸駅から徒歩15分

〇バス
・JR八戸線　八戸駅前1番乗り場または2番乗り場より乗車
1番乗り場の場合 市営バス・南部バス:『田面木経由　中心街方面』
2番乗り場の場合 市営バス・十和田観光電鉄バス:『内舟渡経由　中心街方面』
桜木町バス停に降車後、徒歩約1分

〇自動車
・八戸自動車道　八戸ICより約15分

競技会場案内図(成年男子)



出展：国土地理院
地理院地図Vectorを加工して作成

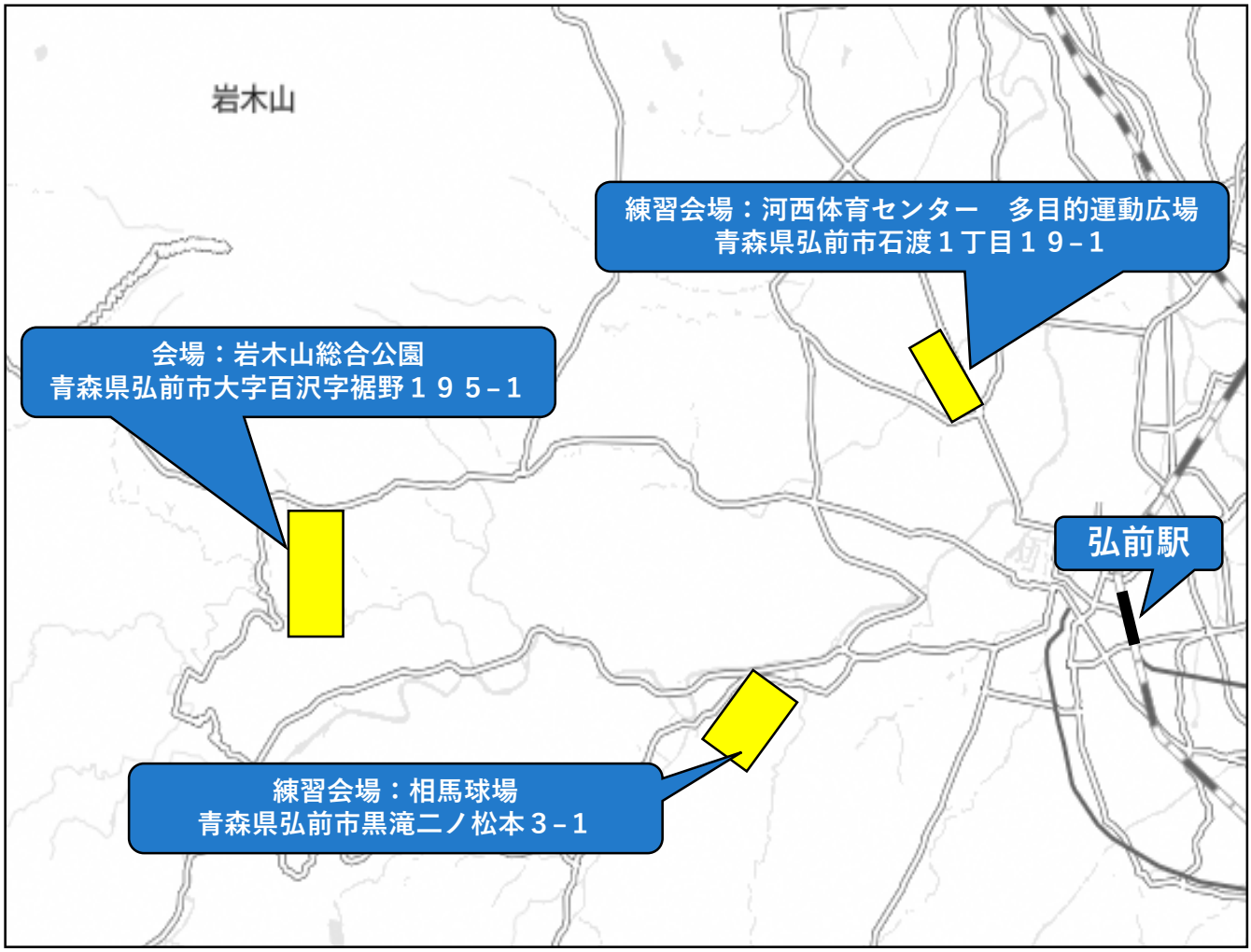
競技会場までのアクセス情報

○バス
・八戸中心街ターミナル2番(八日町)より乗車
市営バス:『旭ヶ丘営業所行』『工業大学行』『八戸大学行』
旭ヶ丘営業所バス停に降車後、徒歩約5分

・JR八戸線　八戸駅前1番のりばより乗車
市営バス:『旭ヶ丘営業所行』
旭ヶ丘営業所バス停に降車後、徒歩約5分

○自動車
・八戸自動車道　八戸ICより約45分
・八戸久慈自動車道　八戸南ICより約10分

競技会場案内図（成年女子）



出展：国土地理院
地理院地図Vectorを加工して作成

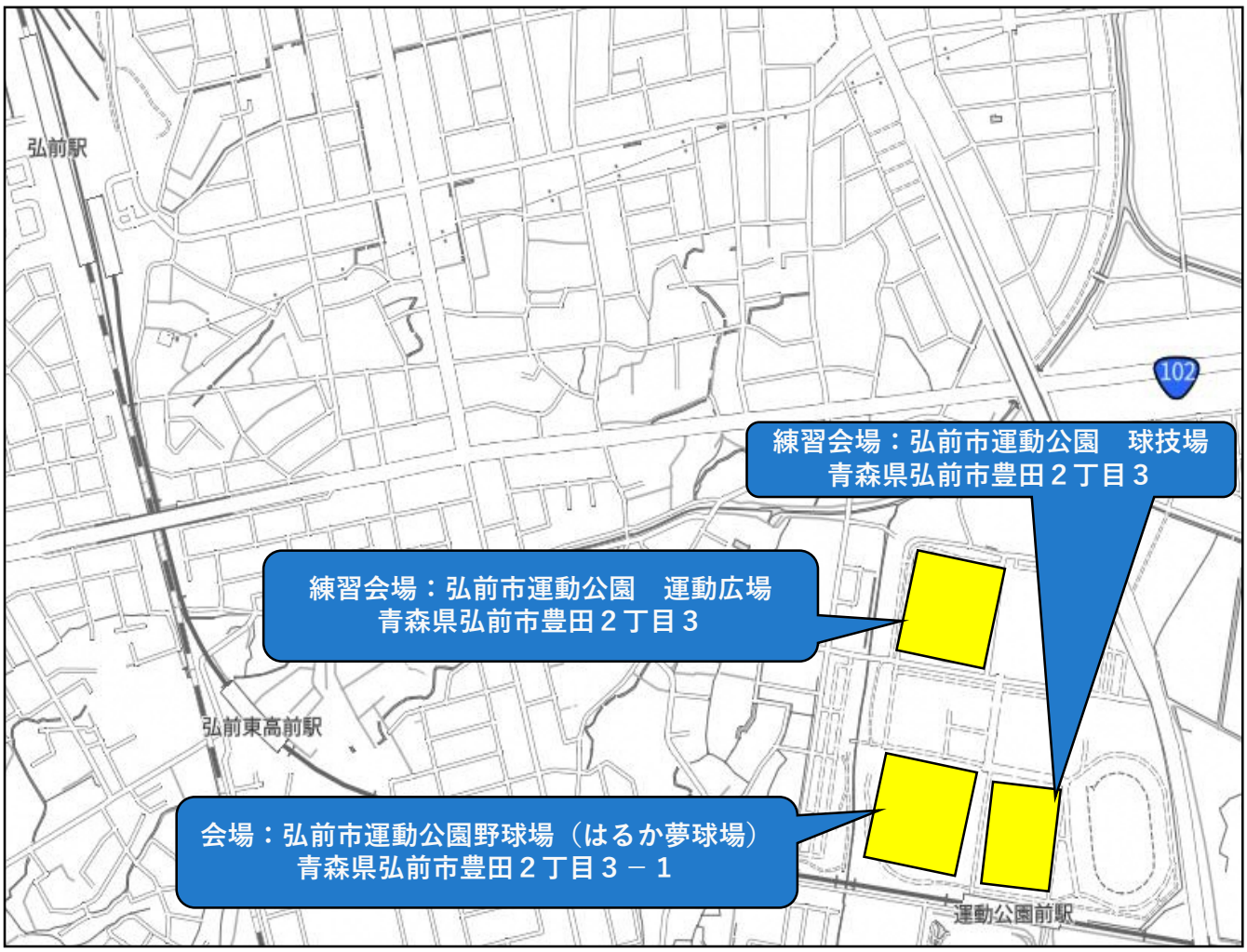
競技会場までのアクセス情報

弘南バス
時刻表

○バス
・弘前駅前（弘前～岩木山線高岡経由）より乗車
清水湖停留所から徒歩７分

○自動車
・弘前駅から３５分
・青森空港から約６０分
・大館能代空港から約１１０分
・東北自動車道大鰐弘前I.C.から約５０分
・東北自動車道黒石I.C.から約６０分

競技会場案内図（成年女子）



出展：国土地理院
地理院地図Vectorを加工して作成

競技会場までのアクセス情報

〇鉄道
・弘南鉄道弘南線　弘前駅から運動公園前駅まで約５分乗車

〇バス
・JR弘前駅城東口２番乗り場（城東安原弘前駅中央口環状線）より乗車
外崎２丁目バス停より徒歩１２分

〇自動車
・JR弘前駅から約１０分
・青森空港から約６０分
・大館能代空港から約８０分
・東北自動車道大鰐弘前I.Cから約２０分
・東北自動車道黒石I.Cから約３０分

弘南鉄道
時刻表

弘南バス
時刻表

競技会場案内図（少年男子）



競技会場までのアクセス情報

〇鉄道

青い森鉄道　上北町駅から徒歩２０分

〇バス（シャトルバス）

・上北町駅前より乗車～文化センター～競技会場

〇自動車

・七戸十和田駅から２０分
・青森空港から約７０分
・三沢空港から約３０分
・第二みちのく有料道路～上北道 東北I.C.から約５分

競技会場案内図（少年女子）



競技会場までのアクセス情報

〇三沢駅～競技会場（バス）
・三沢駅より路線バスに乗車し、三沢市役所前にて降車。
三沢市役所前から無料シャトルバスにて約10分で競技会場。
※バスの乗車場所および時刻の詳細につきましては、三沢市ホームページまたは三沢駅に設置している案内所にお聞きください。
※バスの時刻につきまして、必ず事前にお調べするようお願いします。

〇三沢空港～競技会場（バス）
・三沢空港第二駐車場に隣接する臨時駐車場前から無料シャトルバスにて約10分で競技会場。
※バスの乗車場所および時刻の詳細につきましては、三沢市ホームページまたは三沢空港に設置している案内所にお聞きください。
※バスの時刻につきまして、必ず事前にお調べするようお願いします。

〇自動車
・三沢駅から約15分
・三沢空港から約10分
・第二みちのく有料道路三沢十和田下田I.C.から約13分



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　MIZUNO　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO ！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association

TEAM JAPAN Japanese Olympic Committee

JPSA Japanese Para Sports Association

JPA

UNIVAS

JSPO
Japan Sport Association

スポーツにおける暴力行為等相談窓口
（ぼうりょくこういとうそうだんまどぐち）



どなたでもご利用可能！（りようかのう）

お気軽（きがる）にご相談（そうだん）ください

「スポハラ」をなくすためには

「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為はあってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書≫≫

JSPO
Japan Sport Association

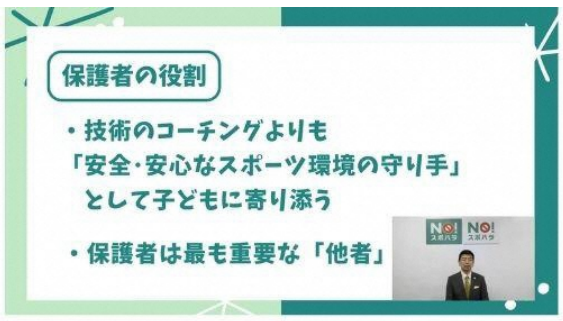
JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」≫≫

『スポハラ』根絶に向けた取組み

JSPO
Japan Sport Association

① 教材・動画の公開

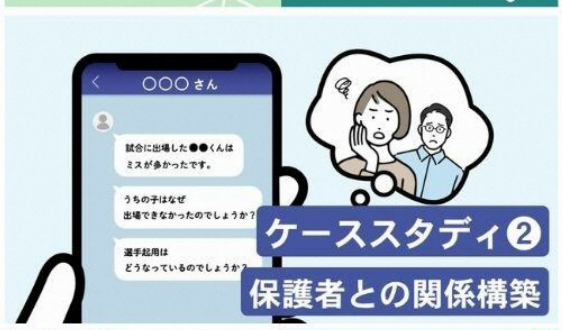


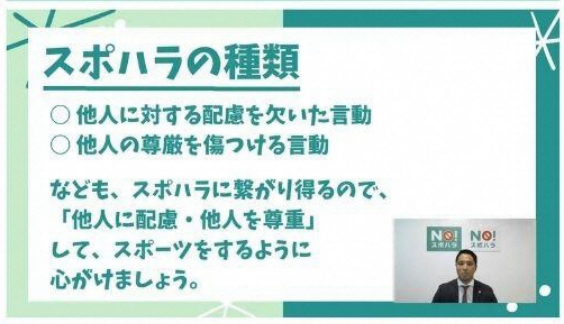


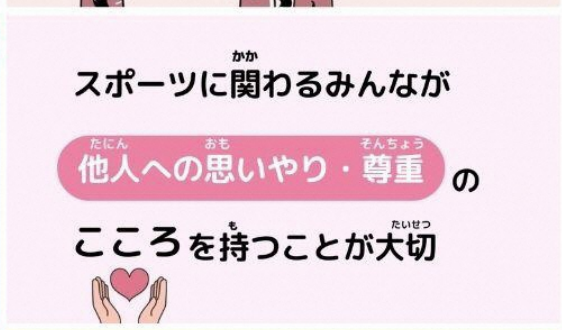




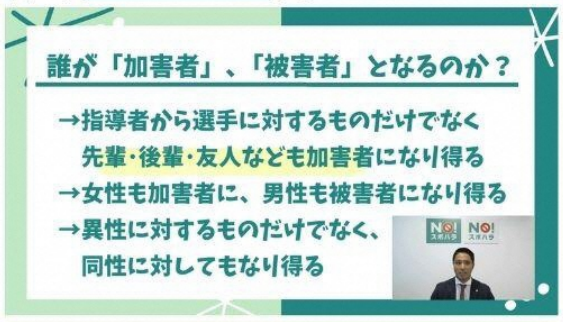






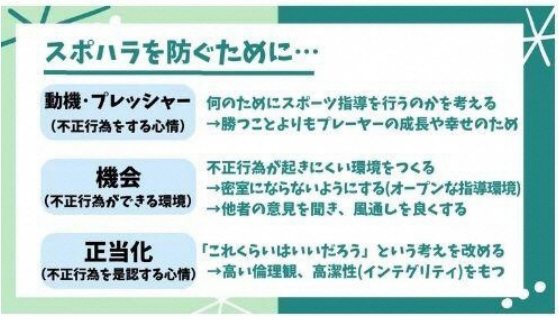




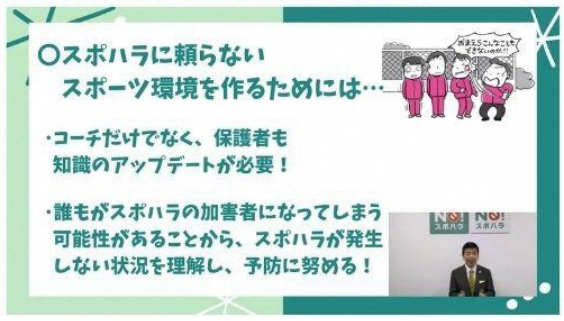














② 普及啓発活動の実施・イベントの開催

































アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。

SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- **盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。**
- **SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。**
- **匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。**

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE Japan Anti-Doping Agency

青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

スポーツ庁委託事業

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

Ver.201903

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▷▷▷▷▷▷ 56TH ▷▷▷▷▷▷ 2026










スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、

スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、

スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

競技会場地マップ Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ　正式競技（37）　特別競技（1）　公開競技（7）　デモンストレーションスポーツ（39）　冬季正式競技（3）

障スポ　正式競技（14）　オープン競技（3）

（身）身体障がい者が出場できる競技　（知）知的障がい者が出場できる競技
（精）精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳（競泳）
- 水泳（水球）
- 水泳（アーティスティックスイミング）
- 水泳（オープンウォータースイミング）
- テニス
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（ビーチバレーボール）
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃（25m）
- ラグビーフットボール（15人制）
- スポーツクライミング（リード・ボルダー）
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技（身・知）
- 水泳（身・知）
- アーチェリー（身）
- 卓球（身・知・精）
  サウンドテーブルテニス（身）を含む。

平内町

- ゴルフ
- 綱引

今別町

- 年齢別バドミントン

蓬田村

- モルック

外ヶ浜町

- ペタンク

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール（知）

大間町

- ウオーキング

風間浦村

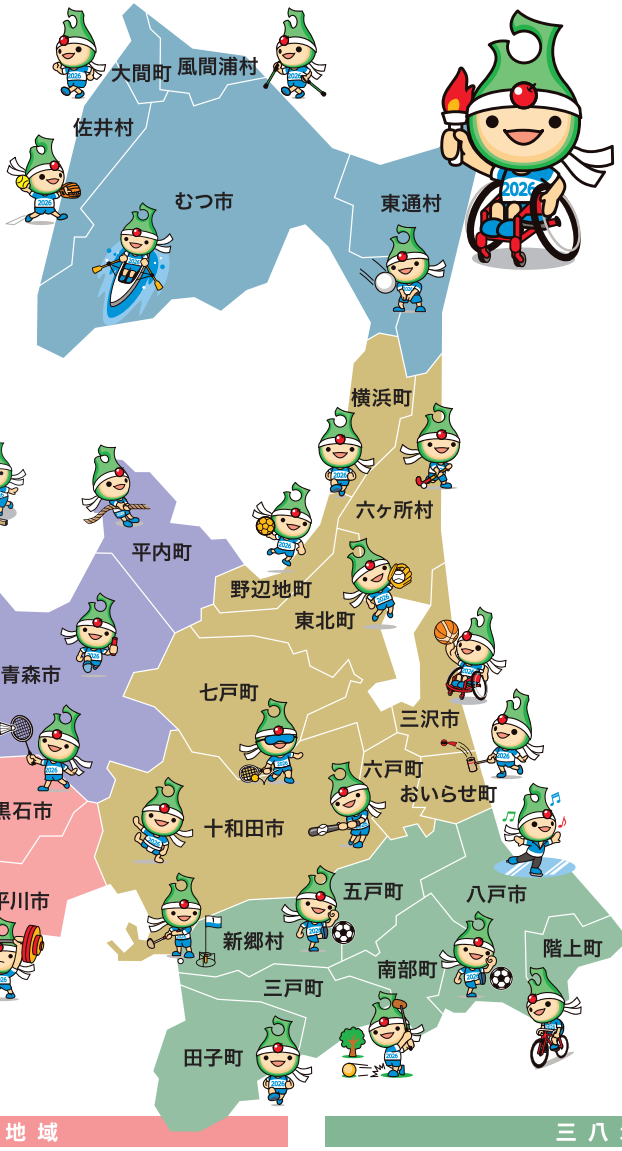
- ノルディックウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール



上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール（身）

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート（ショートトラック）
- アイスホッケー
- ボウリング（知）
- 車いすバスケットボール（身）
- デフボウリング（身）

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインドテニス（身）

六戸町

- 軟式野球

横浜町

- マラソン

東北町

- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール（知）

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール（身）
- ファイン・ボール（身）

西北地域

五所川原市

- バレーボール（6人制）
- バレーボール（精）

つがる市

- バレーボール（6人制）
- 柔道
- バレーボール（知）

鰺ヶ沢町

- マスターズスイミング

深浦町

- ノルディックウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウオーキング

鶴田町

- マラソン&ウォーキング

中泊町

- ビーチサッカー

中南地域

弘前市

- 体操（競技）
- 体操（新体操）
- 体操（トランポリン）
- ソフトボール
- 弓道（近的・遠的）
- ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）
- 空手道
- クレー射撃（トラップ・スキート）
- 高等学校野球（硬式・軟式）
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク（身・知）
- ボッチャ（身）

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー（スプリント）
- カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー（ジャイアントスラローム）
- スキー（クロスカントリー）

平川市

- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車（トラックレース）
- ソフトボール
- ラグビーフットボール（7人制）
- ボウリング
- 空道
- スケート（スピード）
- スケート（フィギュア）
- アイスホッケー
- サッカー（知）
- フットソフトボール（知）

三戸町

- パークゴルフ

五戸町

- サッカー

田子町

- マラソン

南部町

- サッカー

階上町

- 自転車（ロードレース）
- フロアボール

新郷村

- エンジョイ！グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳（飛込）

山梨県北杜市

- 馬術

秋田県鹿角市

- スキー（スペシャルジャンプ）
- スキー（コンバインド）

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
八戸市実行委員会

八戸市HP

8NOHE_2026

公式SNS

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ八戸市実行委員会事務局
青森県八戸市内丸一丁目1-1　TEL：0178-43-9579

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
弘前市実行委員会

弘前市HP

Instagram

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会事務局
青森県弘前市大字上白銀町1-1　TEL：0172-55-9841

青の煌めきあおもり国スポ
東北町実行委員会

東北町HP

KOKUSUPO_TOHOKUTOWN

Instagram

青の煌めきあおもり国スポ東北町実行委員会事務局
青森県上北郡東北町大字上野字上野191-15　TEL：0176-56-5180

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
三沢市実行委員会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ -
三沢市ウェブサイト -Misawa City-

@MISAWASHI_KOKUSUPO

Instagram

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ三沢市実行委員会事務局
青森県三沢市幸町三丁目11-5　TEL：0176-51-1235

競技記録結果

第80回国民スポーツ大会の正式・特別競技の競技記録結果を掲載しています

掲載期間：2026年8月28日(金)～12月21日(月)

▶ PC・スマートフォン

https://kirokukensaku.net/5NS26/index.html

▶ 携帯電話

http://kirokukensaku.net/5NS26/mob/index.html

PC・スマートフォン

携帯電話

国スポチャンネル

37の正式競技の決勝戦を中心に
国スポチャンネルで配信します
ぜひご覧ください

JAPAN GAMES